

図面リスト

共通			空調設備			衛生設備		
番号	図面番号	名称	番号	図面番号	名称	番号	図面番号	名称
1	共一 001	図面リスト	5	M一 001	機器表	45	P一 001	衛生器具表
2	共一 002	特記仕様書(1)	6	M一 002	制気口リスト	46	P一 002	衛生系統図
3	共一 003	特記仕様書(2)	7	M一 003	ダクト・配管系統図	47	P一 003	衛生平面図(4階) 01
4	共一 004	建築物概要書・敷地案内図・配置図	8	M一 004	ダクト平面図(4階) 01	48	P一 004	衛生平面図(4階) 02
			9	M一 005	ダクト平面図(4階) 02	49	P一 005	衛生平面図(4階) 03
			10	M一 006	ダクト平面図(4階) 03	50	P一 006	衛生平面図(5階) 01
			11	M一 007	ダクト平面図(5階)	51	P一 007	衛生平面図(5階) 02
			12	M一 008	配管平面図(4階) 01	52	P一 008	消防系統図
			13	M一 009	配管平面図(4階) 02	53	P一 009	消防平面図(4階) 01
			14	M一 010	配管平面図(4階) 03	54	P一 010	消防平面図(4階) 02
			15	M一 011	配管平面図(5階)	55	P一 011	消防平面図(4階) 03
			16	M一 012	排煙ダクト系統図	56	P一 012	消防平面図(5階)
			17	M一 013	排煙ダクト平面図(4階) 01	57	P一 013	衛生器具表 撤去
			18	M一 014	排煙ダクト平面図(4階) 02	58	P一 014	衛生系統図 撤去
			19	M一 015	排煙ダクト平面図(4階) 03	59	P一 015	衛生平面図(4階) 01 撤去
			20	M一 016	自動制御フロー図	60	P一 016	衛生平面図(4階) 02 撤去
			21	M一 017	自動制御平面図(4階) 01	61	P一 017	衛生平面図(4階) 03 撤去
			22	M一 018	自動制御平面図(4階) 02	62	P一 018	衛生平面図(5階) 01 撤去
			23	M一 019	自動制御平面図(4階) 03	63	P一 019	衛生平面図(5階) 02 撤去
			24	M一 020	自動制御平面図(5階)	64	P一 020	消防系統図 撤去
			25	M一 021	機器表 撤去	65	P一 021	消防平面図(4階) 01 撤去
			26	M一 022	制気口リスト 撤去	66	P一 022	消防平面図(4階) 02 撤去
			27	M一 023	ダクト・配管系統図 撤去	67	P一 023	消防平面図(4階) 03 撤去
			28	M一 024	ダクト平面図(4階) 01 撤去	68	P一 024	消防平面図(5階) 撤去
			29	M一 025	ダクト平面図(4階) 02 撤去	69	P一 025	3階天井解体復旧に伴う機械設備工事
			30	M一 026	ダクト平面図(4階) 03 撤去			
			31	M一 027	ダクト平面図(5階) 撤去			
			32	M一 028	配管平面図(4階) 01 撤去			
			33	M一 029	配管平面図(4階) 02 撤去			
			34	M一 030	配管平面図(4階) 03 撤去			
			35	M一 031	配管平面図(5階) 撤去			
			36	M一 032	排煙ダクト系統図 撤去			
			37	M一 033	排煙ダクト平面図(4階) 01 撤去			
			38	M一 034	排煙ダクト平面図(4階) 02 撤去			
			39	M一 035	排煙ダクト平面図(4階) 03 撤去			
			40	M一 036	自動制御フロー図 撤去			
			41	M一 037	自動制御平面図(4階) 01 撤去			
			42	M一 038	自動制御平面図(4階) 02 撤去			
			43	M一 039	自動制御平面図(4階) 03 撤去			
			44	M一 040	自動制御平面図(5階) 撤去			

MEMO

REVISION



TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

SUBJECTS 図面リスト

NO. 共-001

DRAWN -

DESIGNED -

CHECKED -

DATE

SCALE -

機械設備工事特記仕様書																																	
1 工事名称	津市モーターポート競走場スタンド棟改修工事																																
2 工事場所	津市藤方町地内																																
3 建築概要	スタンド棟 S RC 造 5階建																																
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官房企画部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築設備工事標準規格（電気、機械設備工事編）令和4年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものと適用する。																																
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面とおりに施工することで将来不具合が発生するうと判断される場合にあっては、その都度、監督員と協議すること。なお設計図面とおりの施工であっても不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては、予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めるため。なお調査不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 □ 建築工事に準じる 完成図等 : ○ 作成する () 完成図 ○ 保全に関する資料 () ○ 完成図作図範囲 (設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権 (著作権第27条及び第28号に規定する権利を含む) は発注者に移譲するものとする。また、製本2部 (原図サイズ) により提出すること。 ※ 工事写真は常時工事写真撮影要領 (国土交通大臣官房企画部監修 (最新版)) に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について (平成29年3月1日付け国告第211号)」による。 ※ 建築工事の場合、監督員に確認のこと。																																
(2) 機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機器届出書 (メーカーリスト)、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達基準に関する法律 (グリーン購入法) を考慮し、再生品などの環境に優しい (環境物品) の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。																																
(3) 官公署等への届出手続	工事に伴う関係官署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担すること。 (1) 消防用設備等設置届出書の作成 ■本工事 () 建築工事 □ 電気設備工事 ■機械設備工事 □ 別途工事 (2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成 (機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。																																
(4) 品質管理	工事施工に関して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。																																
(5) 出来形管理	以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 (1) 各種機器据付 ・耐震強度 (設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ) ・基礎寸法 () 水平、垂直等 (2) 配管・ダクト工事 ・支持間隔 () 振れ止め支持間隔 (3) 屋外排水工事 ・排水勾配 () 樹の深さ (4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ																																
(6) 製品確認	発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 ■ 適用する () 適用しない																																
(7) 耐震安全性の分類	構造体 () 類 建築非構造部材 () 類 建築設備 () 類																																
(8) 機器の地震力 (主要機器)	□ 図示による 機器名 設置階 () 設計標準震度Ks () 地域係数 (1.0) 水槽類 設置階 () 設計標準震度Ks () 地域係数 (1.0)																																
その他監督員が指示するもの																																	
(9) 冷媒 (フロン類) の回収	■適用する () 適用しない 冷媒機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・フロン回収行程管理票 ・特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業 (ポンプダウン) を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中の飛散を防止する措置を講じること。																																
(10) 中間技術検査	実施回数 () 回 実施する段階 ()																																
(11) 発生材の処理等 □ 建築工事に準じる 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規格が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規格に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかにならかになったむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 1) 引渡しを要するもの () 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 () なお施工に際して鉄石等特別管理廃棄物及び疑わしい機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。 3) 現場内において再利用を図るもの □ 発生土 □ その他 () 4) 分別解体等の方法																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 程</th> <th>作業内容</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□ 新 築</td> <td>■ 有</td> <td>■ 手作業 □ 手作業、機械作業併用</td> </tr> <tr> <td>■ 改 修</td> <td>□ 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□ 解 体</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		工 程	作業内容	分別解体等の方法	□ 新 築	■ 有	■ 手作業 □ 手作業、機械作業併用	■ 改 修	□ 無		□ 解 体																						
工 程	作業内容	分別解体等の方法																															
□ 新 築	■ 有	■ 手作業 □ 手作業、機械作業併用																															
■ 改 修	□ 無																																
□ 解 体																																	
5 再資源化を図るもの (□ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材)																																	
6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(マコトA、B2、D票を提示すること。)																																	
(12) 電気保安技術者 □ 配置する ■ 配置しない																																	
(13) 施設条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 □ 建築工事に準じる 1) 施工可能日 ■ 一部に土、日曜、祝祭日施工あり □ 指定なし () 2) 施工可能時間帯 □ 指定なし ■ 指定あり (時 ~ 時)																																	
(14) 仮設工事 構内既存の施設 □ 建築工事に準じる 1) 便所 ■ 利用できる □ 利用できない 2) 工事用水 □ 利用できる (有償) ■ 利用できる (無償) □ 利用できない 3) 工事用電力 □ 利用できる (有償) ■ 利用できる (無償) □ 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料 金は本工事に含まれる。																																	
(15) 足場 □ 建築工事に準じる 内部足場の種別 (参考) ■ 脚立 ■ 柳足場 () 外部足場の種別 (参考) □ 手摺先行据置枠組本足場 □ その他 () 防護シート等による養生 □ 適用する ■ 適用しない 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立・解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																																	
□ 足場 () 足場の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關して十分な知識と経験を有する者による点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント (区分が土木又は建築である者) や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う修習を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参考書」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理等のための足場点検実習研修」を受けた者等足場の組立に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1又は2)に掲げる者と同等の知識と経験を有する者																																	
(16) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。 ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名 :) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名 :)																																	
(17) 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理基準集計表 (ミニフェットの数量) を超えて請求することはできない。																																	
(18) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発報書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																	
(19) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴い、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならない復旧すること。																																	
(20) 不正経油の使用の禁止 1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両 (資機材等の搬入車両を含む。) 並びに建設機械等の燃料として、不正経油 (地方税法第144条の32 (製造等の承認を受ける義務等) の規定に違反する燃料をいう。) を使用してはならない。																																	
2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。																																	
3) 正措置 受注者は、不正経油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならぬ。 また、受注者は下請負者等に不正経油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならぬ。																																	
(21) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査証 () 又は校正記録 () を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び回填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (令和2年4月1日施行) 等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収業者を行うこと。																																	
(22) 現場での安全確保 (自主施工の原則) 1) 受注者は工事の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上で必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。																																	
(23) 建設副産物 情報交換システムの利用 受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書 (実施書) 」、「再生資源利用促進計画書 (実施書) 」を監督員に提出することとし、また、法令等に再生資源利用計画を工事現場の公表が見えやすい場所に掲げること。 なお、工事着手前にはJACCIが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																																	
6 工事種目																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 種 目</th> <th>給排水衛生設備工事</th> <th>通気管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給排水衛生設備工事</td> <td>■ 屋内給水設備工事 □ 屋外給水設備工事 ■ 給湯設備工事 □ 給湯設備工事 □ 凝結水設備工事</td> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</td> </tr> <tr> <td>通気管</td> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</td> </tr> <tr> <td>汚水管</td> <td>■ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPE MUJ 002</td> </tr> <tr> <td>■ 土間</td> <td>□ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</td> </tr> <tr> <td>■ 給湯管</td> <td>□ 排水用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448</td> </tr> <tr> <td>■ ガス管</td> <td>□ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中 : PE) ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする □ ガス事業者の供給規定に準じる</td> </tr> <tr> <td>■ 消火管</td> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 空調設備工事</td> <td>□ 空調設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプバッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。</td> </tr> <tr> <td>■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448</td> </tr> <tr> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。</td> </tr> <tr> <td>■ 鋼管及び銅合金継目無管 ■ 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。 製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm 液管 10mmとする。</td> </tr> <tr> <td>※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。</td> </tr> <tr> <td>■ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管</td> <td>□ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管 □ 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452</td> </tr> <tr> <td>※ 弁類</td> <td>揚水ポンプ (二次側)、消火ポンプ (二次側)、水道直圧部は 10K とし、それ以外は 5K とする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。</td> </tr> </tbody></table>		工 事 種 目	給排水衛生設備工事	通気管	給排水衛生設備工事	■ 屋内給水設備工事 □ 屋外給水設備工事 ■ 給湯設備工事 □ 給湯設備工事 □ 凝結水設備工事	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	通気管	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	汚水管	■ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPE MUJ 002	■ 土間	□ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	■ 給湯管	□ 排水用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448	■ ガス管	□ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中 : PE) ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする □ ガス事業者の供給規定に準じる	■ 消火管	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 空調設備工事	□ 空調設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプバッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。	■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。	■ 鋼管及び銅合金継目無管 ■ 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。 製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm 液管 10mmとする。	※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。	■ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管	□ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管 □ 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452	※ 弁類	揚水ポンプ (二次側)、消火ポンプ (二次側)、水道直圧部は 10K とし、それ以外は 5K とする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。
工 事 種 目	給排水衛生設備工事	通気管																															
給排水衛生設備工事	■ 屋内給水設備工事 □ 屋外給水設備工事 ■ 給湯設備工事 □ 給湯設備工事 □ 凝結水設備工事	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。																															
通気管	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。																																
汚水管	■ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPE MUJ 002																																
■ 土間	□ 土間・一般 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 ■ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に纏維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。																																
■ 給湯管	□ 排水用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448																																
■ ガス管	□ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中 : PE) ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする □ ガス事業者の供給規定に準じる																																
■ 消火管	■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																
■ 空調設備工事	□ 空調設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプバッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。																																
■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWA 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHTLP 内外耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ■ 水道用ステンレス鋼管 JWA 115 ■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448																																	
■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																	
■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																	
■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																	
■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																	
■ 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP- 白) □ 土間 ■ 塩化ビニル被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。																																	
■ 鋼管及び銅合金継目無管 ■ 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。 製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm 液管 10mmとする。																																	
※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。																																	
■ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管	□ 油管 □ 蒸気管 □ ブライン管 □ 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452																																
※ 弁類	揚水ポンプ (二次側)、消火ポンプ (二次側)、水道直圧部は 10K とし、それ以外は 5K とする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。																																

※ 横走り管の吊り間隔			
鋼管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m 以下
ビニール管	80A以下	—	1m 以下
耐火二層管	100A以上	—	2m 以下
銅管			
錆鉄管	標準回に上る		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔			
支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	—	50A~100 A	125A~
錆鉄管			
ビニール管			
耐火二層管	25A~40A	50A~100A	125A~
銅管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔	基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。	※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。
-------------------	--	-----------------------------

(2) ダクト工事 矩形ダクト	■ 葦鉄鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鎌金付着Z18以上
工法	<input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 JIS G4305 <input checked="" type="checkbox"/> アンダーフランジ工法 <input checked="" type="checkbox"/> 共板フランジ工法 <input checked="" type="checkbox"/> スライドオンフランジ工法
形鋼補強 丸ダクト	<input checked="" type="checkbox"/> 山形鋼 JIS G 3101 <input type="checkbox"/> SUS鋼材 JIS G 4317 <input checked="" type="checkbox"/> スパイラルダクト <input type="checkbox"/> 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多温箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事
1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面中に明記

1) 材料 部分的に材料を変更する場合、画面内に明記すること。

- ガラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保温板、保温帶 JIS A 9504 4号 40K
- 給水管 ■ 排水管 ■ 給湯管 □ 消火管（露出部）
- 蒸気管（往） □ 蒸気管（還） □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管
- （屋外等）
- 給温管（70℃以上） □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管
- 冷媒管 □ □ □

□ ロックウール保温材 保温板、保温帶、ブランケット
(防火・防湿・断熱等) 1号 JIS A 9504

□ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 温水管

<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管
<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)		保温筒 JIS A 9511 3号 保温板 JIS A 9511 3号	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4°C)
<input type="checkbox"/> ブライン管 (屋外等)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> ブライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 (露出)		JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管

<input type="checkbox"/> ダクト（亜鉛鉄板製）	<input type="checkbox"/> ダクト（鋼板製）	
<input type="checkbox"/> さび止めペイント塗り塗料 (露出)	JIS K 5621 (一般用錆止めペイント)	2種
<input type="checkbox"/> 蒸気管（往）	<input type="checkbox"/> ダクト（鋼板製）	
<input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料	JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗りは錆止めペイント	
<input type="checkbox"/> 蒸気管（還）		

2) 保温厚	・ グラスウール、ロックウール
保温厚 (mm)	20 25 30 40 50
給水・排水・ドレン・給湯 膨張・温水・消防管	~80A 100~150A - 200A~ -
蒸気管	~25A - 32~50A 65A~ -
冷水・冷水管・冷媒管	- 25A - 22~200A 250A~

保温厚(mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消防・排水管	～80A	100A～	—	—	—	—
冷水・冷温水管	—	—	～25A	32～200A	250A～	—
冷水管(冷水温度2～4°C)	—	—	～20A	25A～100A	125A～	—
ゴム・不織布	—	—	—	～25A	22～90A	100A～

機器、ダクト	
保温厚	グラスウール
25mm	ダクト(屋内露出【機械室、書庫、倉庫】、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出【一般居室、廊下】)、サブライチチャンバー、貯湯タンク類 冷水、冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気簡易蔽部(ロックウール)
75mm	煙道(ロックウール)

3) 種別 給排水衛生設備配管の保温仕様	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラス吸仕上
天井内・P.S内	アルミ化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内(ビット内)	保温筒	鉄線	ボリチレンフィルム	着色はアルミ加入
地下内	保温筒	空	ボリチレンフィルム	アルミ加入

屋外露出	保温筒	鉄線	シリカゲルフィルム	US鋼板仕上
※ 1) 排水管については、上表暗渠内（ピット内）の仕様を防食テープ巻きに読み替える。				
※ 2) サヤ管工法：架橋ボリエチレン・ボリプロピレン管使用の場合は、上表保温不要。				
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。				

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	ホリエントフィルム	合成樹脂製カバー
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ホリエントフィルム	原紙 アルミガラスクロス仕上
天井内・P.S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	ホリエントフィルム	アルミガラスクロス仕上
暗渠内(ビット内)	保温筒	鉄線	ホリエントフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ホリエントフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製シングル	鉄	保温板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラーヤード鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水 貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラーヤード鉄板(屋内)	
温水・蒸気ヘッダ 熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様		1	2	3	4	5
長方 形ダ クト	屋内露出 機械室	一般・廊下 一般	鋼 鋼	保温板 アルミガラスクロス化粧保温板	カラー鉄板 アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S 内	一般	鋼	アルミガラス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	一般	鋼	保温板 保温帯	ポリエチレンフィルム カラー鉄板	鉄線 SUS鋼板
スパ イラ ルダ クト	屋内露出 機械室	一般・廊下 アルミガラス化粧保温板	保温帯 アルミガラス化粧保温板	鋼線 アルミガラス粘着テープ	カラー鉄板 アルミガラス粘着テープ	
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラス化粧保温板	アルミガラス化粧保温板	ポリエチレンフィルム ガラスクロス	鉄線 銅亜金網	SUS鋼板
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	保温帯 保温板	鋼線 保温板	ポリエチレンフィルム ガラスクロス	鉄線 銅亜金網
サプライチャンバー 消音チャンバー、エルボ	屋内隠蔽	一般	鋼	アルミガラス化粧保温板	アルミガラス粘着テープ	
	屋内隠蔽	アルミガラス化粧保温板	アルミガラス粘着テープ			
排煙ダクト・長方形 排煙ダクト・円形 煙道	屋内隠蔽 屋内隠蔽 屋外露出	アルミガラス化粧保温板 アルミガラス化粧保温板 ブランク 鋼線	アルミガラス化粧保温板 アルミガラス化粧保温板 ポリエチレンフィルム カラー鉄板	アルミガラス粘着テープ アルミガラス粘着テープ ガラスクロス 鉄線		

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帶、1号を使用。
 ※ 2) 煙道ランプケットは、JIS G 3554（角金網）による垂鉛錫管を施した網目呼称16線径0.55
 の金網又はRWRA S02による防錆油処理を施したナラ平スラス0号で外面塗装1.7mmのを使用。

※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用

配管用炭素鋼管の塗装仕様			塗り回数			備考
機材	状態	塗料の種別	下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	成合樹脂調ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
里管	露出	成合樹脂調ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工
ダクト保温施工範囲
1. S A
■ 保温あり □ 保温なし □ 固面による □ その他 ()
2. E A

2. L/A	□ 保温あり	□ 保温なし	□ 図面による	■その他 (外壁より1m保温を行う)
3. RA	□ 保温あり	□ 保温なし	□ 図面による	□その他 (
4. OA	□ 保温あり	□ 保温なし	□ 図面による	□その他 (
ボックス取扱施工				
■ 内貼り (S.A. CW/MW-25-mm)		□ 内貼なし	□ 図面による	□その他 (

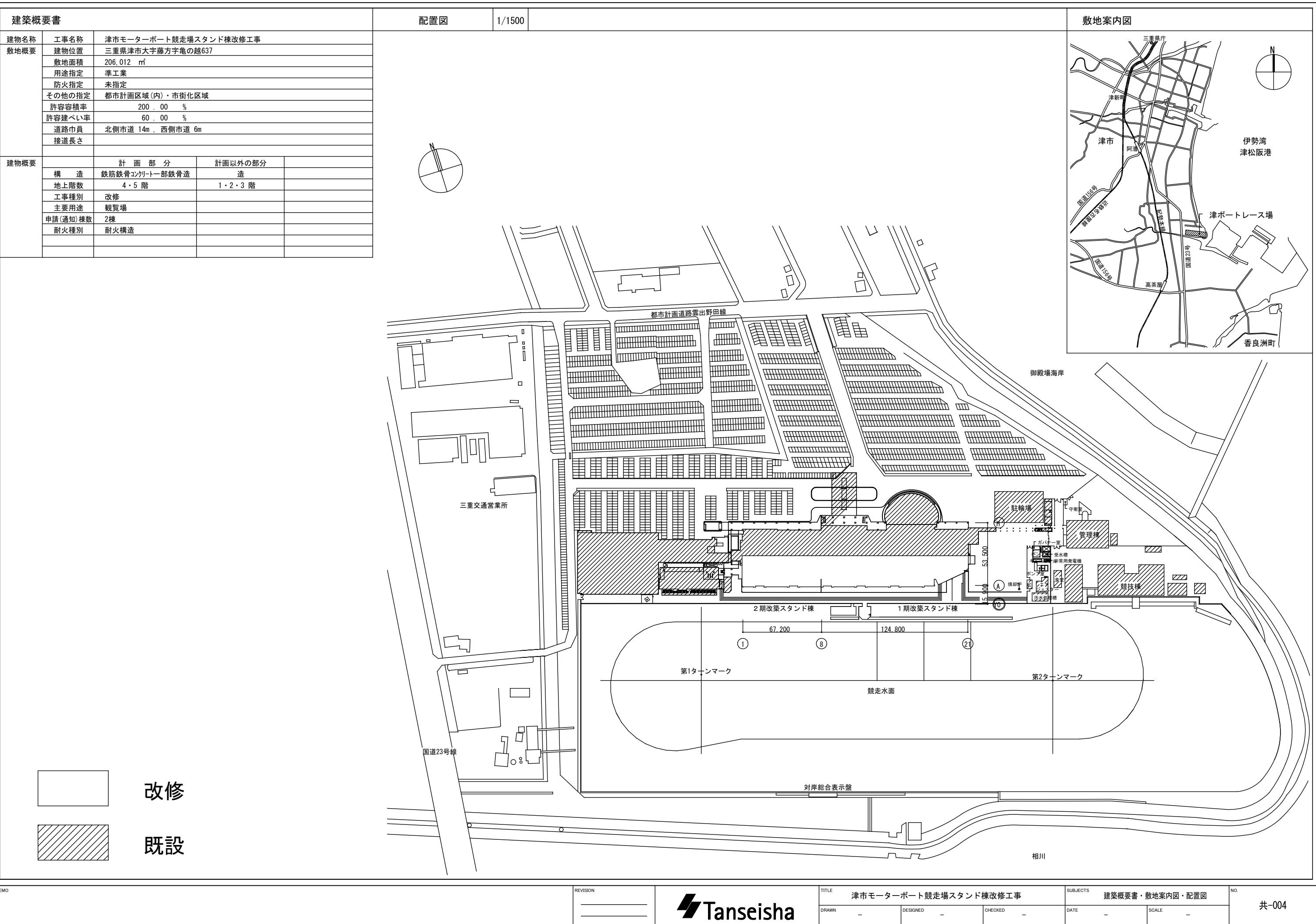
共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機（エアハンクむ）の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 配管が分かれるように、必要箇所（機械室、P S 内等）に文字書き・矢印記入・バルブ札取を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカーエ法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカーエ法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 9) 水栓は、節水機構付きのものを使うこと。
- 10) 冷却管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 11) 屋外露出及び多湿箇所（トレントピット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 12) 既設改修の為、事前に調査並びに設備営業記録等で状況把握を行うこと。
- 13) 再使用機器等は、フェース並びにフィルター等清掃の上で取付を行うこと。また、電気使用機器は絶縁抵抗測定の上で取付を行うこと。
- 14) 竣工後の機械設備試運転に対し、快適性の向上は本工事の対象外とする。
- 15) 既設床面に穴開けを行う部はりは段階的調査を行うこと。
- 16) 事前にアスペスト分析調査を行うこと。アスペスト処理は別途協議とする。各階4カ所（パッキン類、保温材、キャンバス継手等）を基本とし、機器型式並に現地調査により採取箇所を協議する。
- 17) 改修に伴い、他階運営への影響を考慮し、工事区画との縁切り等処置を行う。

X線検査により、打込配管・鉄筋の有無を確認する。

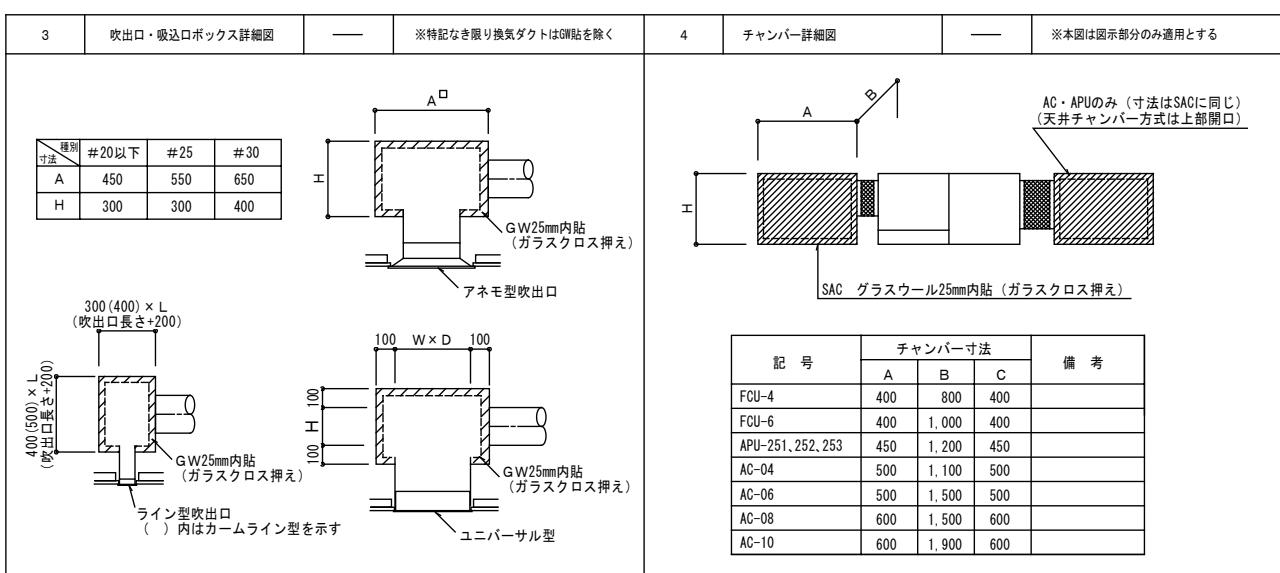
四 例

図示記号		図示記号	
記号	名称	記号	名称
—CH—	冷温水送り管	—X—	屋内消火栓管
—CHR—	冷温水返り管	—S—	ガスリカーポン
—R—	冷媒管	—XS—	連結送水管
—D—	ドレン管	—XO—	屋外消火栓管
— —	給水管(上水)	SA	給気ダクト
— —	給水管(錫用水)	OA	外気ダクト
— I —	給湯管送り管	EA	排気ダクト
— II —	給湯管返り管	SM	排煙ダクト
— —	雑排水管	RA, PAS	送気ダクト
—) —	汚水管	VD	風量調整ダクト
— —	通気管	CD	逆流防止ダクト
G	ガス管	FD	防火ダクト
COA	換気口	HFD	排煙用防火ダクト



1	機器表 (1)	—	新設機器及び既設機器の移設						※ 撤去や移設工事を行わない機器類は、台数をカッコ書き () で示す			
機 番	名 称	仕 様	相 (Φ)	電 壓 (V)	動 力 (kw)	台 数	設 置 場 所	備 考				
FCC-3	ファンコイルユニット	型 式 天吊付セット2方向型 能 力 冷房能力 2.2kw、暖房能力 3.2kw 風量 510m3/h	1	100	0.080	1	4階キッズコーナー	移設×1台				
FCC-3F	ファンコイルユニット	型 式 天吊付セット2方向型 能 力 冷房能力 2.2kw、暖房能力 3.2kw 風量 510m3/h	1	100	0.080	8	4階指定席券売所、ゲート受付 4階売店、売店ストックード 4階B指定席投票所 4階B指定席ラウンジ	移設×2台 移設×2台 移設×2台 移設×1台、脱着×1台				
FCC-3E	ファンコイルユニット	型 式 天吊付セット2方向型 能 力 冷房能力 2.2kw、暖房能力 3.2kw 風量 1,020m3/h	1	100	0.080	4	4階売店 4階B指定席投票所 4階B指定席ラウンジ	移設×1台 移設×2台 脱着×1台				
FCC-4	ファンコイルユニット	型 式 天吊付セット2方向型 能 力 冷房能力 3.3kw、暖房能力 4.6kw 風量 678m3/h	1	100	0.1	1	4階キッズコーナー	移設×1台				
FCC-4A	ファンコイルユニット	型 式 天吊付セット4方向型 能 力 冷房能力 3.3kw、暖房能力 4.6kw 風量 678m3/h	1	100	0.1	1	4階A指定席投票所	移設×1台				
	既設共通仕様 :	小型電動2方弁(ワンヒュイドロック)、温度検出器、夏冬切替スイッチ 温度調整器、定流量弁、温度設定器付リモコン(天吊型)						※ 移設機器は2方弁等も移設する				
	機番末尾シグネ	Aは4方向付セット型 Eはアーバンルーム空気清浄機付 Fはアーバンルーム中性能フィルター(NBS65%以上)付						既設メーカー : タイサン工業				
APM-153	ビームテイコン	型 式 冷暖切替システム 30HP	3	200	C:7.25+15.5	(1)	5階屋上					
	室外機	能 力 冷房能力 84.0kw、暖房能力94.5kw			F:0.34×3							
	5階記者室系統											
APU-153a	ビームテイコン	型 式 天井埋込ダクト形 5.0HP	1	200	F:0.035+0.0165	(2)	5階記者室					
-153b	室内機	能 力 冷房能力 14.0kw、暖房能力 16.0kw	1	200	F:0.035+0.0165	(2)	5階来賓室(1)					
-153c		風量(急)2,160m3/h 付属品:アーバンルーム空気清浄機	1	200	F:0.035+0.0165	2	アーバンルームA-2 分割	移設×2台				
APM-251	ビームテイコン	型 式 冷暖ワールドセーフ 20HP	3	200	C:7.25+7.75	(1)	5階屋上					
	室外機	能 力 冷房能力 56.0kw、暖房能力63.0kw			F:0.34×2							
	5階来賓室系統	付属品:BSユニット										
APU-251a	ビームテイコン	型 式 天井埋込ダクト形 5.0HP	1	200	F:0.35	2	アーバンルームA-1 分割	移設×2台				
-251b	室内機	能 力 冷房能力 14.0kw、暖房能力 16.0kw	1	200	F:0.35	(2)	アーバンルームA-2					
		風量(急)2,160m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機										
APM-252	ビームテイコン	型 式 冷暖ワールドセーフ 30HP	3	200	C:7.25+15.5	(1)	5階屋上					
	室外機	能 力 冷房能力 84.0kw、暖房能力 94.5kw			F:0.34×3							
	5階来賓室系統	付属品:BSユニット										
APU-252a	ビームテイコン	型 式 天井埋込ダクト形 5.0HP	1	200	F:0.35	(2)	アーバンルームA-1					
-252b	室内機	能 力 冷房能力 14.0kw、暖房能力 16.0kw	1	200	F:0.35	2	アーバンルームB-4 分割	移設×2台				
		風量(急)2,160m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機										
APU-252c	ビームテイコン	型 式 天井埋込セット2方向吹出形 1.25HP	1	200	F:0.015	1	5階投票所・事務所	移設×1台				
	室内機	能 力 冷房能力 3.6kw、暖房能力 4.0kw				1	5階待合室	移設×1台				
		風量(急)340m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機										
APC-252d	ビームテイコン	型 式 天井埋込セット2方向吹出形 1.25HP	1	200	F:0.015	1	5階従業員休憩室	移設×1台				
	室内機	能 力 冷房能力 3.6kw、暖房能力 4.0kw										
		風量(急)340m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機										
APU-252e	ビームテイコン	型 式 天井埋込ダクト形 2.0HP	1	200	F:0.35	(1)	5階通路					
	室内機	能 力 冷房能力 5.6kw、暖房能力 6.3kw										
		風量(急)340m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機										
APM-253	ビームテイコン	型 式 冷暖ワールドセーフ 30HP	3	200	C:7.25+15.5	(1)	5階屋上					
	室外機	能 力 冷房能力 84.0kw、暖房能力 94.5kw			F:0.34×3							
	5階来賓室系統	付属品:BSユニット										
APU-253a	ビームテイコン	型 式 天井埋込ダクト形 5.0HP	1	200	F:0.35	2	アーバンルームB-3 分割	移設×2台				
-253b	室内機	能 力 冷房能力 14.0kw、暖房能力 16.0kw	1	200	F:0.35	(2)	アーバンルームB-2					
-253c		風量(急)2,160m3/h 付属品:アーバンルーム電気式空気清浄機	1	200	F:0.35	(2)	アーバンルームB-1					
既設共通仕様 :	制御回路(リモコン含む)は配管・配線共本工事							既設メーカー : タイサン工業				
		リモコン付、ドアアラーム付、集中管理コントローラー・スケジュールタイマー組込										
		排煙機運転時運動停止(対象室のみ)										
AC-1	店舗用エアコン	型 式 壁掛形 1.5HP	3	200	C:0.65、F:0.03	1	5階屋上	新設				
	標準A-7	能 力 冷房能力 3.6kw、暖房能力 4.0kw			F:0.07		4階サハ-室					
		室内機風量 660m3/h										
		付属品:ドレアフターフローティング1m付、ワイヤードリモコン										
		室外機固定用アーマ(防振ゴム付)										
		室外機耐重塗装仕様、室外機転倒防止金具取付共										
		※既設集中管理リモコンに組込を行うこと。										

2	機器表(2)	—	新設機器及び既設機器の移設						※ 撤去や移設工事を行わない機器類は、台数をカッコ書き()で示す	
機番	名称	仕様			相(Φ)	電圧(V)	動力(kw)	台数	設置場所	備考
AFEU-01	空気清浄機	分煙カラーフィルタ(ハイカラ、自動運転機能付)		1	100	0.13	2	4階喫煙室	移設×2台	
		風量 900m3/h、集塵効率95%(0.8μmDOP)								
		W630×D416×H980 約42kg								
		付属品一式								
		既設J-カーボン: JGコ-ボーレーション								
AFEU-02	空気清浄機	天井埋込形		1	100	0.118	1	4階喫煙室	移設×1台	
		風量 1,200m3/h、集塵効率94%(0.8μmDOP)								
		W935×D670×H390 約34kg								
		リモコン付、付属品一式								
		既設J-カーボン: JGコ-ボーレーション								
AFEU-03	空気清浄機	分煙カラーフィルタ(ハイカラ、自動運転機能付)		1	100	0.13	2	5階喫煙所	新設	
		風量 900m3/h、集塵効率95%(0.8μmDOP)								
		W1100×D600×H1076 約52kg								
		付属品一式								
AFEU-04	空気清浄機	天井埋込形外形		1	100	0.118	1	5階喫煙所	新設	
		風量 1,200m3/h、集塵効率94%(0.8μmDOP)								
		W935×D670×H390 約34kg								
		ワイヤードリモコン、付属品一式								
FE-143	排風機	シロッコ床置型 #2 1/2 風量 5,450m3/h×343Pa		3	200	1.5	(1)	5階屋上		
1~4階男女便所(3)	既設J-カーボン	松下電器産業								
系統										
FE-242	排風機	シロッコ床置型 #3 風量 8,600m3/h×350Pa		3	200	2.2	(1)	5階屋上		
1~4階男女便所(7)	既設J-カーボン	松下電器産業								
系統										
FE-251	排風機	ストレーリック天吊型 風量 2,000m3/h×200Pa		3	200	0.4	1	5階投票所・事務所	移設×1台	
5階男女便所系統	既設J-カーボン	三菱電機								
FE-252	排風機	ストレーリック天吊型 風量 1,210m3/h×250Pa		1	100	0.35	1	5階喫煙所	新設	
5階喫煙所系統										
FV-40	排風機	ミニシロッコ(消音BOX付) 風量 400m3/h×100Pa		1	100	0.1	(1)	4階コンコース		
4階前室・倉庫系統	既設J-カーボン	三菱電機								
FV-60	排風機	ミニシロッコ(消音BOX付) 風量 600m3/h×98Pa		1	100	0.1	1	5階投票所・事務所	移設×1台	
5階局所排気系統	既設J-カーボン	三菱電機								
FV-150H	排風機	ストレーリック天吊型 風量 1,500m3/h×200Pa		1	100	0.38	(1)	5階倉庫		
4階喫煙室系統	付属品	既設吸込口HS350×350×2個再利用								
	既設J-カーボン	ナガ								
FV-41F	天井扇	風量 130m3/h×60Pa		1	100	0.023	1	4階サ-バ-室	新設	
		イタリア格子タイプ								
FV-42F	天井扇	風量 250m3/h×60Pa		1	100	0.036	3	4階ハ-ウス-ルーム、授乳室、おむつ替え室	新設	
		イタリア格子タイプ								
FV-43F	天井扇	風量 270m3/h×50Pa		1	100	0.036	1	4階売店ストックヤード	新設	
		イタリア格子タイプ								
F-S1	シリカガラスファン	ケラシドケマツ 54050-54J/チ(照明無し)		1	100	0.06	4	5階ア-ジアカジ- B-4 分割	新設	
		3次元J-チ(行脚) 22691共								
		メカ: パタ-相当品								



【改修】

4階制気口リスト

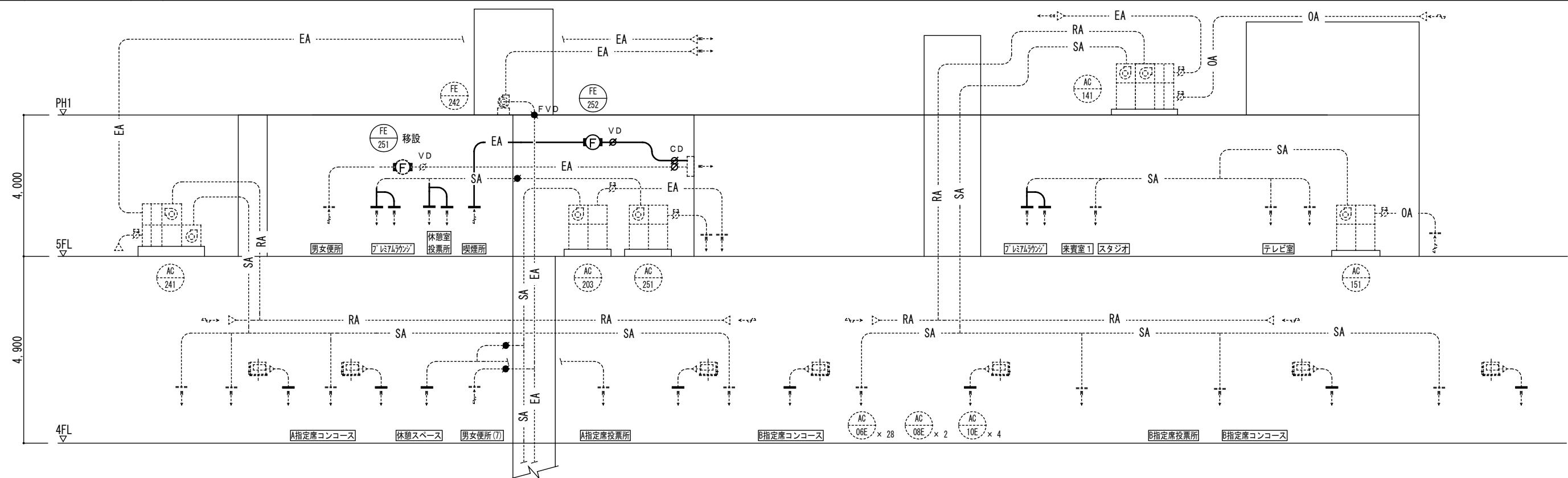
階	室名	形状寸法	制気口ボックス	内貼	種別	風量m3/h	数量	工事	備考
4 A指定席コンコース 1~7通り	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	500		6	残置	AC-241	
			● SA	2,400				AC-6E	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	500		6	残置	AC-241	
			● SA	1,200				AC-6E	
	BL-D 1500L	1700x300x400H	● SA	600		4	残置	AC-10E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	900		10	更新	AC-6E、8E、10E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	900		2	新設	AC-8E	
	BL-T 1500L	1700x300x400H	● SA	900		12	新設	AC-6E、8E、10E	
	天井スリット		RA	1,000		3	—	建築工事、AC-241	
	天井スリット		RA	12,000		1	—	建築工事、AC-10E×2	
A指定席コンコース 7~8通り	天井スリット		RA	4,800		1	—	建築工事、AC-8E	
	天井スリット		RA	32,400		1	—	建築工事、AC-6E×9	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		1	残置	AC-141	
			● SA	2,350				AC-10E	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		1	残置	AC-141	
			● SA	1,250				AC-10E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	600		2	更新	AC-10E	
	BL-T 1500L	1700x300x400H	● SA	600		2	新設	AC-10E	
	天井スリット		RA	2,100		1	—	建築工事、AC-141	
	天井スリット		RA	6,000		1	—	建築工事、AC-10E	
B指定席コンコース 8~18通り	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		10	残置	AC-141	
			● SA	2,350				AC-6E	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		10	残置	AC-141	
			● SA	1,050				AC-6E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	900		1	更新	AC-6E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	900		13	更新	AC-6E、10E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	900		1	新設	AC-6E、10E	
	BL-T 1500L	1700x300x400H	● SA	900		26	新設	AC-6E、10E	
	天井スリット		RA	21,000		1	—	建築工事、AC-141	
	天井スリット		RA	64,900		1	—	建築工事、AC-6E×19	
B指定席コンコース 18~19通り	天井スリット		RA	6,000		1	—	建築工事、AC-10E	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		1	残置	AC-141	
			● SA	2,350				AC-6E	
	BL-D 8000L	8200x300x400H	● SA	1,050		1	残置	AC-141	
			● SA	1,050				AC-6E	
	BL-D 1500L	1700x300x400H	● SA	600		4	残置	AC-8E	
	PE #30	650x650x400H	● SA	800		1	更新	AC-8E	
	BL-D 1500L	1700x300x400H	● SA	800		2	新設	AC-8E	
	天井スリット		RA	2,100		1	—	建築工事、AC-141	
	天井スリット		RA	3,400		1	—	建築工事、AC-6E	
倉庫(4~7) A指定席ラウンジ A指定席コンコース 休憩スペース(4) 休憩スペース(4) SK室 女子便所(7) 男子便所(7) プレミアムラウンジ受付 プレミアムラウンジ受付倉庫 バックヤード バックヤード	天井スリット		RA	4,800		1	—	建築工事、AC-8E	
	倉庫(4~7)	HS 250×250	450x450x400H	EA	300	1	残置		
	倉庫(4~8)	HS 250×250	450x450x400H	EA	300	1	残置		
	倉庫(4~9)	E2 #20	450x450x300H	● SA	340	1	移設		
	A指定席ラウンジ	E2 #25	550x550x300H	● SA	800	1	新設		
	A指定席ラウンジ	E2 #20	450x450x300H	● SA	280	2	新設		
	A指定席ラウンジ	E2 #25	550x550x300H	● SA	800	1	新設		
	A指定席コンコース	BL-D 4000L	4200x300x400H	● SA	600	1	更新		
	A指定席コンコース	PE #25	550x550x300H	● SA	600	1	更新		
	A指定席投票所	E2 #15	450x450x300H	● SA	140	2	脱着		
	休憩スペース(4)	E2 #15	450x450x300H	● SA	140	2	残置		
	休憩スペース(4)	HS 250×150	450x350x350H	EA	200	1	残置		
	SK室	HS 200×100	400x300x300H	EA	50	1	残置		
	女子便所(7)	HS 400×150	600x350x400H	EA	350	1	残置		
	男子便所(7)	HS 300×150	500x350x350H	EA	250	1	残置		
	プレミアムラウンジ受付	E2 #15	450x450x300H	● SA	100	1	新設		
	プレミアムラウンジ受付倉庫	HS 150×150	350x350x350H	EA	125	1	移設		
	バックヤード	E2 #15	450x450x300H	● SA	200	1	残置		
	バックヤード	H 200×200	400x400x350H	PASS	200	1	残置		

【改修】

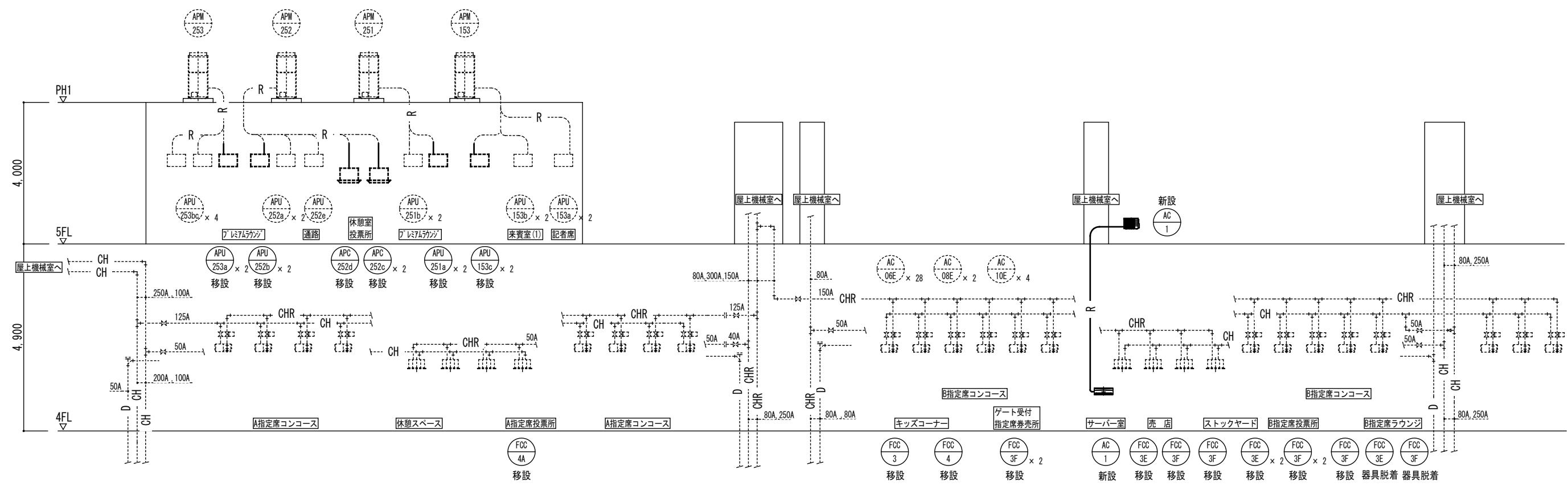
4階制気口リスト

階	室名	形状寸法	制気口ボックス	内貼	種別	風量m3/h	数量	工事	備考
4	倉庫(4~5)	HS 200×200	400x400x350H	EA	200	1	残置		
	倉庫(4~5)	H 200×200	400x400x350H	PASS	200	1	残置		
	指定席係員控室	E2 #20	450x450x300H	● SA	300	1	残置		
	指定席係員控室	HS 300×250	500x450x400H	EA	300	1	残置		
	便所(8)横通路	E2 #15	450x450x300H	● SA	150	2	脱着		
	授乳室	E2 #15	450x450x300H	● SA	225	1	新設		
	パウダールーム	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	200	1	新設		
	おむつ替え室	E2 #15	450x450x300H	● SA	225	1	新設		
	キッズコーナー	E2 #20	450x450x300H	● SA	600	1	新設		
	B指定席ロッカ室	E2 #20	450x450x300H	● SA	575	1	新設		
	ゲート受付	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	123	1	新設		
	B指定席フリートリンクコーナー	E2 #20	450x450x300H	● SA	575	1	新設		
	ゲート	PC #25	550x550x300H	● SA	500	5	新設		
	指定席券売所	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	150	1	新設		
	売店	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	130	2	新設		
	B指定席投票所	HS 200×200	400x400x350H	EA	200	1	移設		
	B指定席投票所	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	123	3	残置		
	女子便所(2)	HS 250×250	450x450x400H	EA	350	1	残置		
	男子便所(2)	HS 200×200	400x400x350H	EA	200	1	残置		
	SK室	HS 150×150	350x350x300H	EA	50	1	残置		
	B指定席投票所	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	123	2	脱着		
	B指定席投票所	HS 200×200	400x400x350H	EA	200	1	残置		
	B指定席ラウンジ	E2 #12.5	450x450x300H	● SA	123	2</			

1 ダクト系統図 | —— 注記) 破線部分は既設を表す



1 空調配管系統図 | —— 注記) 破線部分は既設を表す



MEMO

REVISION

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

SUBJECTS ダクト・配管系統図

NO. M-003

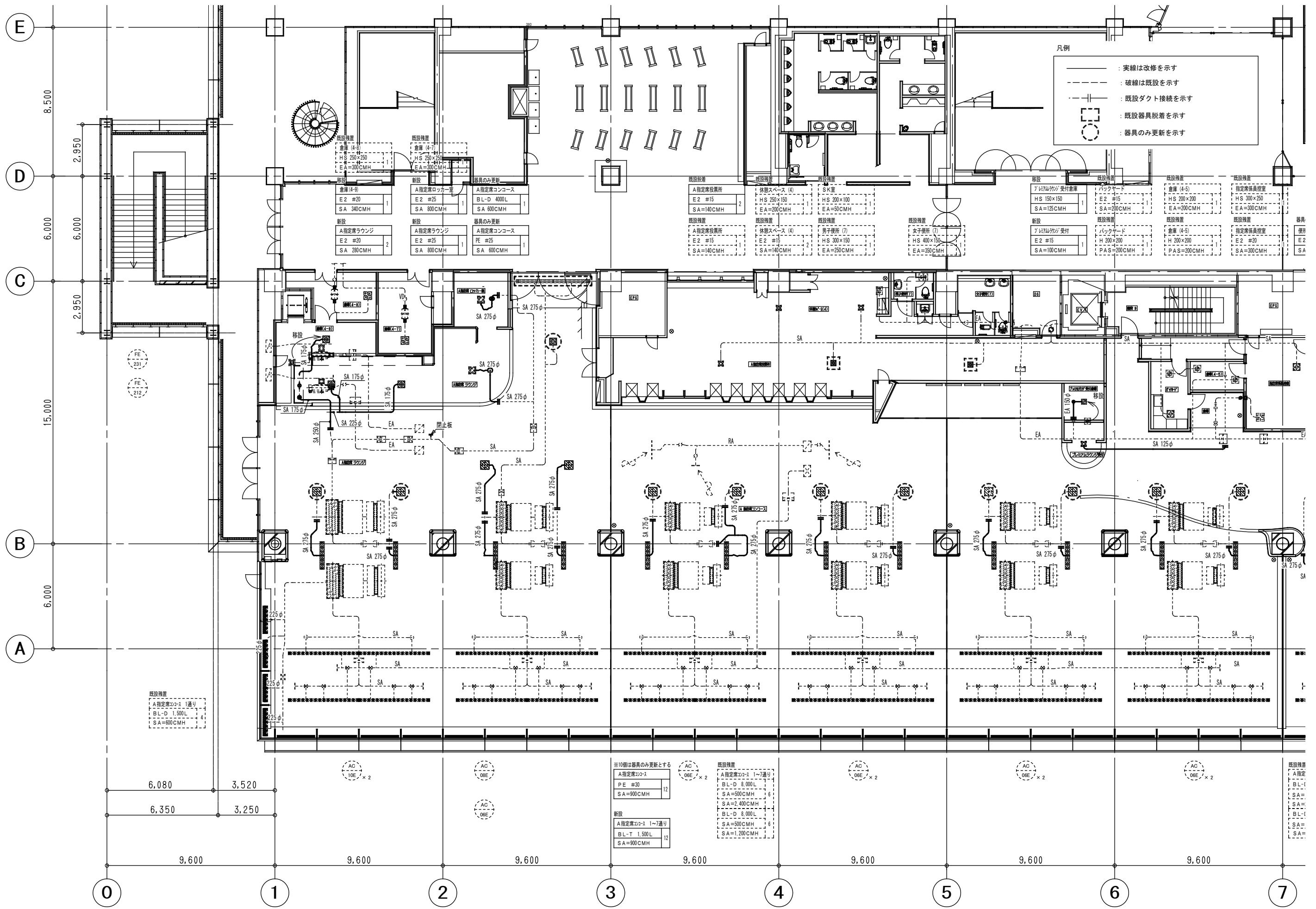
DRAWN

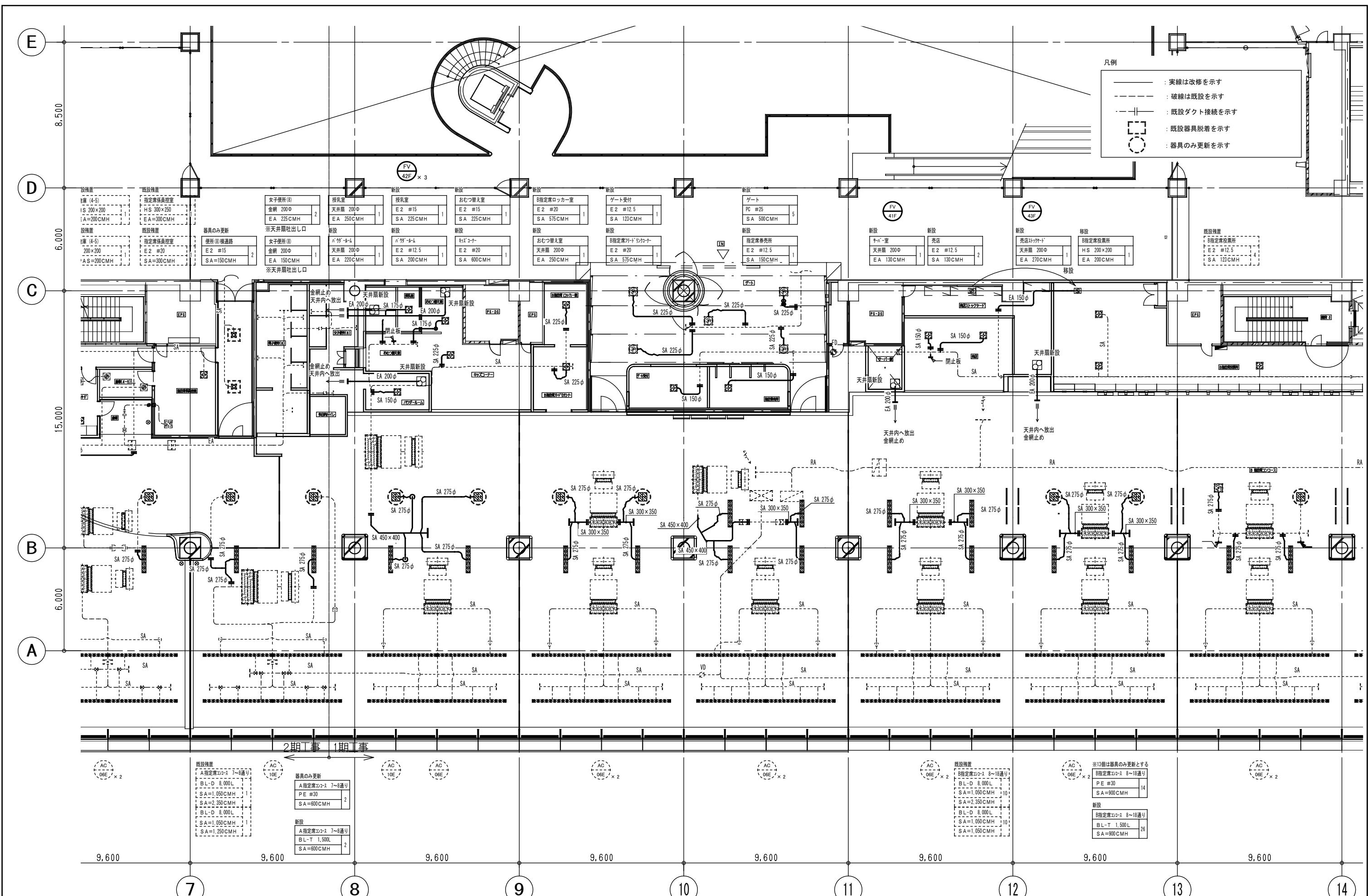
DESIGNED

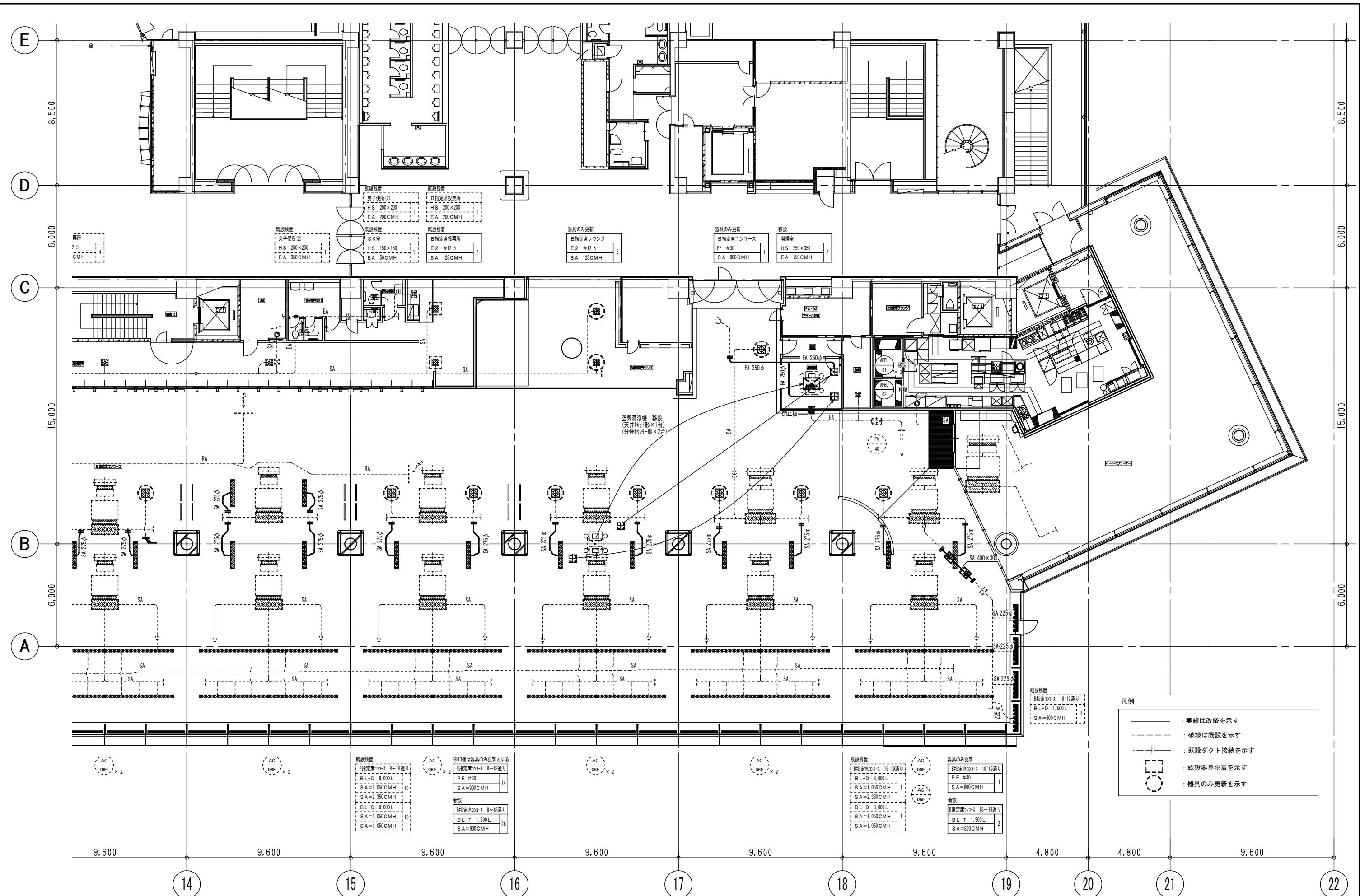
CHECKED

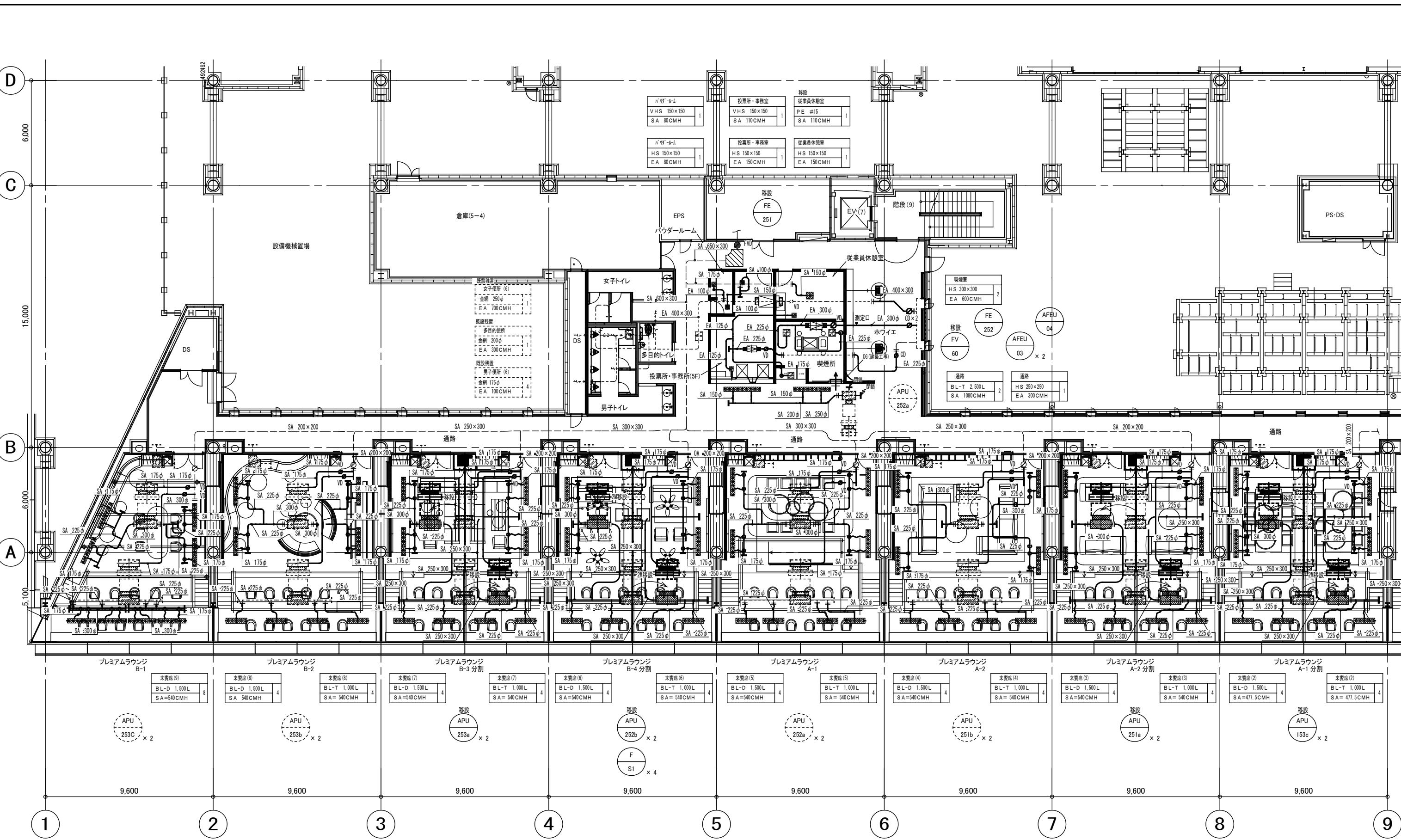
DATE

SCALE



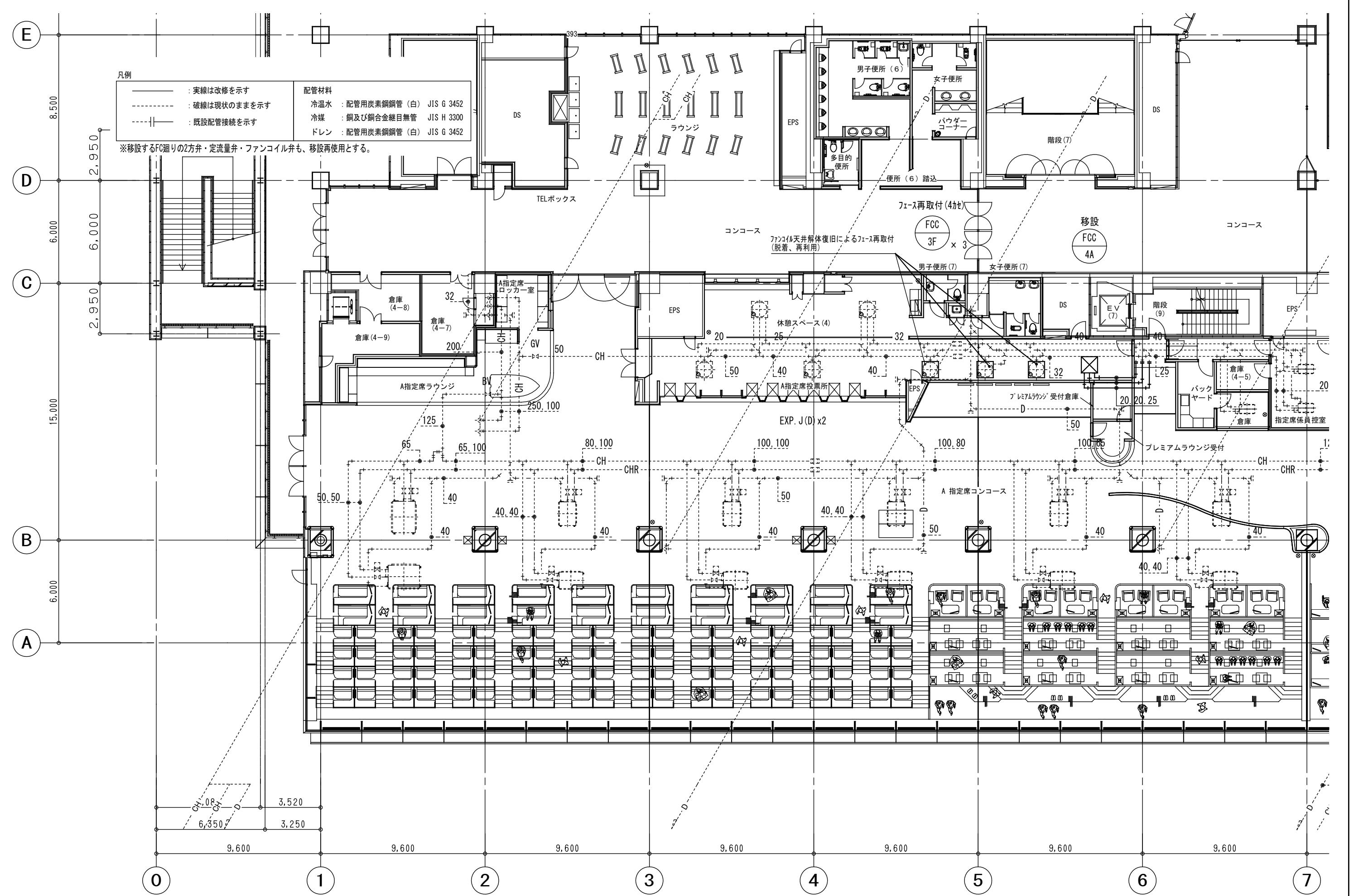


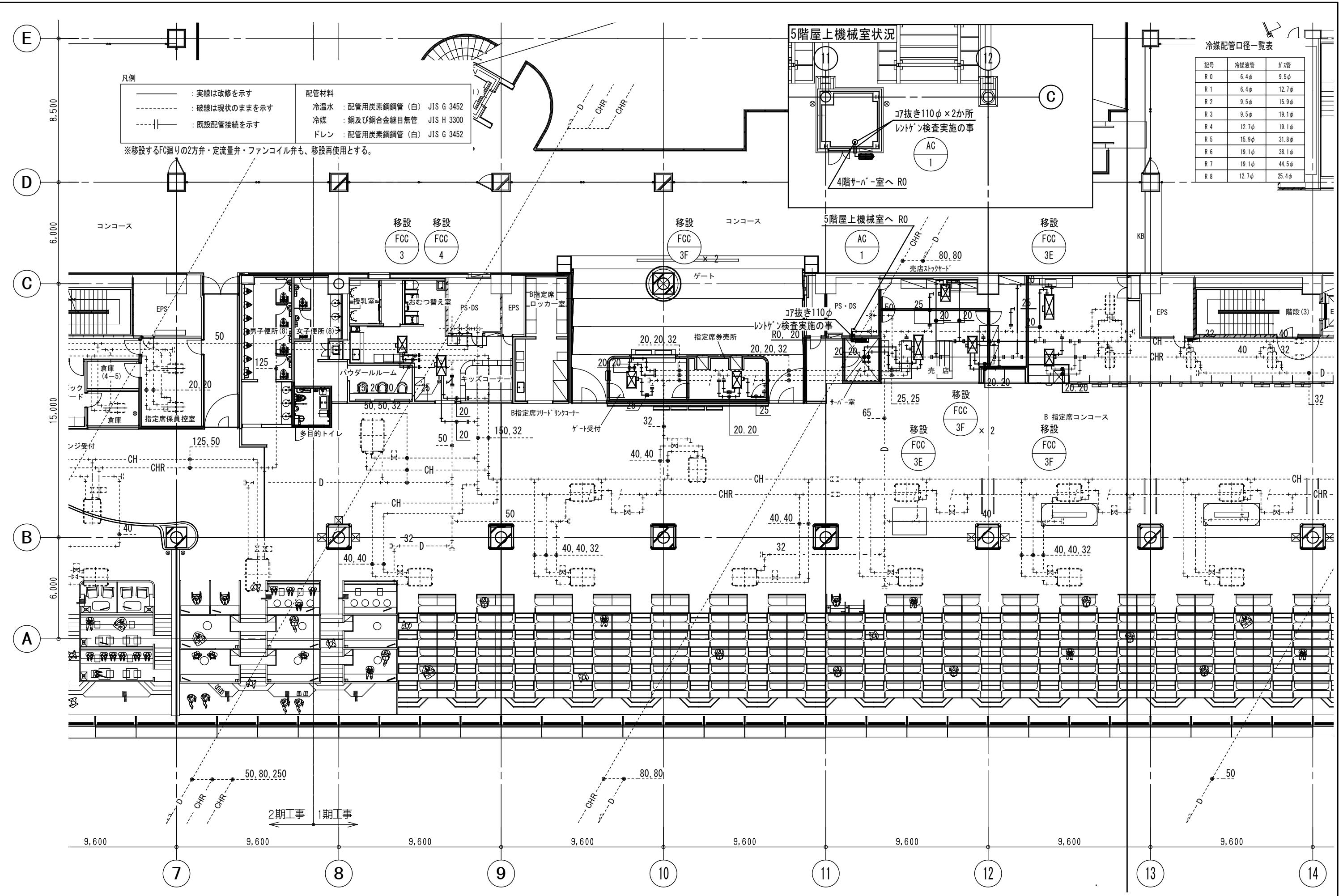


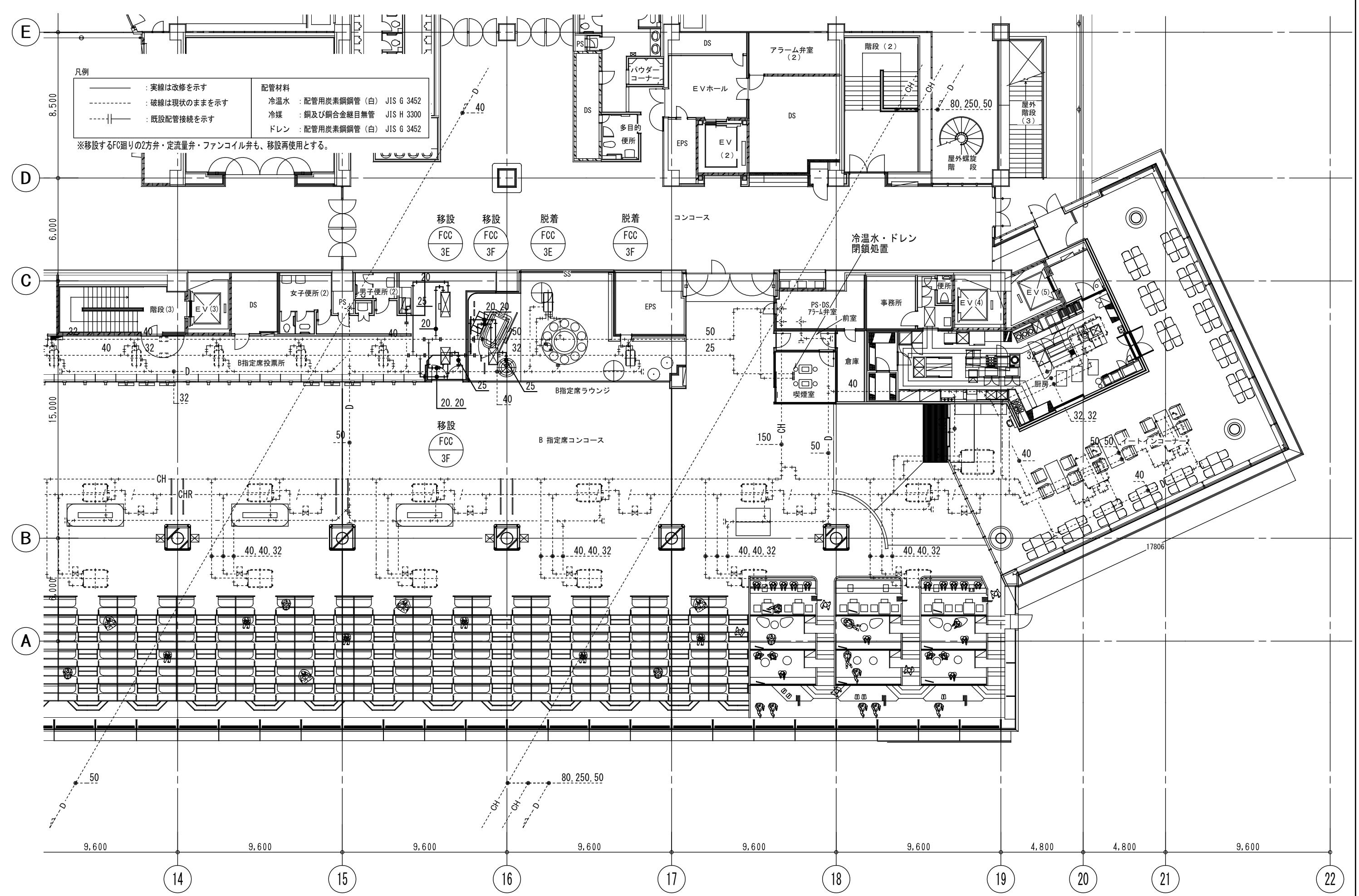


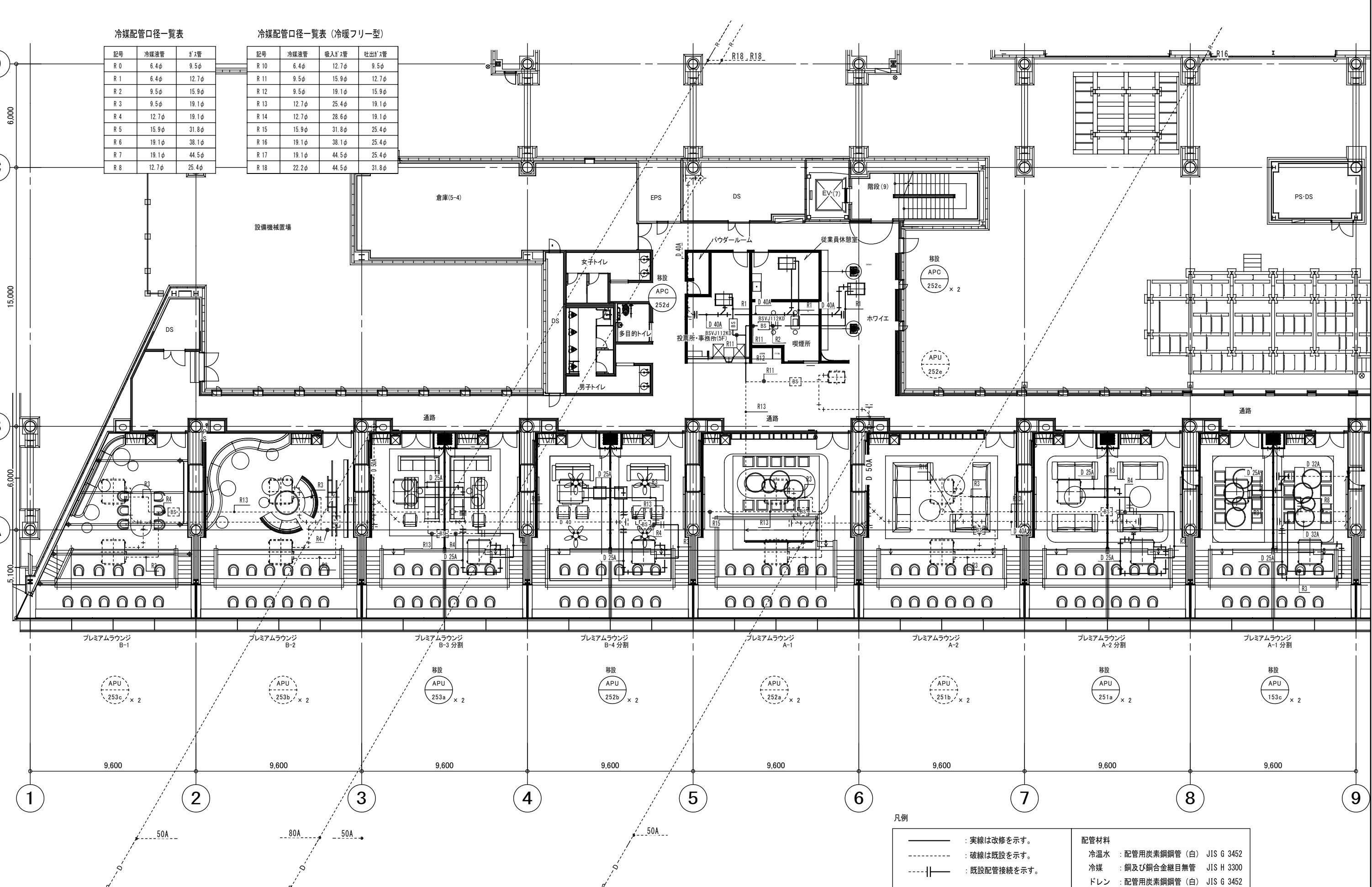
凡例

- 実線は改修を示す
- 破線は既設を示す
- 既設ダクト接続を示す



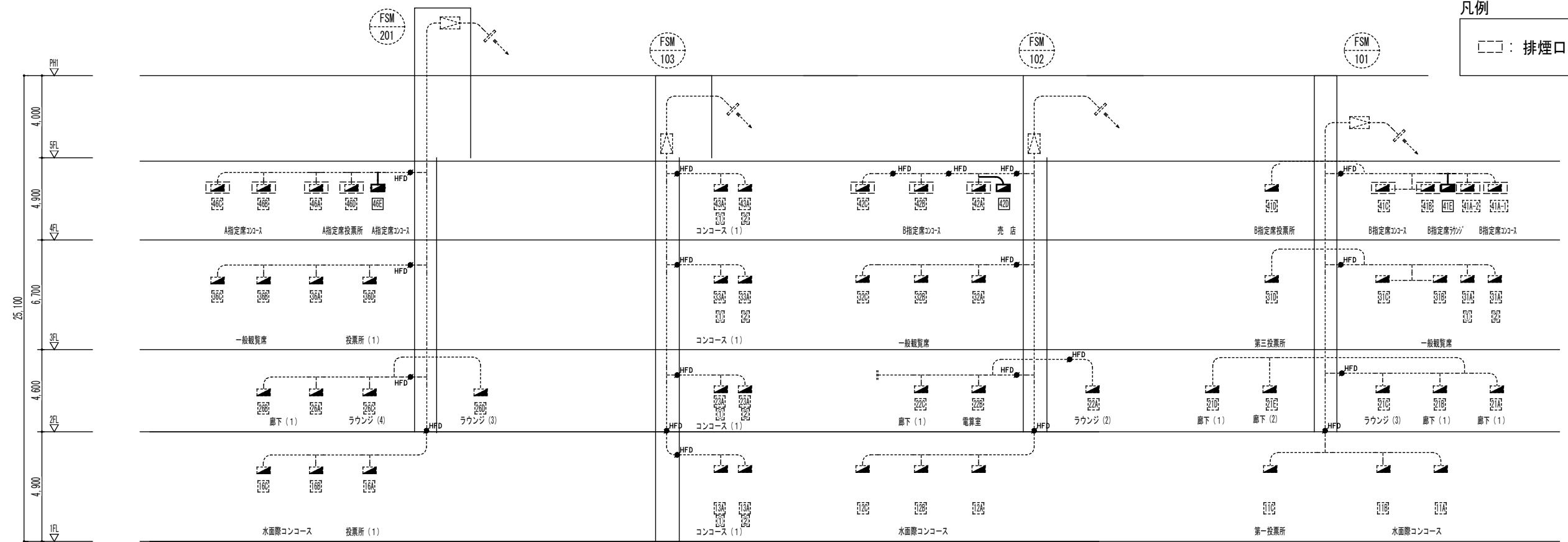






1 排煙系統図

破線表示部は既設ダクトを示す。HFDは排煙用防火ダンパー(280°C)を表す。



2 | 排煙計算書

建築基準法施行令第126条2項に該当する室の内機械排煙を設ける室	1 A : 防煙区画床面積 (m ²)
V=AQ=Ax60	2 Q : 単位排煙量 每分1m ³ (60m ³ /h)
V : 基準排煙量 m ³ /h (CMH)	3 V : 排煙量 (m ³ /h) (2以上の区画を兼ね持つ排煙機風量は最大区画面積の2倍以上の排能力を

MEMO

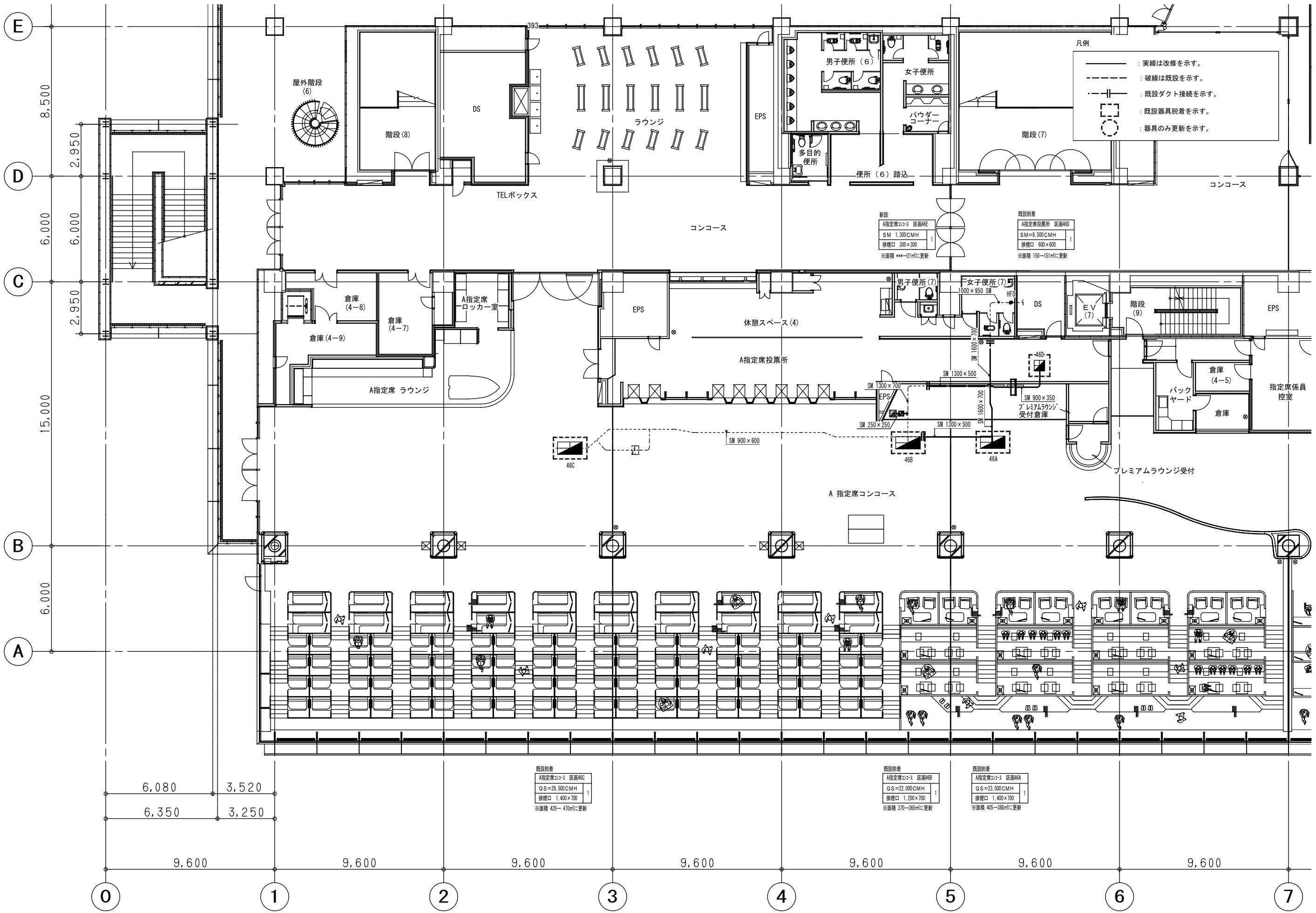
REVIS

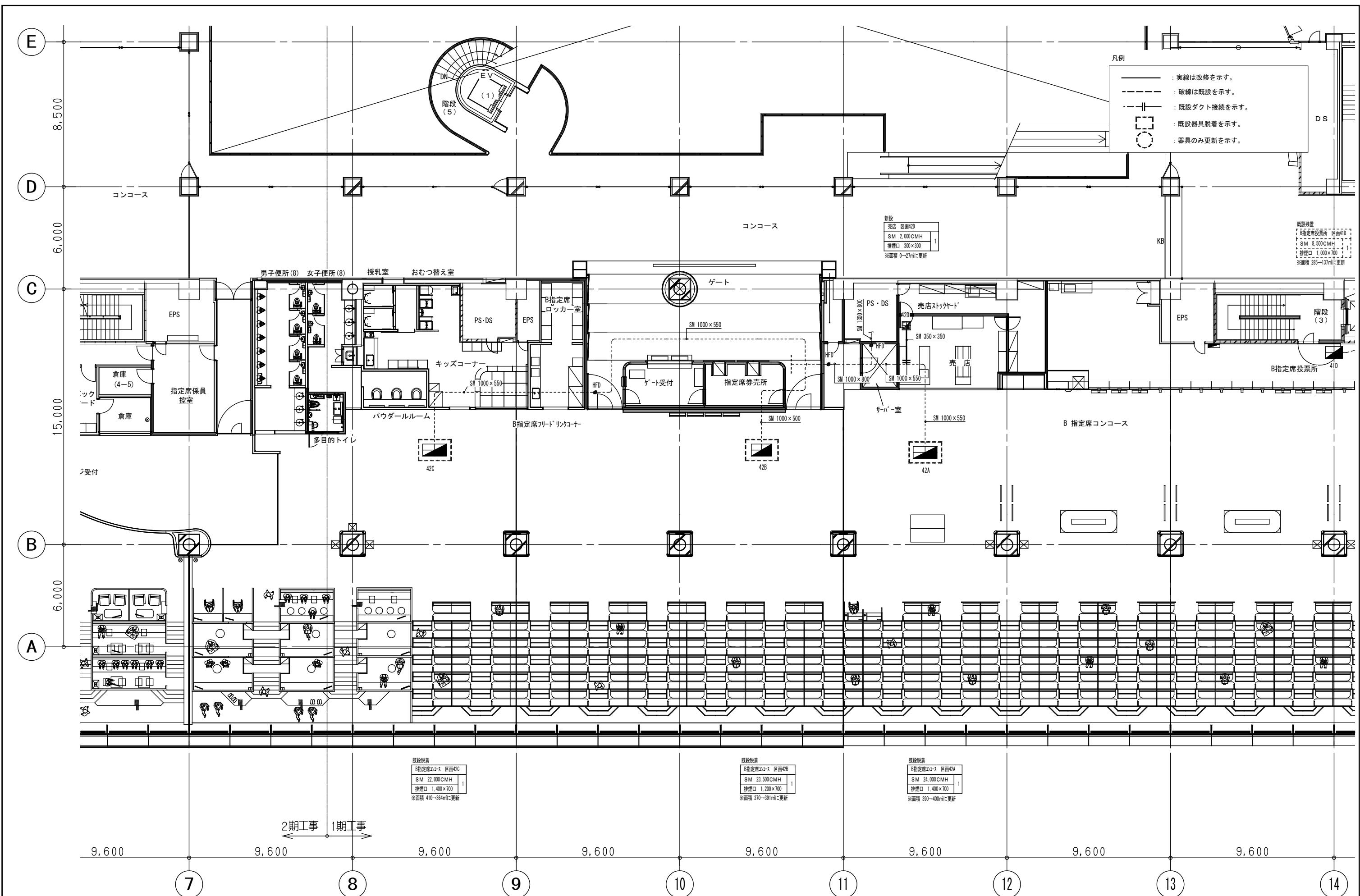
 Tanseisha

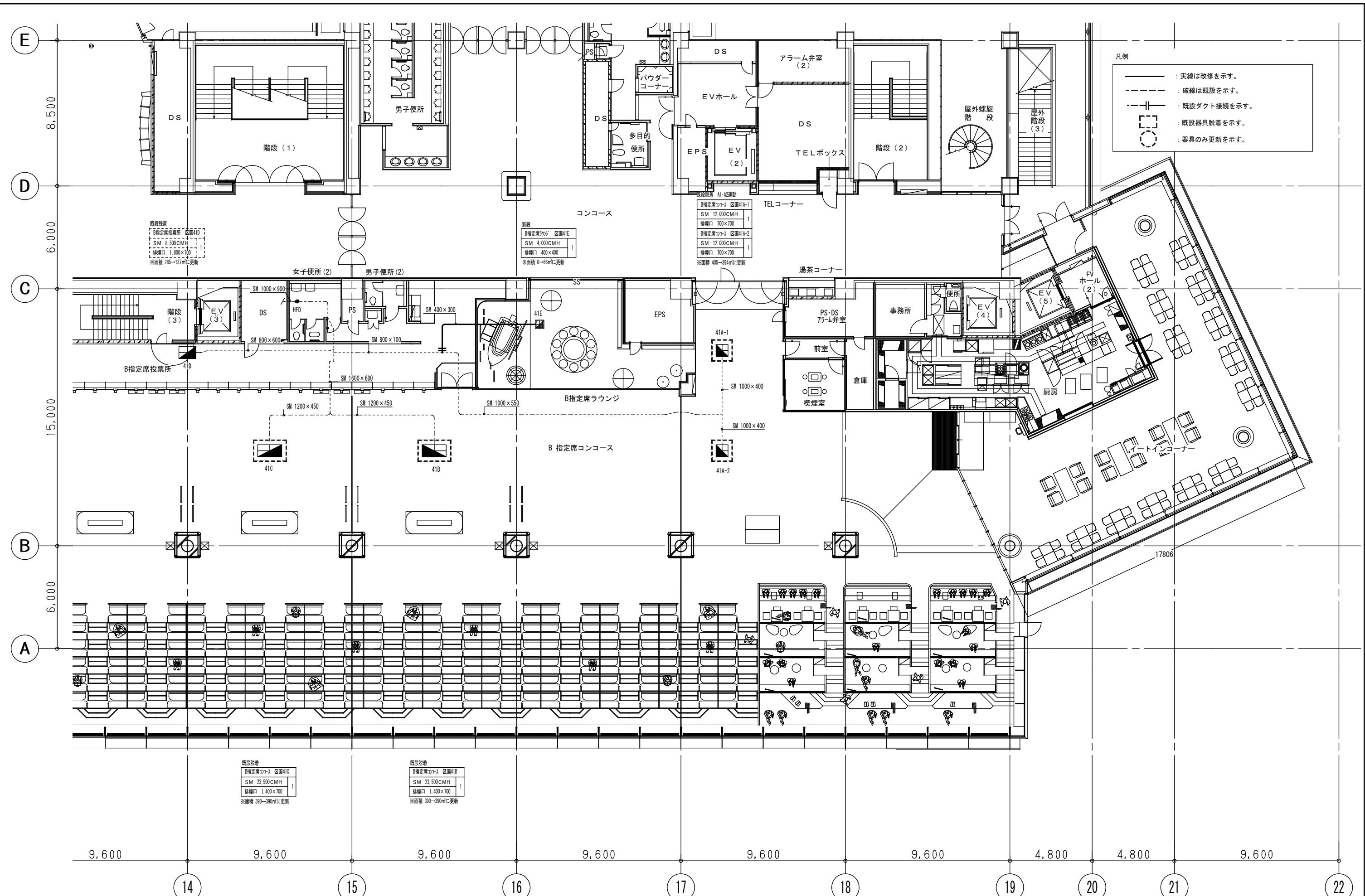
TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

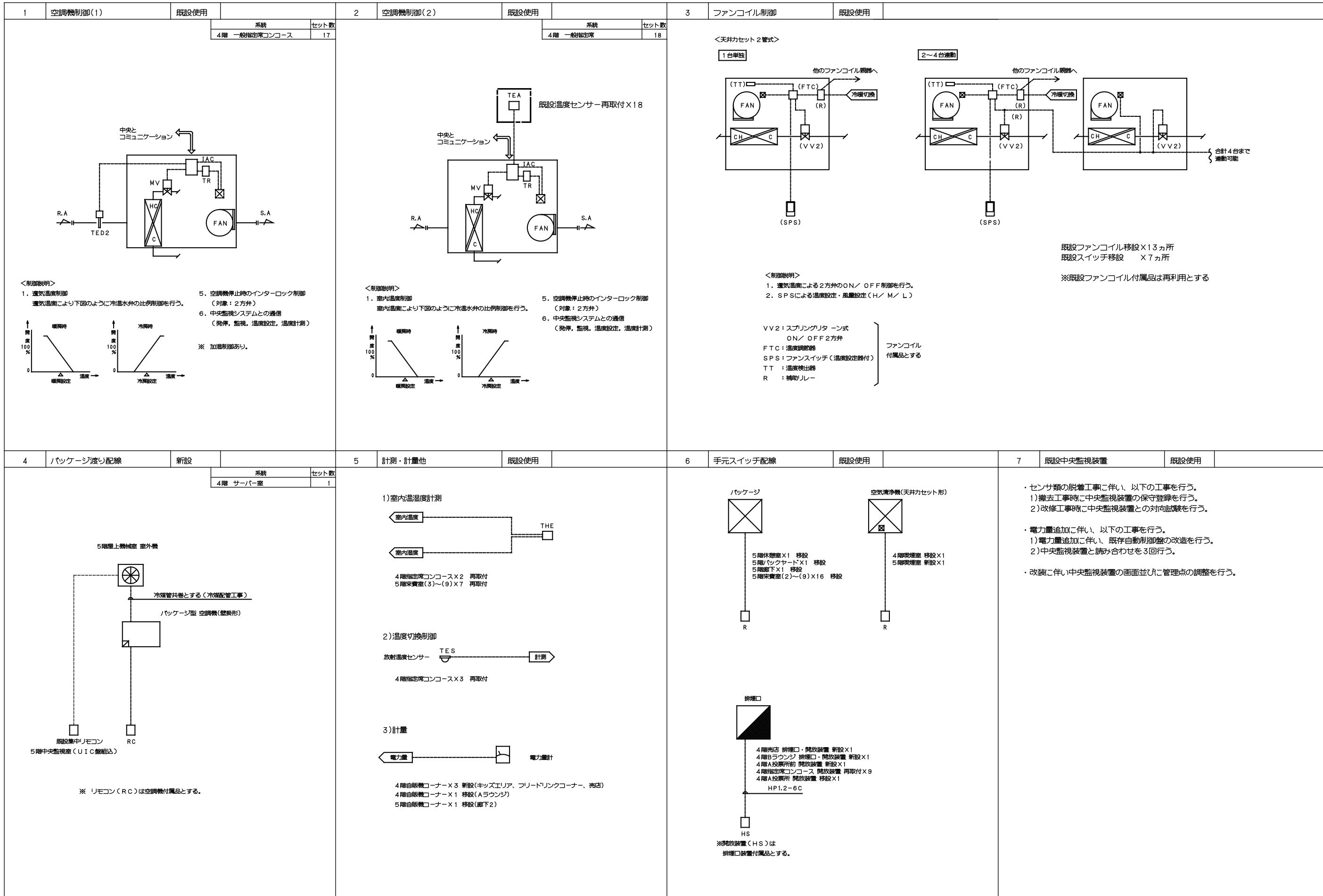
SUBJECTS 排煙ダクト系統図

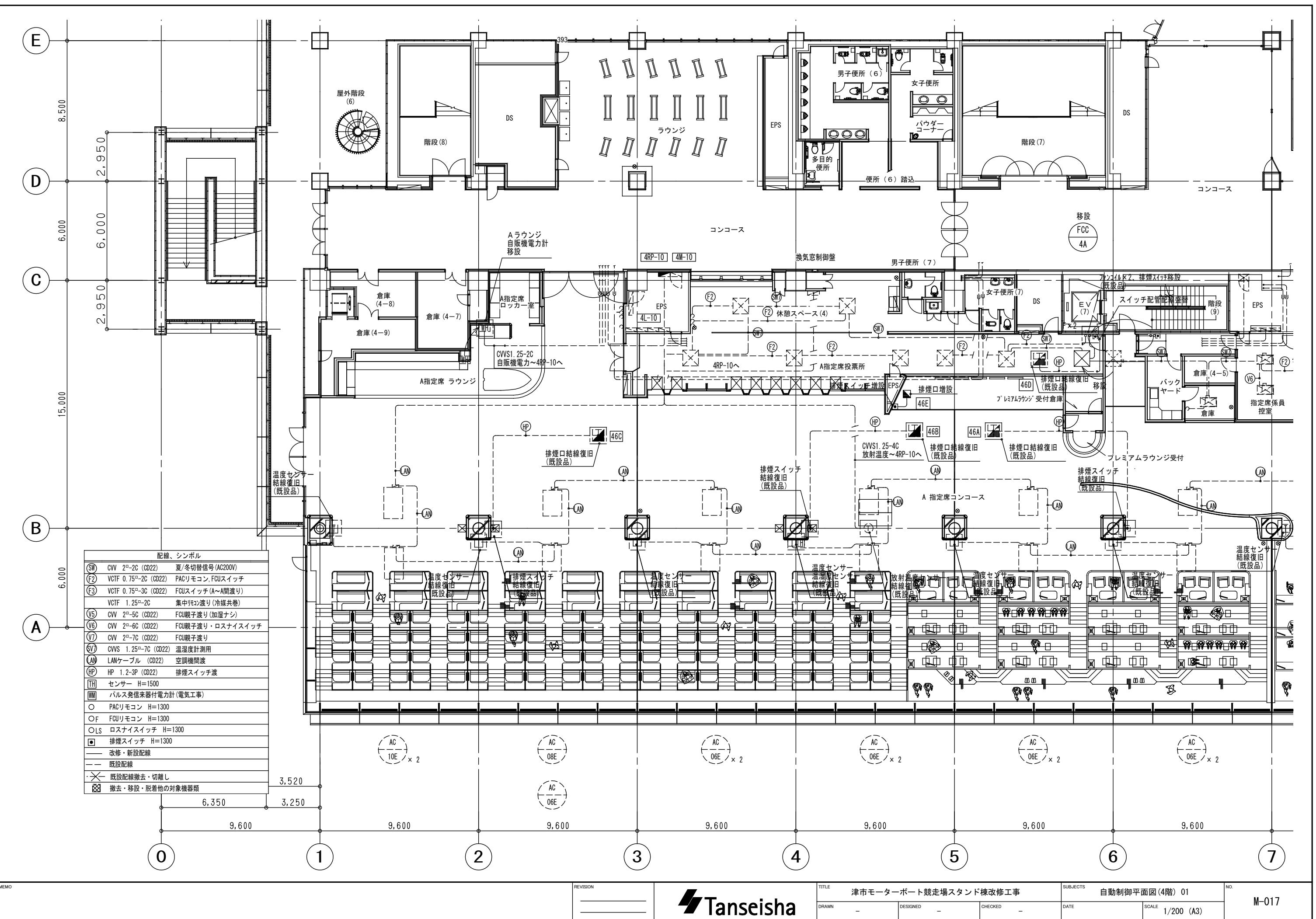
M 012

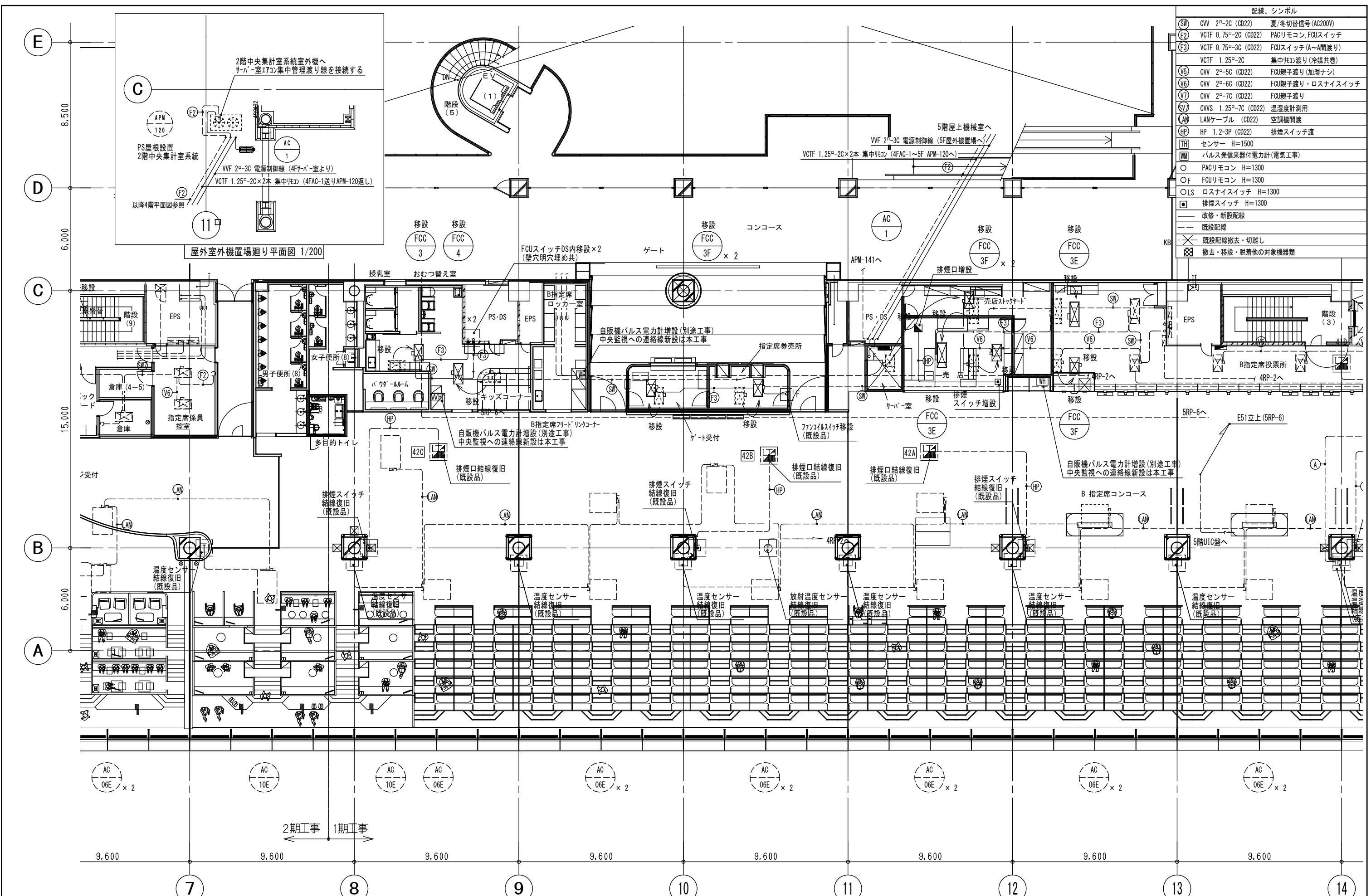


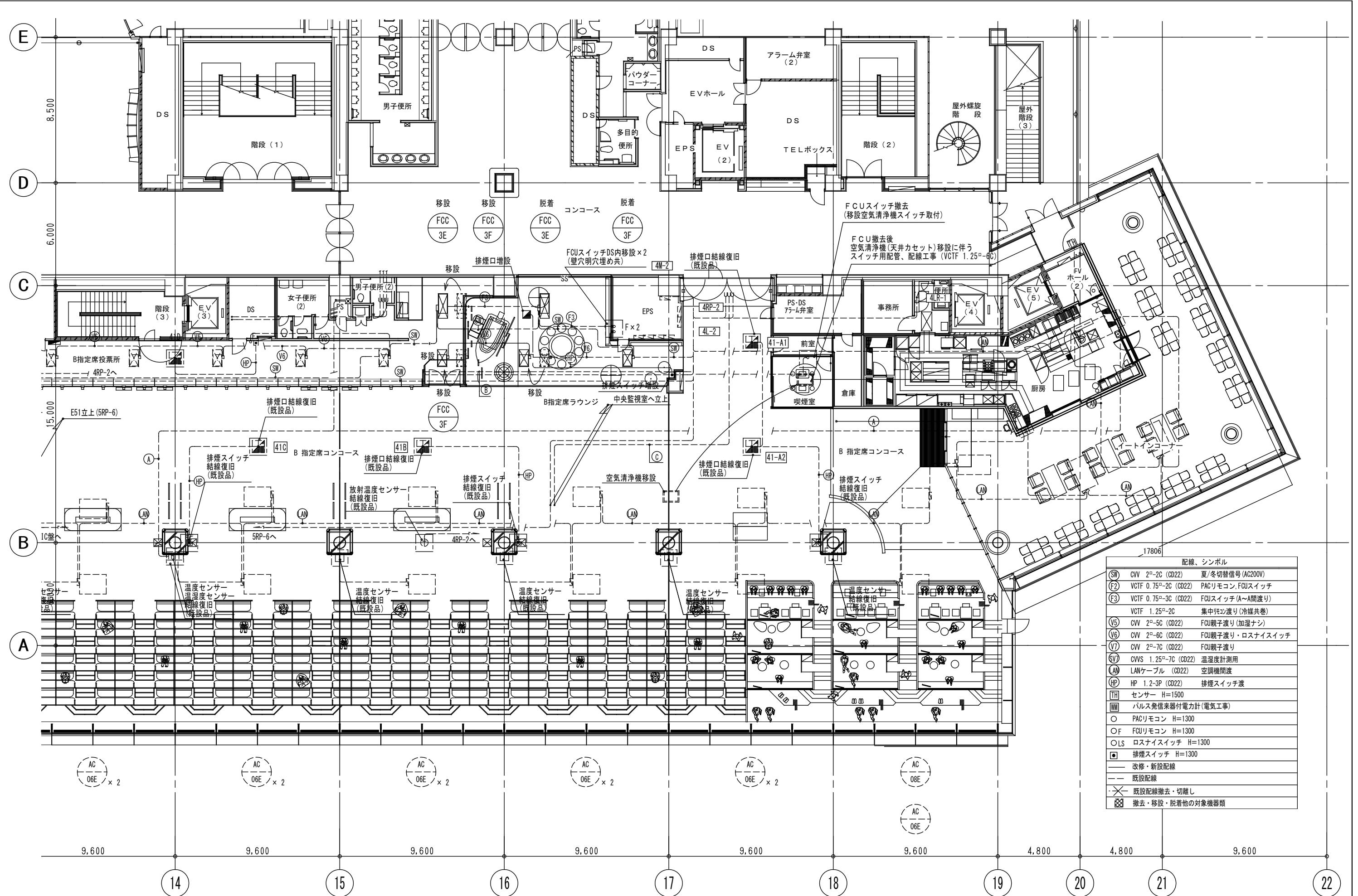












MEMO

REVISION

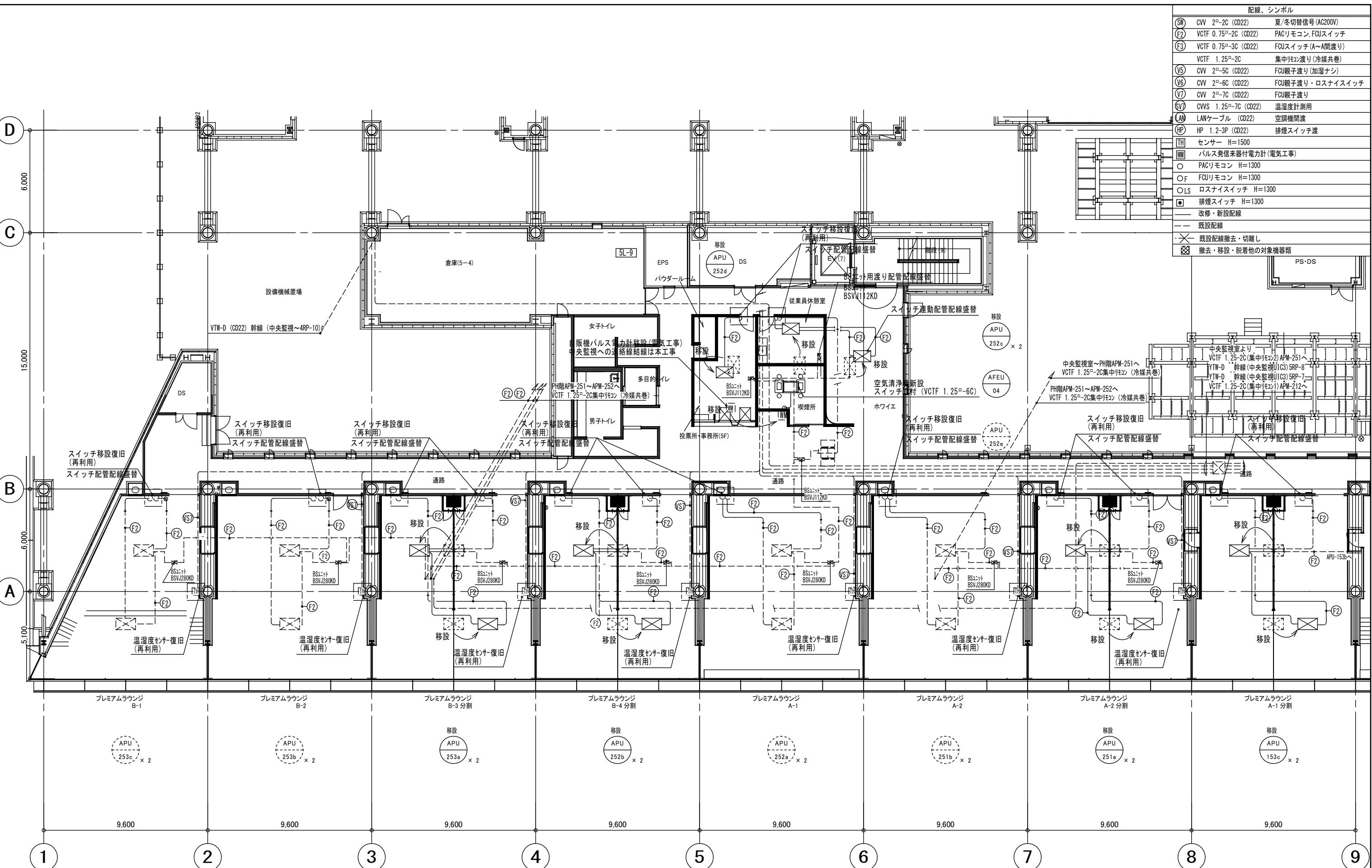
TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

SUBJECTS 自動制御平面図(4階) 03

DATE 1/200 (A3)

NO. M-019



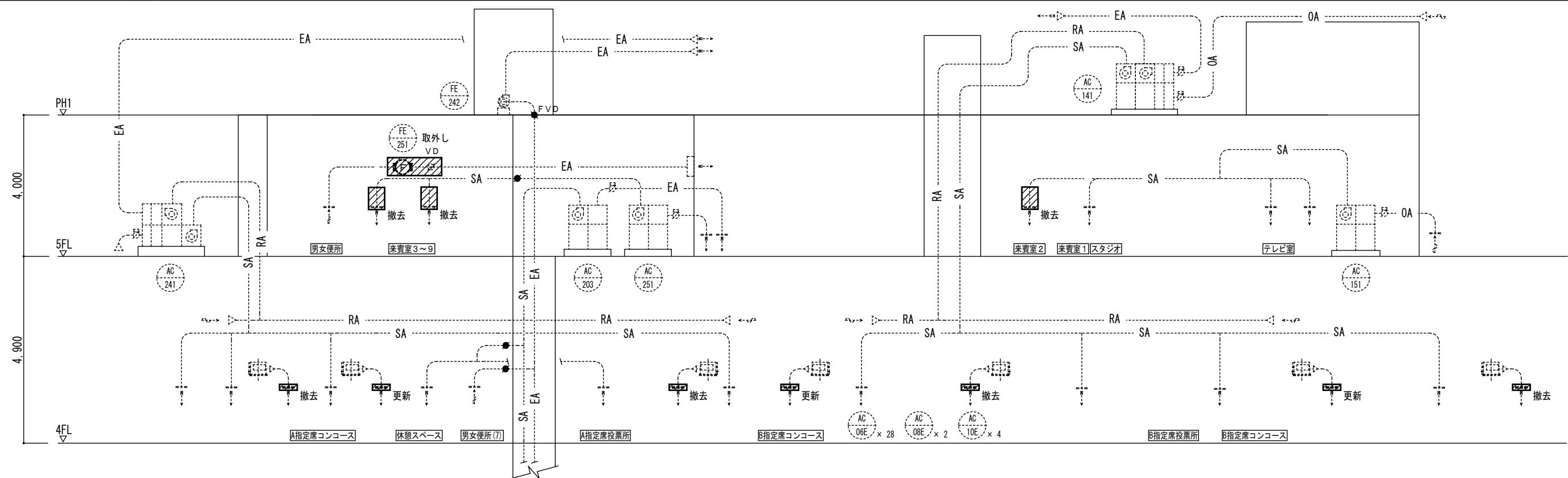
2	機器表（2）		—	既設機器の撤去及び移設					※ 撤去や移設工事を行わない機器類は、台数をカッコ書き（ ）で示す	
機 番	名 称	仕 様			相 (Φ)	電 壓 (V)	動 力 (kw)	台 数	設 置 場 所	備 考
AFEU-01	空気清浄機	分煙カット形（ハイカット、自動運転機能付）		1	100	0.13	2	4階喫煙室	移設×2台	
		風量 900m3/h、集塵効率95% (0.8 μmDOP)								
		W630×D416×H980 約42kg								
		付属品一式								
		既設メーカー：JGコ-ボ レーション								
AFEU-02	空気清浄機	天井埋込カット形		1	100	0.118	1	4階喫煙室	移設×1台	
		風量 1,200m3/h、集塵効率94% (0.8 μmDOP)								
		W835×D670×H390 約34kg								
		リモコン付、付属品一式								
		既設メーカー：JGコ-ボ レーション								
FE-143	排風機	JGコ 床置型 #2 1/2 風量 5,450m3/h×343Pa		3	200	1.5	(1)	塔屋1階		
1~4階男女便所(3)	既設メーカー	：松下電器産業								
系統										
FE-242	排風機	JGコ 床置型 #3 風量 8,600m3/h×350Pa		3	200	2.2	(1)	塔屋1階		
1~4階男女便所(7)	既設メーカー	：松下電器産業								
系統										
FE-251	排風機	ストレードJGコ 天吊型 風量 2,000m3/h×200Pa		3	200	0.4	1	5階サービス室	移設×1台	
5階男女便所系統	既設メーカー	：三菱電機								
FV-40	排風機	ミニJGコ(消音BOX付) 風量 400m3/h×100Pa		1	100	0.1	(1)	4階ココス		
4階警備本部室系統	既設メーカー	：三菱電機								
FV-60	排風機	ミニJGコ(消音BOX付) 風量 600m3/h×98Pa		1	100	0.1	1	5階サービス室	移設×1台	
5階局所排気系統	既設メーカー	：三菱電機								
FV-150H	排風機	ストレードJGコ 天吊型 風量 1,500m3/h×200Pa		1	100	0.38	(1)	5階倉庫		
4階喫煙室系統	付属品	：既設吸込HS350×350×2個再利用								
	既設メーカー	：ナリ								

【既設】

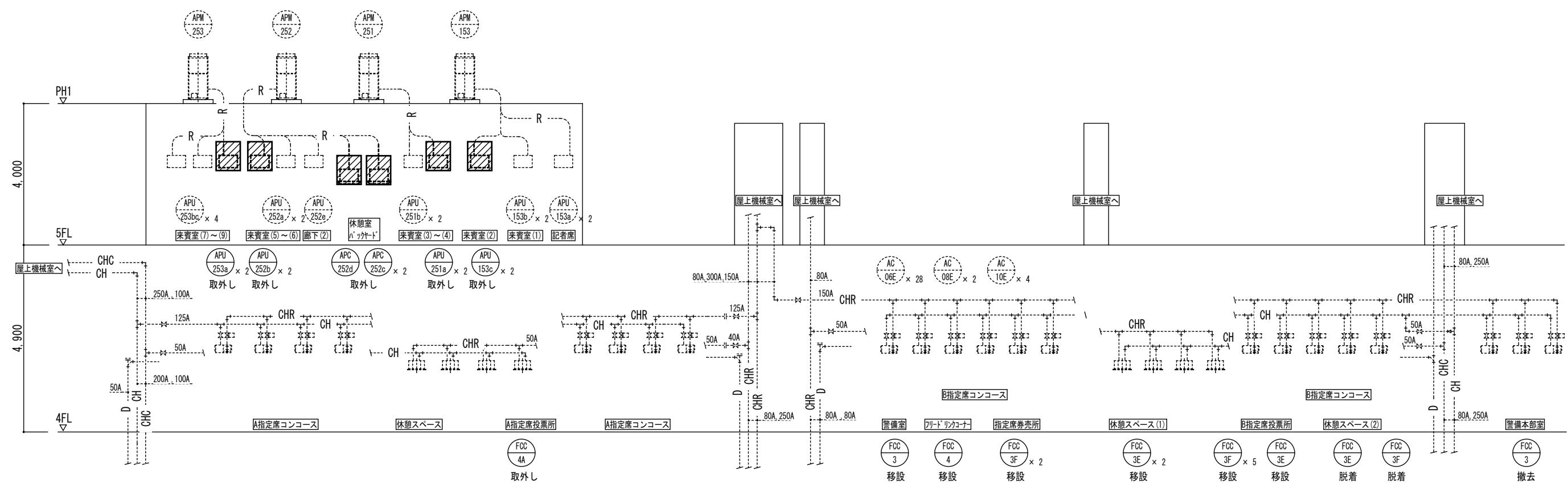
4階制気口リスト

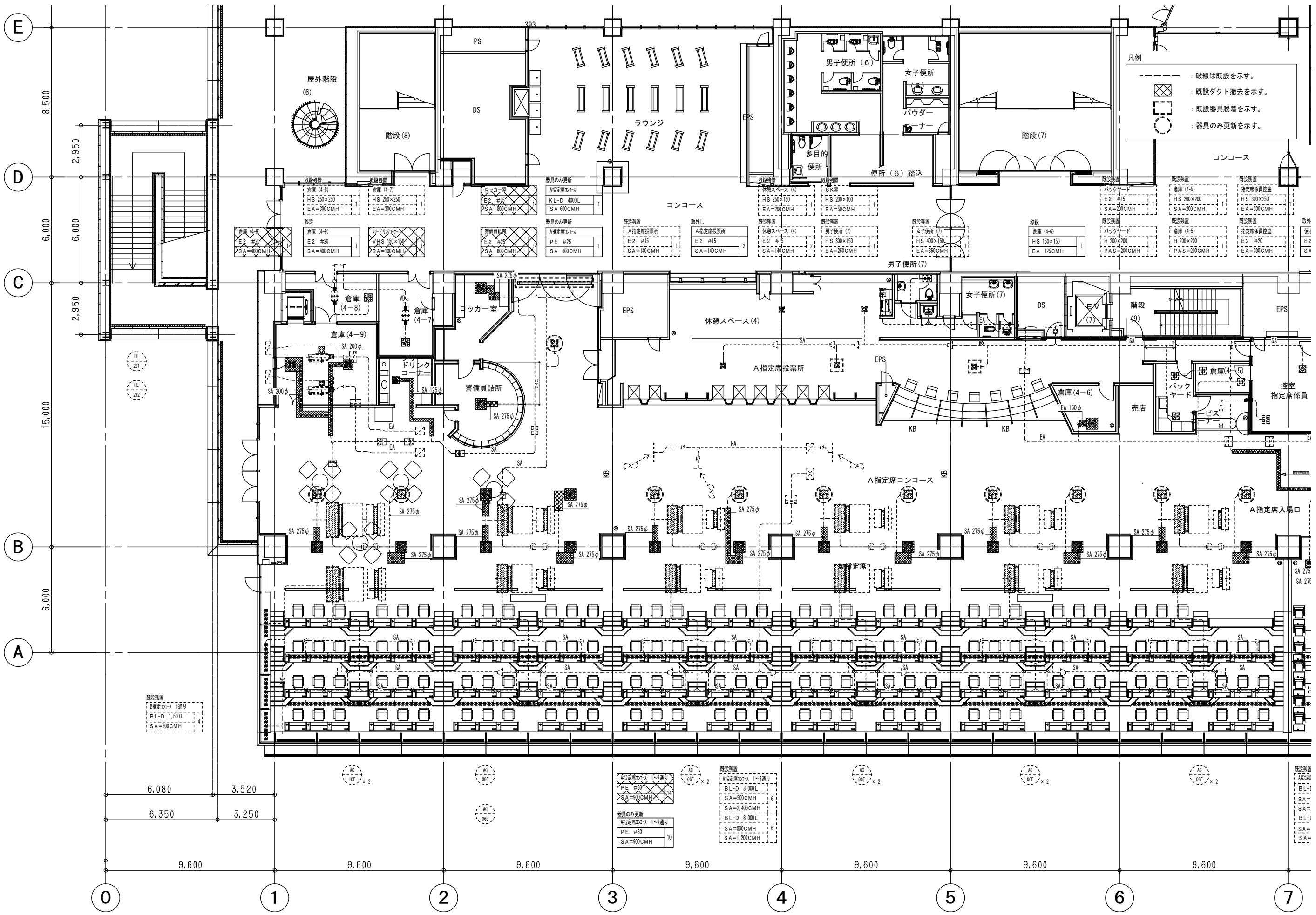
階	室名	形状	寸法	制気口ボックス	消音	種別	風量	m3/h	数量	工事	備考
4 A指定席コンコース 1~7通り	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	500		6	残置	AC-241		
					2,400						
	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	500		6	残置	AC-241		
					1,200						
	BL-D 1500L	1700x300x400H		● SA	600		4	残置	AC-10E		
	PE #30	650x650x400H		● SA	900				10	更新	AC-6E、8E、10E
	PE #30	650x650x400H		● SA	900		14	撤去	AC-6E、8E、10E		
	天井スリット			RA	1,000				3	—	建築工事、AC-241
	天井スリット			RA	12,000		1	—	建築工事、AC-10E × 2		
	天井スリット			RA	4,800				1	—	建築工事、AC-8E
	天井スリット			RA	32,400		1	—	建築工事、AC-6E × 9		
A指定席コンコース 7~8通り	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		1	残置	AC-141		
					2,350						
	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		1	残置	AC-141		
					1,250						
	PE #30	650x650x400H		● SA	400		1	更新	AC-10E		
	PE #30	650x650x400H		● SA	800				1	更新	AC-10E
	PE #30	650x650x400H		● SA	400		1	撤去	AC-10E		
	PE #30	650x650x400H		● SA	800				1	撤去	AC-10E
	天井スリット			RA	2,100		1	—	建築工事、AC-141		
	天井スリット			RA	6,000				1	—	建築工事、AC-10E
B指定席コンコース 8~18通り	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		10	残置	AC-141		
					2,350						
	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		10	残置	AC-141		
					1,050						
	PE #30	650x650x400H		● SA	900		1	更新	AC-6E		
	PE #30	650x650x400H		● SA	900				13	更新	AC-6E、10E
	PE #30	650x650x400H		● SA	900		27	撤去	AC-6E、10E		
	天井スリット			RA	21,000				1	—	建築工事、AC-141
	天井スリット			RA	64,900		1	—	建築工事、AC-6E × 19		
	天井スリット			RA	6,000				1	—	建築工事、AC-10E
B指定席コンコース 18~19通り	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		1	残置	AC-141		
					2,350						
	BL-D 8000L	8200x300x400H		● SA	1,050		1	残置	AC-141		
					1,050						
	BL-D 1500L	1700x300x400H		● SA	600		4	残置	AC-8E		
	PE #30	650x650x400H		● SA	800				1	更新	AC-8E
	PE #30	650x650x400H		● SA	800		2	撤去	AC-8E		
	天井スリット			RA	2,100				1	—	建築工事、AC-141
	天井スリット			RA	3,400		1	—	建築工事、AC-6E		
	天井スリット			RA	4,800				1	—	建築工事、AC-8E
指定席横カウンター	PE #15			● SA	100		1	撤去			
	倉庫(4-7)	HS 250×250	450x450x400H	EA	300				1	残置	
	倉庫(4-8)	HS 250×250	450x450x400H	EA	300		1	残置			
	倉庫(4-9)	E2 #20	450x450x300H	● SA	400				1	移設	
	倉庫(4-9)	E2 #20	450x450x300H	● SA	400		1	撤去			
	ポートリンクコーナー	VHS 150×150	350x350x300H	● SA	100				1	撤去	
	ロッカ室	E2 #25	550x550x300H	● SA	800		1	撤去			
	警備員詰所	E2 #25	550x550x300H	● SA	800				1	撤去	
A指定席コンコース	KL-D 4000L	4200x300x400H		● SA	600		1	撤去			
	PE #25	550x550x300H		● SA	600				1	撤去	
	A指定席投票所	E2 #15	450x450x300H	● SA	140		2	取外し			
	休憩スペース(4)	E2 #15	450x450x300H	● SA	140				2	残置	
	休憩スペース(4)	HS 250×150	450x350x350H	EA	200		1	残置			

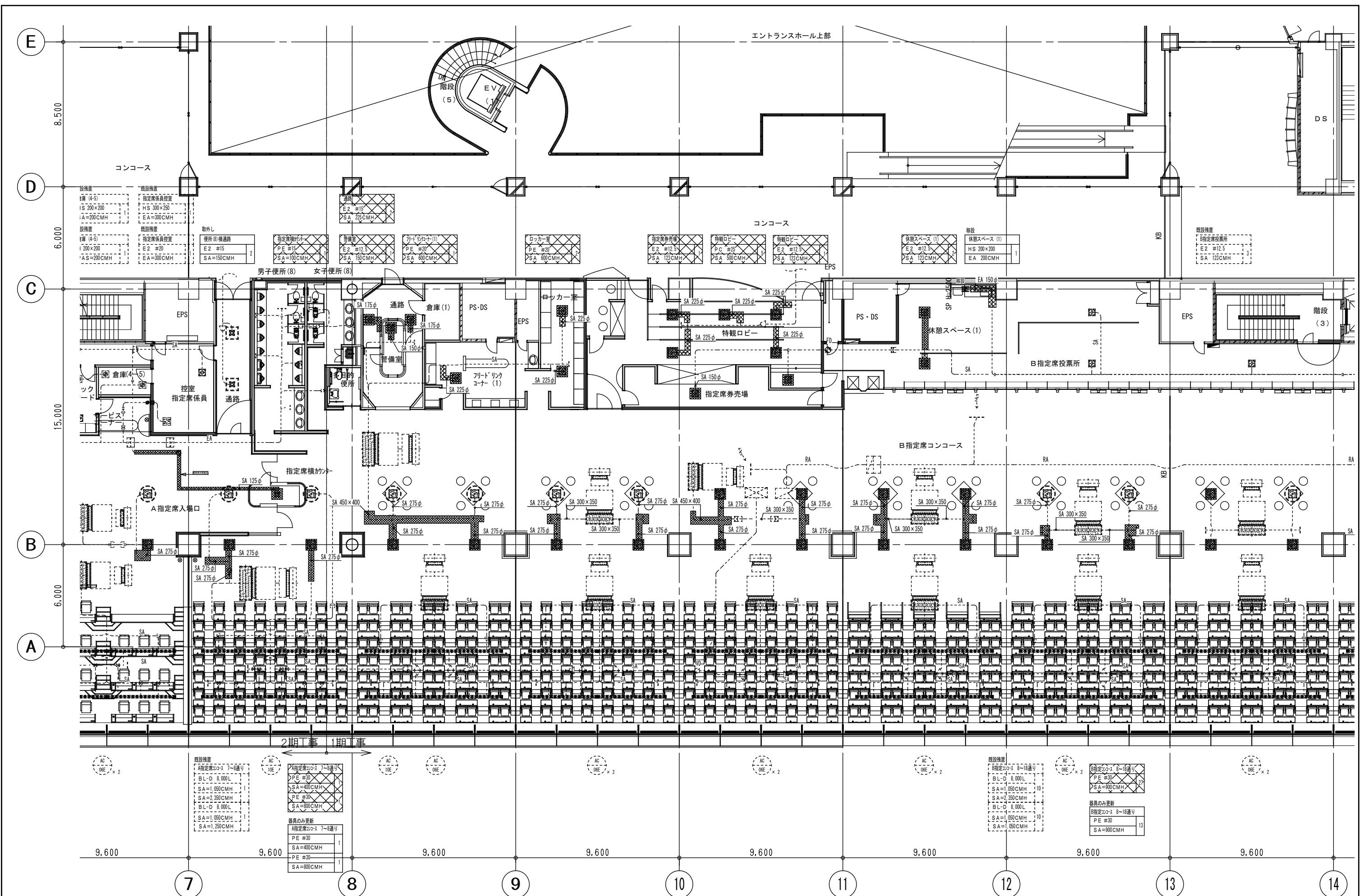
1 ダクト系統図 —— 注記) 破線部分は既設を表す

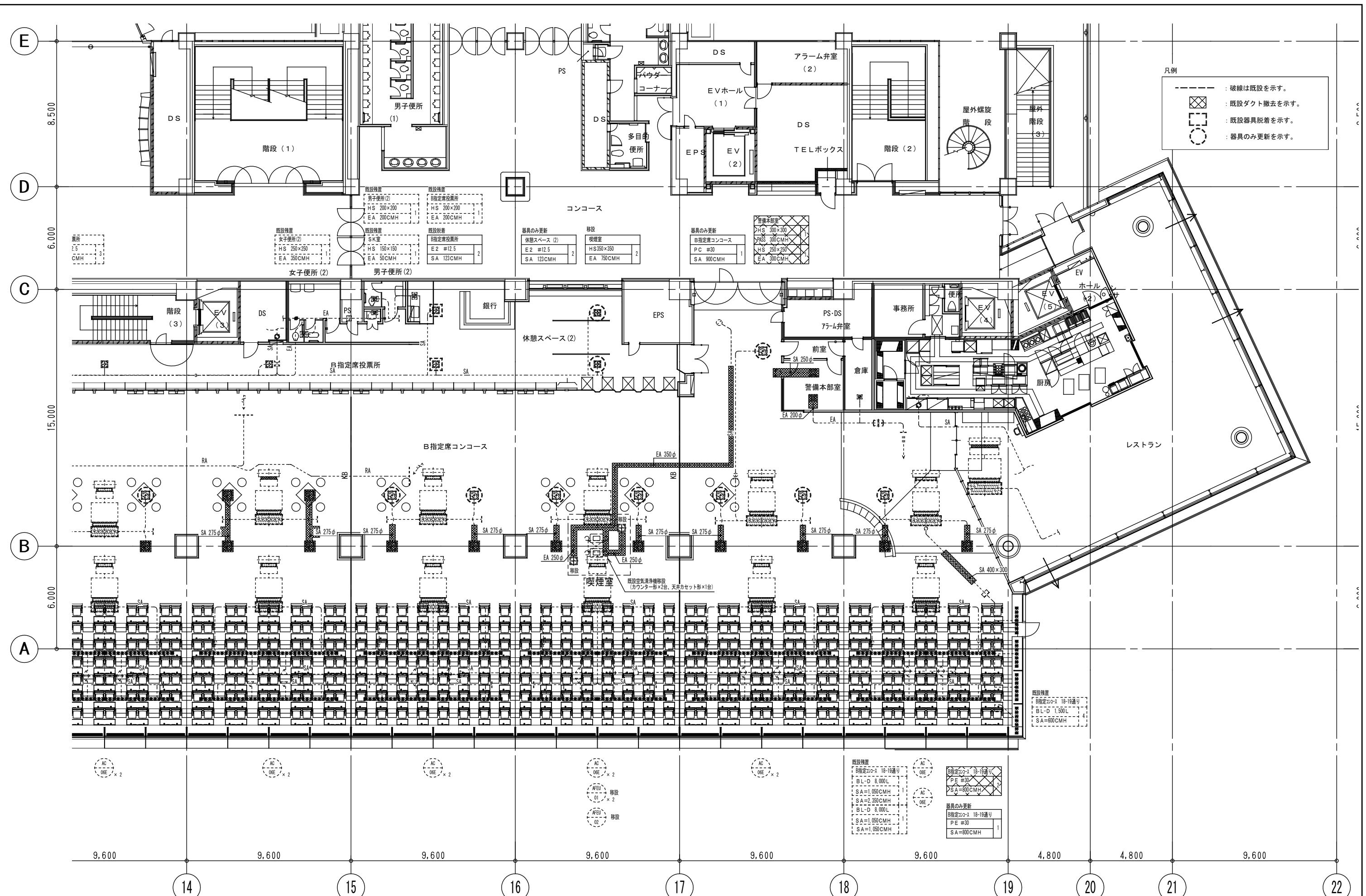


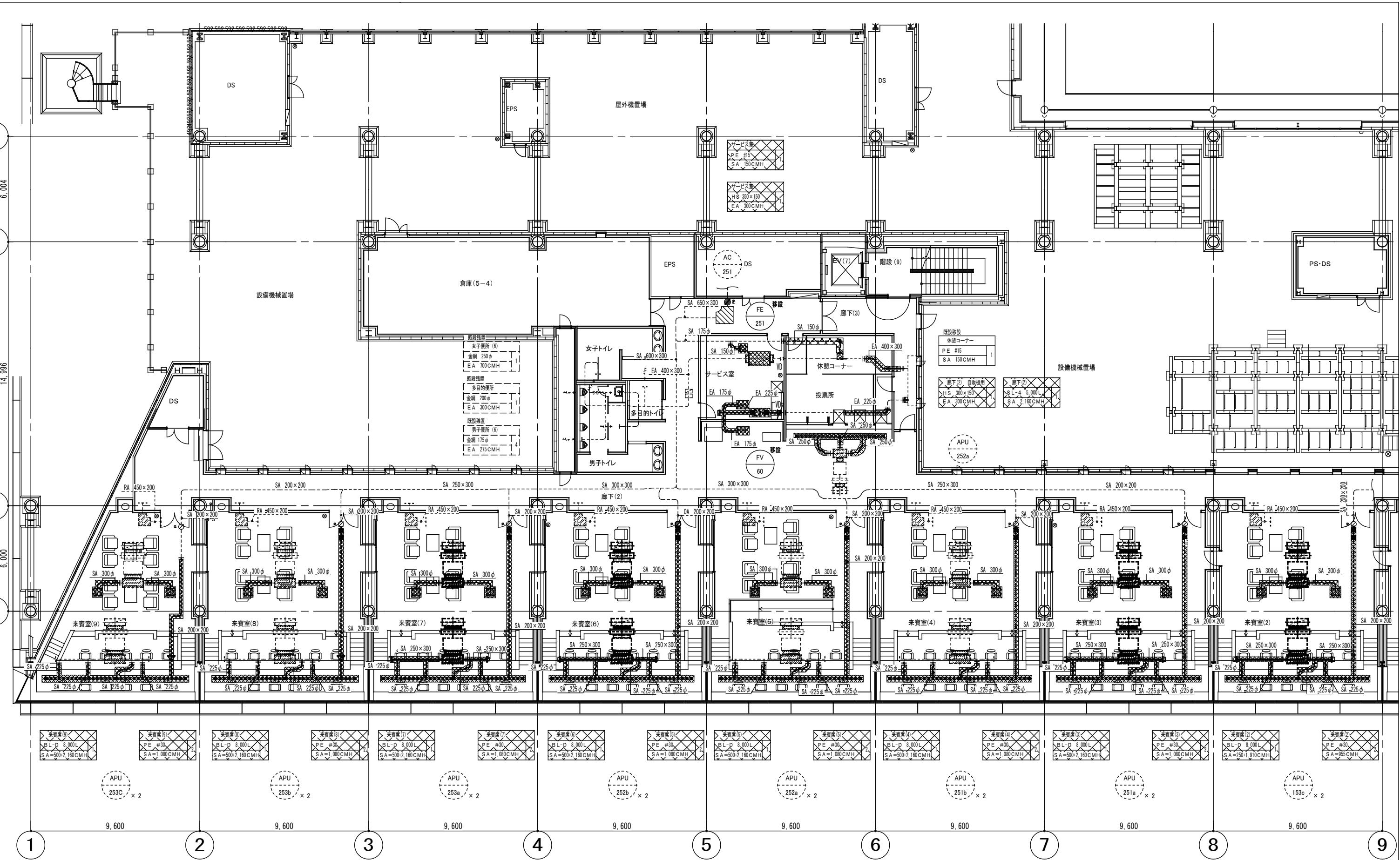
1 空調配管系統図 —— 注記) 破線部分は既設を表す







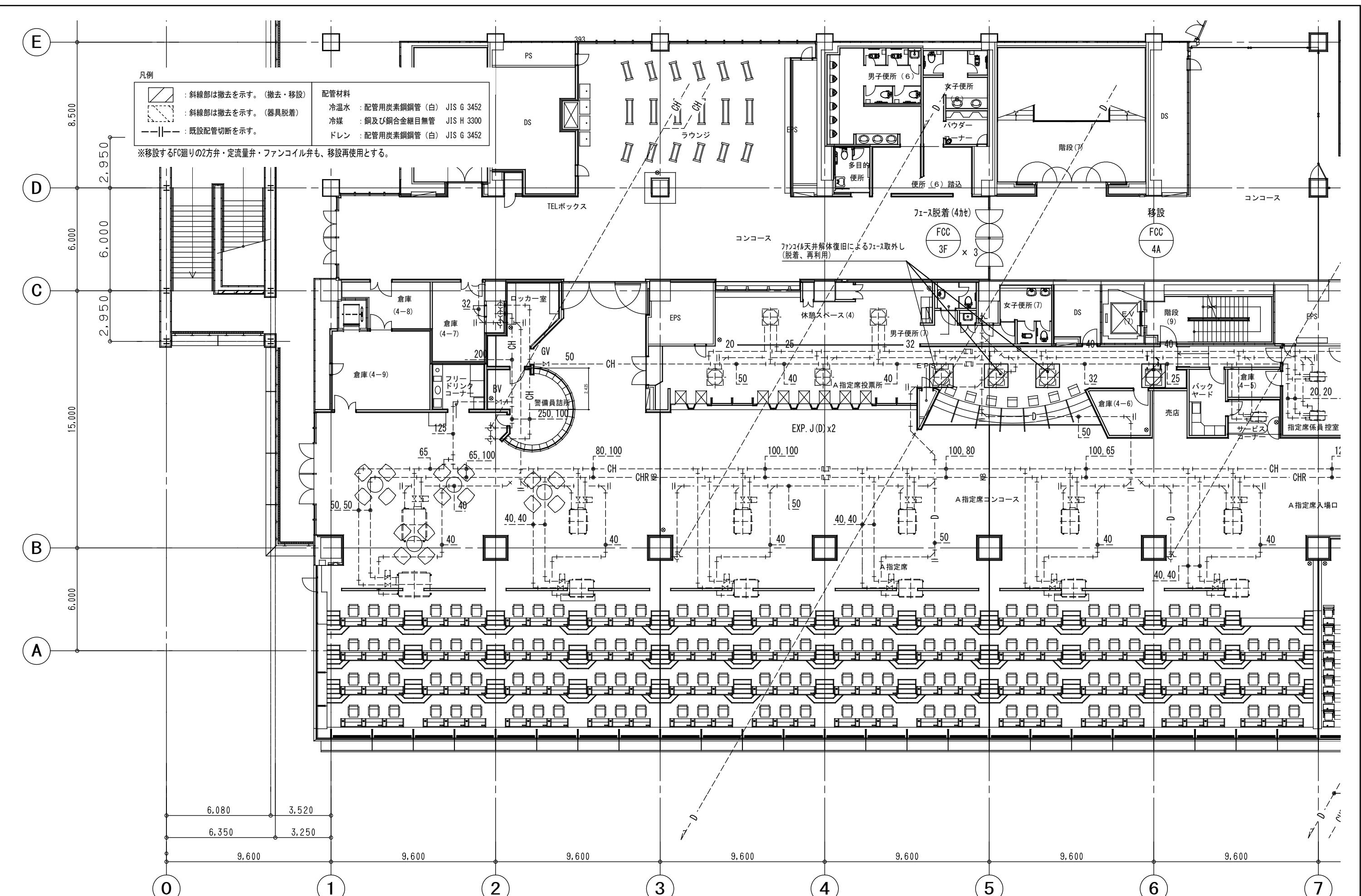


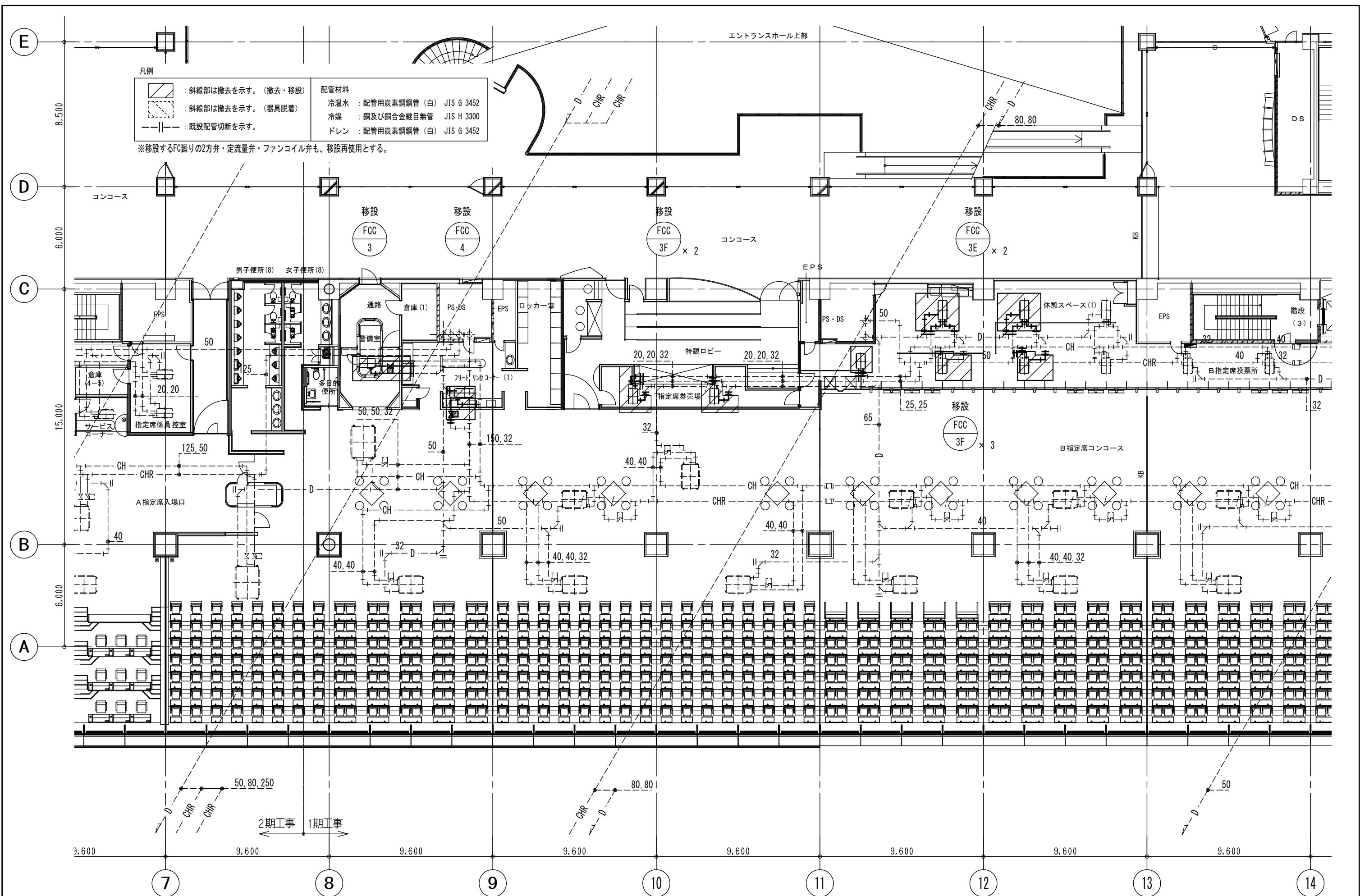


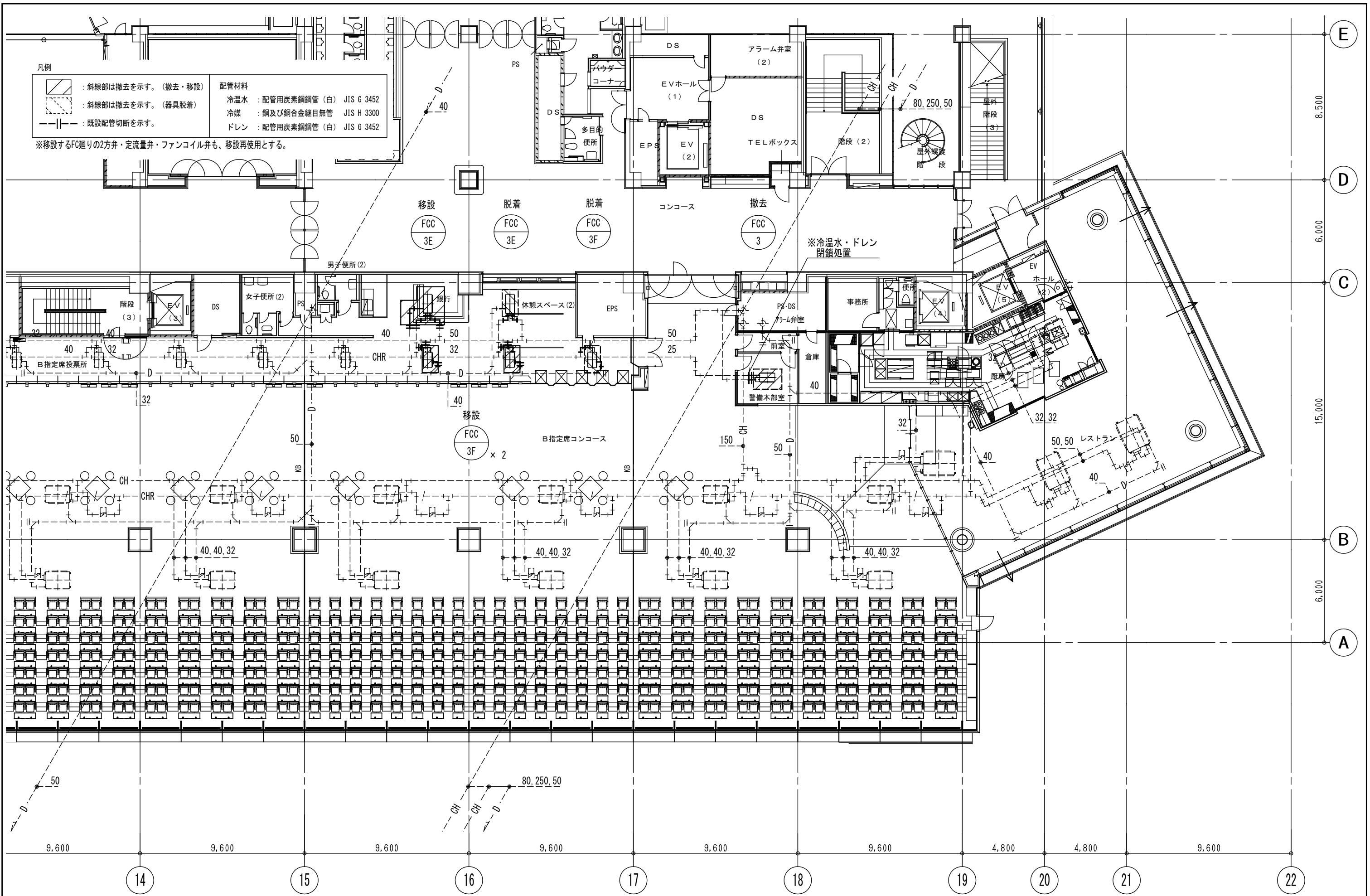
凡例

----- : 破線は既設を示す。

☒ : 既設ダクト撤去を示す。







MEMO

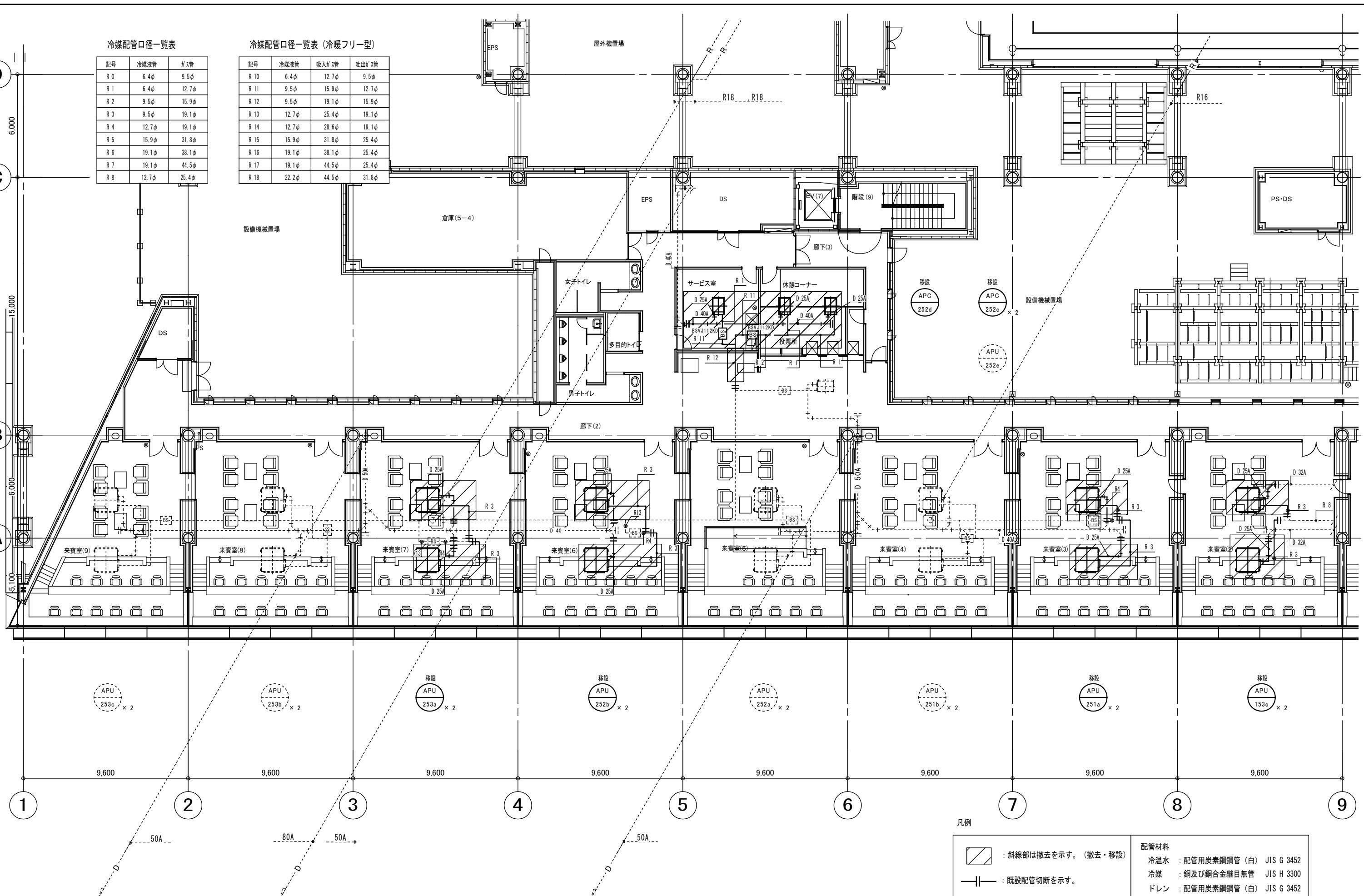
REVISION

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

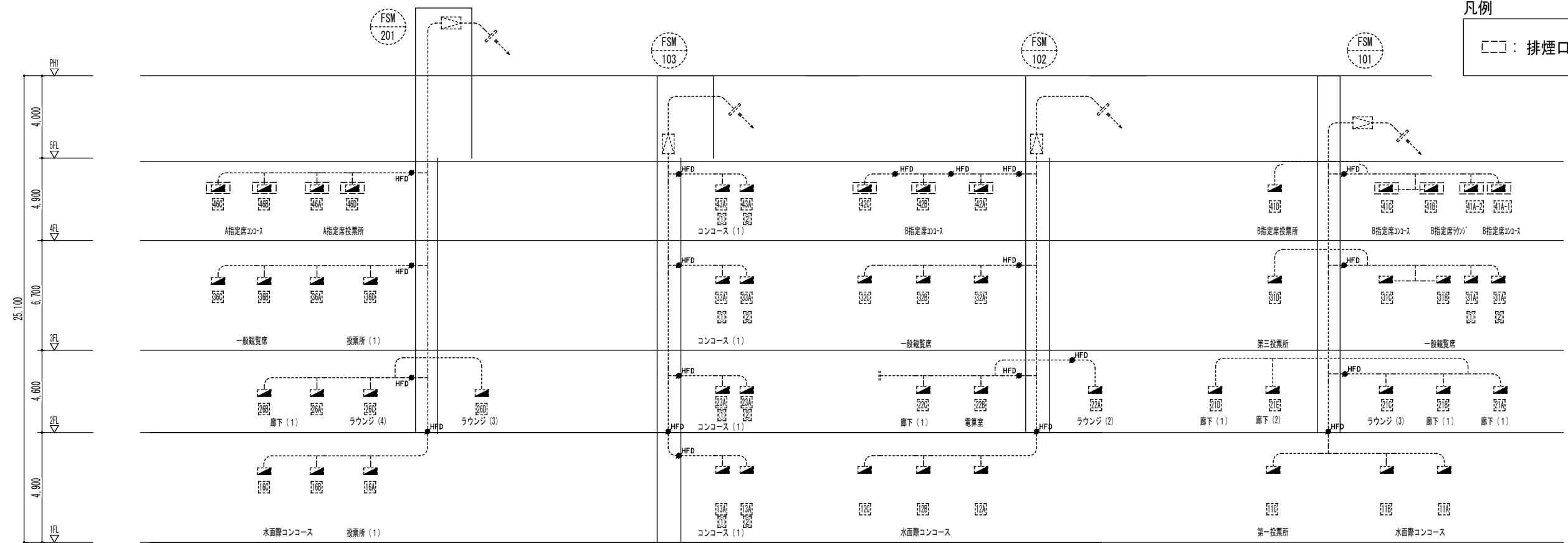
SUBJECTS 配管平面図(4階) 03 撤去

NO. M-030
DATE 1/200 (A3)



1 | 排煙系統図

破線表示部は既設ダクトを示す。HFDは排煙用防火ダンパー(280°C)を表す



2 | 排煙計算書

建築基準法施行令第126条2項に該当する室の内機械排煙を設ける室	1 A : 防煙区画床面積 (m ²)
V=AQ=Ax60	2 Q : 単位排煙量 每分1m ³ (60m ³ /h)
V : 基準排煙量 m ³ /h (CMH)	3 V : 排煙量 (m ³ /h) (2以上の区画を兼ね持つ排煙機風量は最大区画面積の2倍以上の排能力を

MEMO

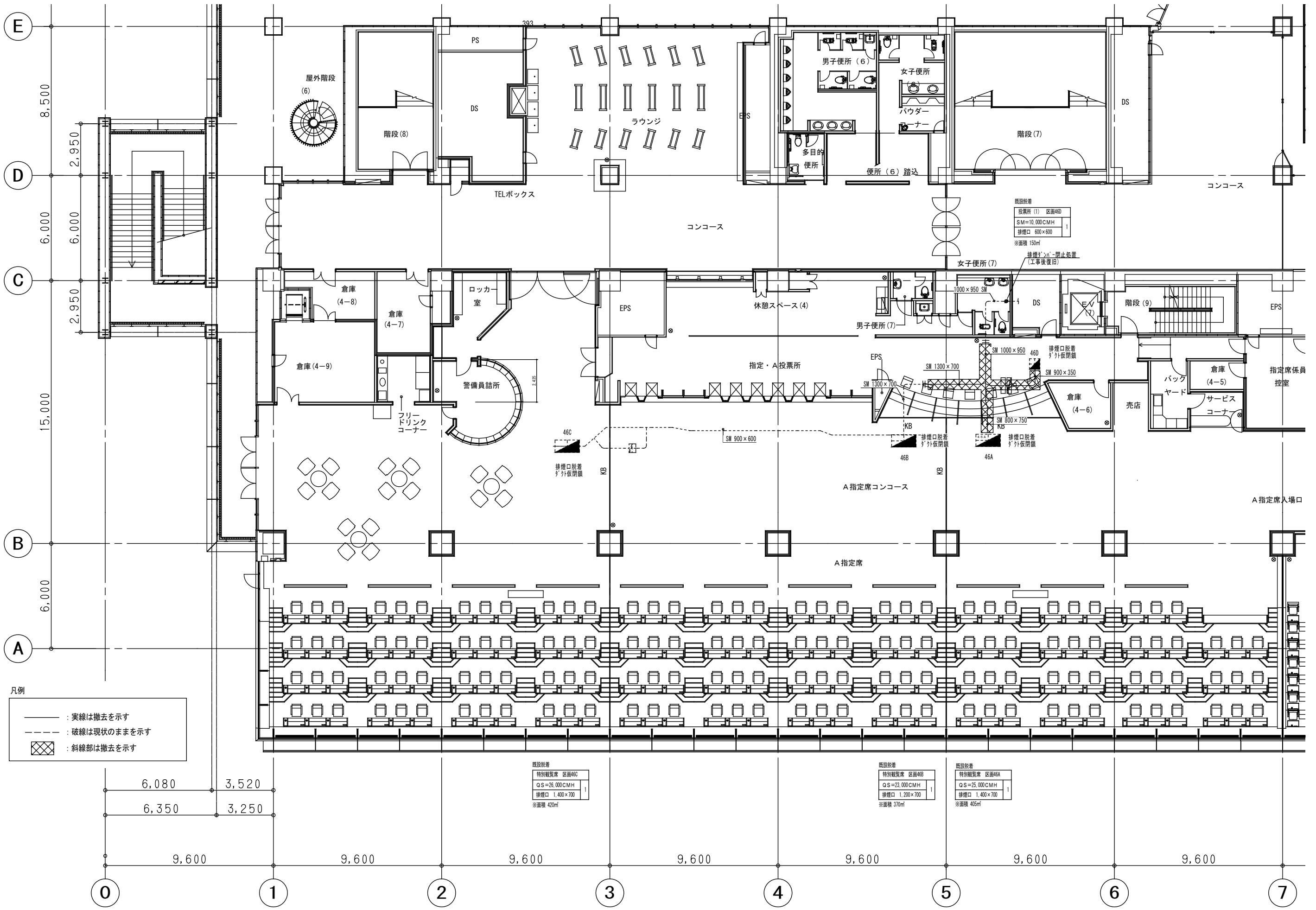
REVIS

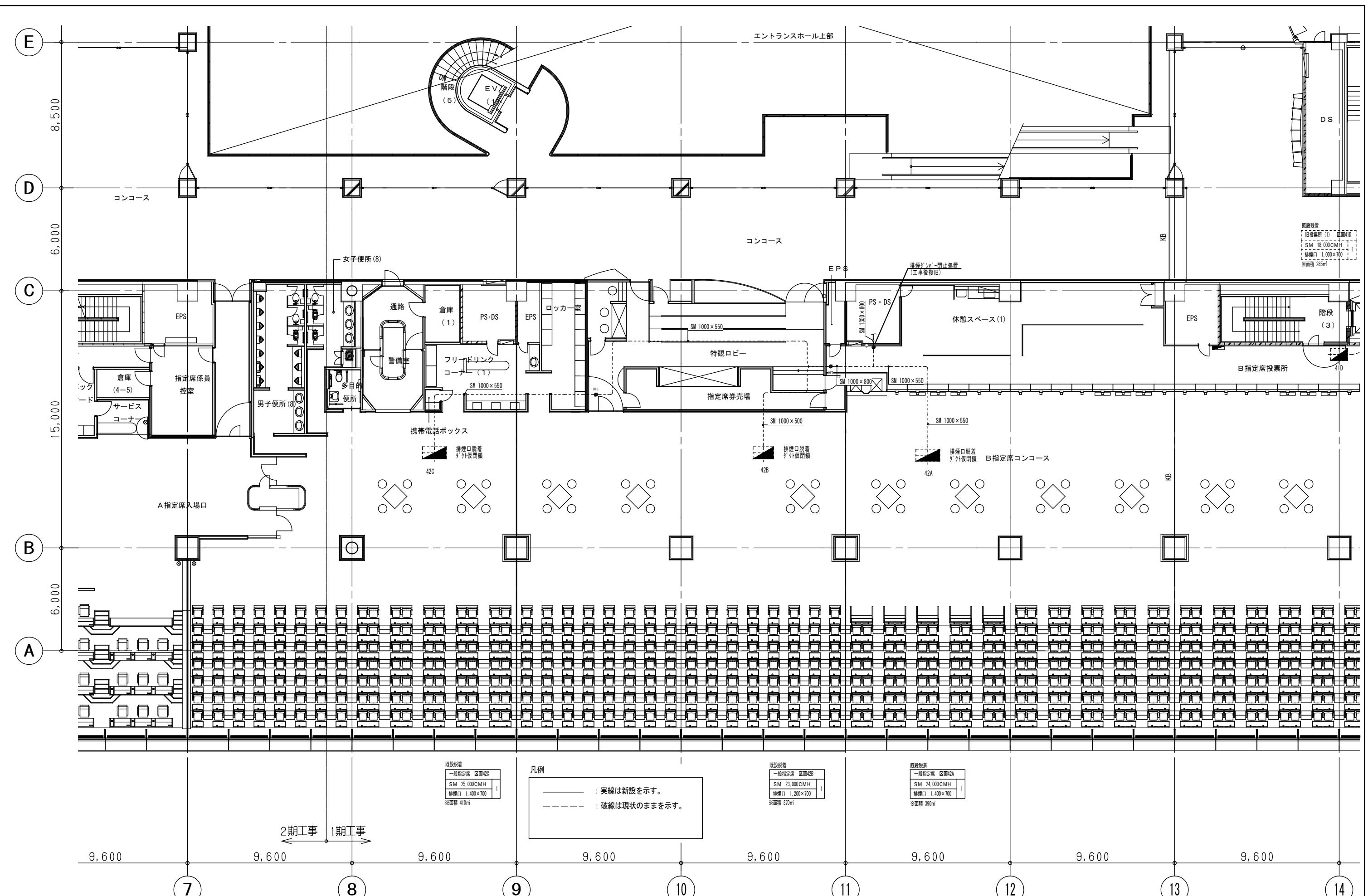
 Tanseisha

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

SUBJECTS 排煙ダクト系統図

100





MEMO

REVISION

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

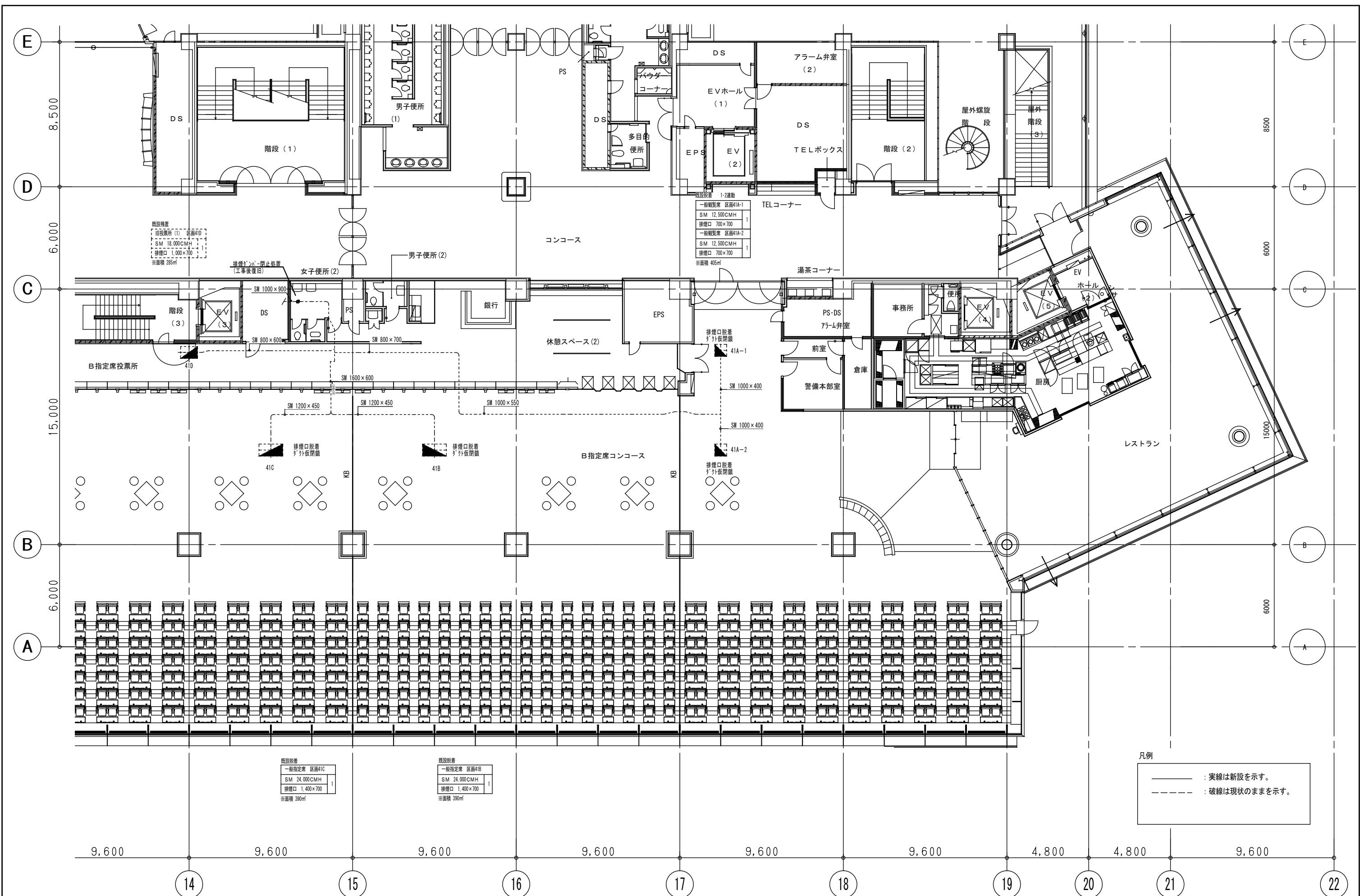
SUBJECTS 排煙ダクト平面図(4階) 02 撤去

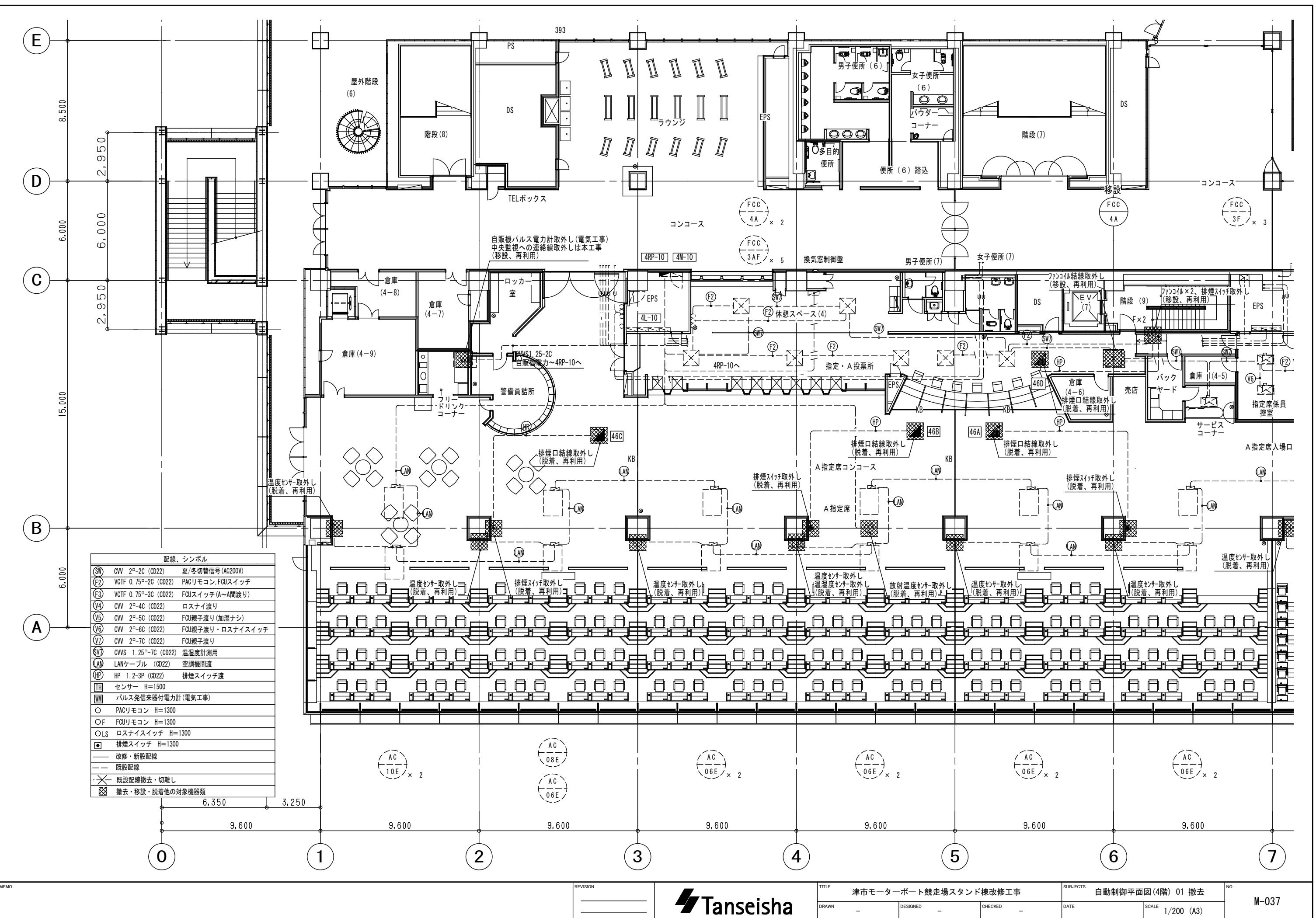
NO. M-034

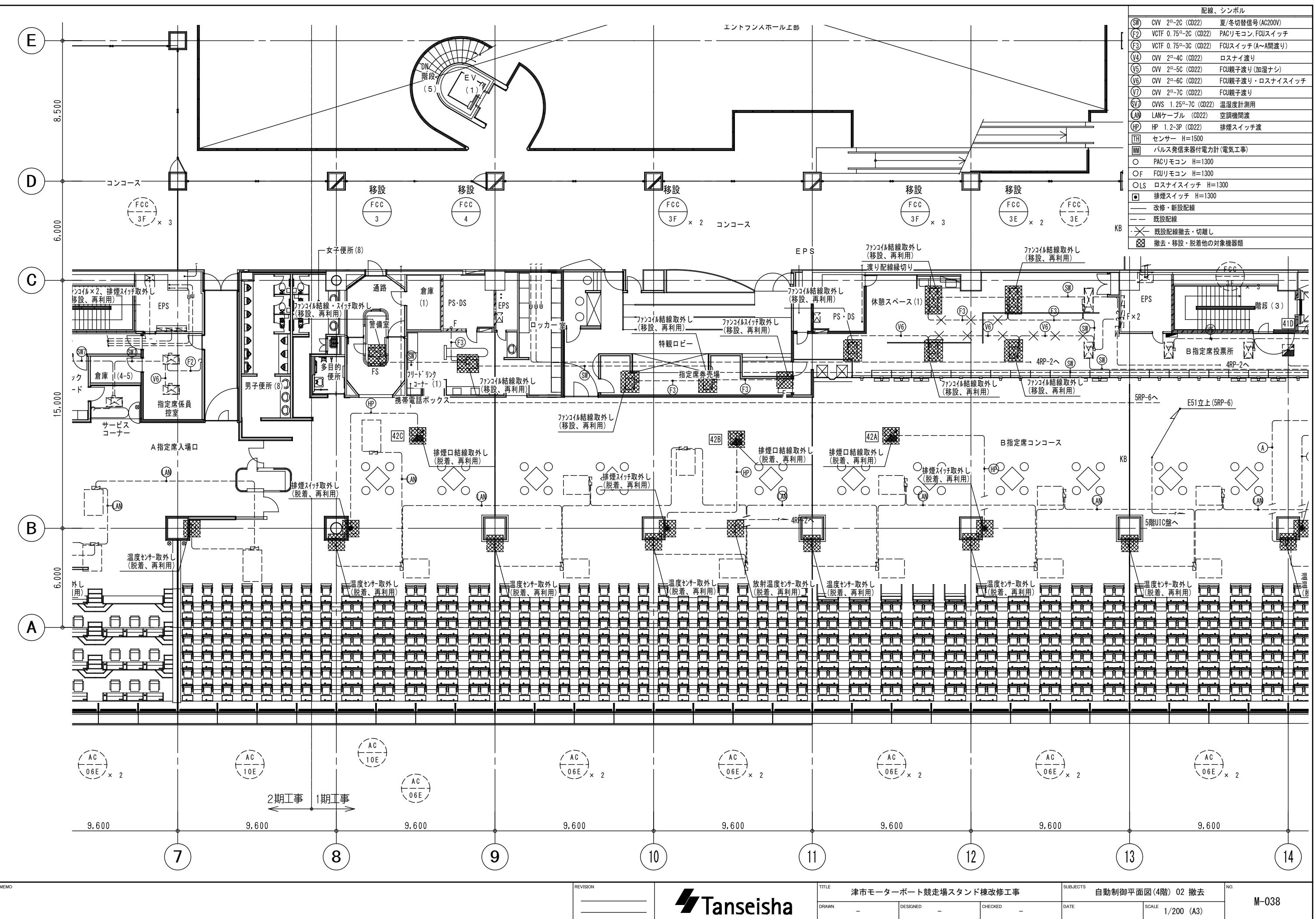
DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

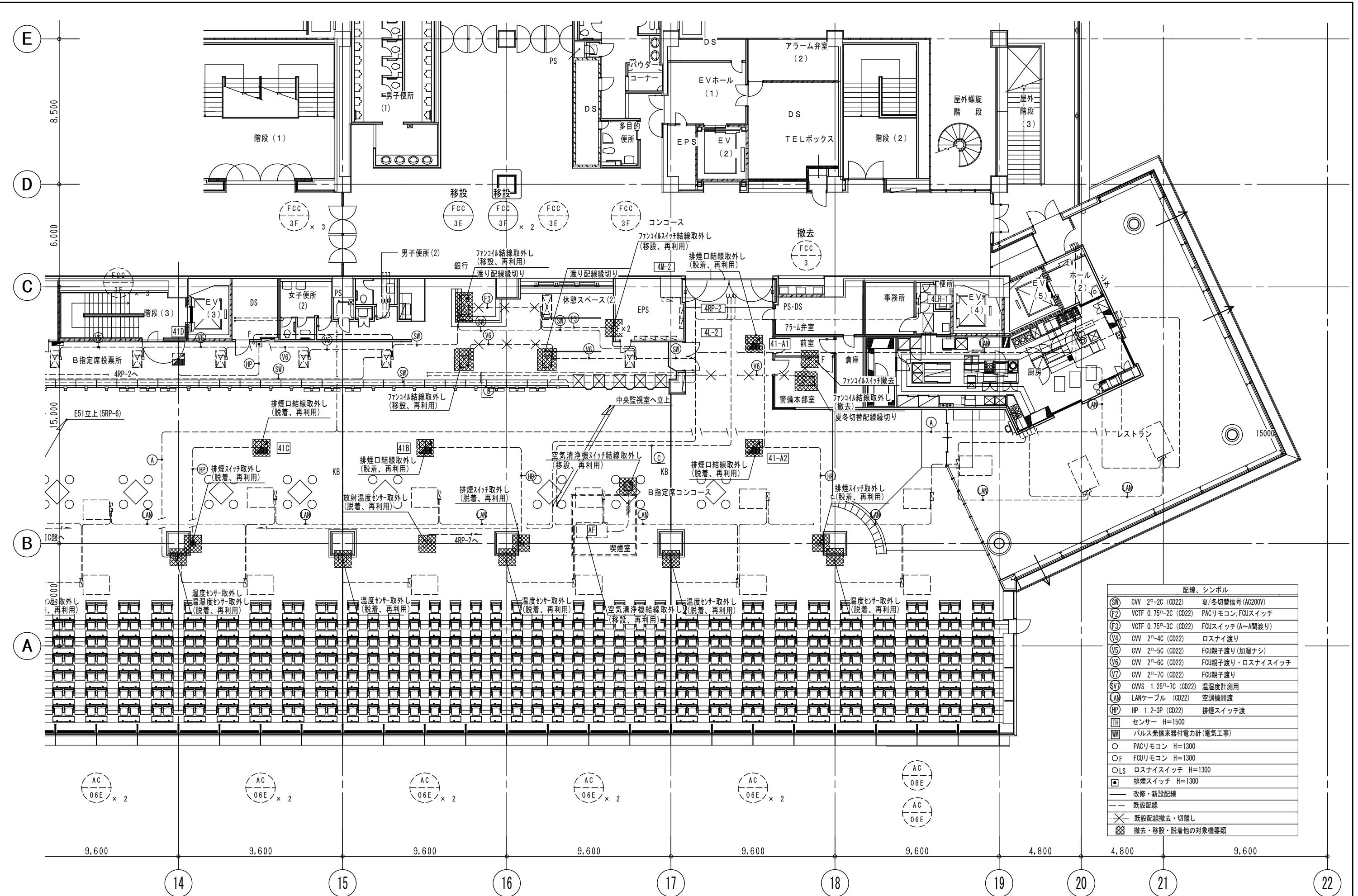
DATE 1/200 (A3)

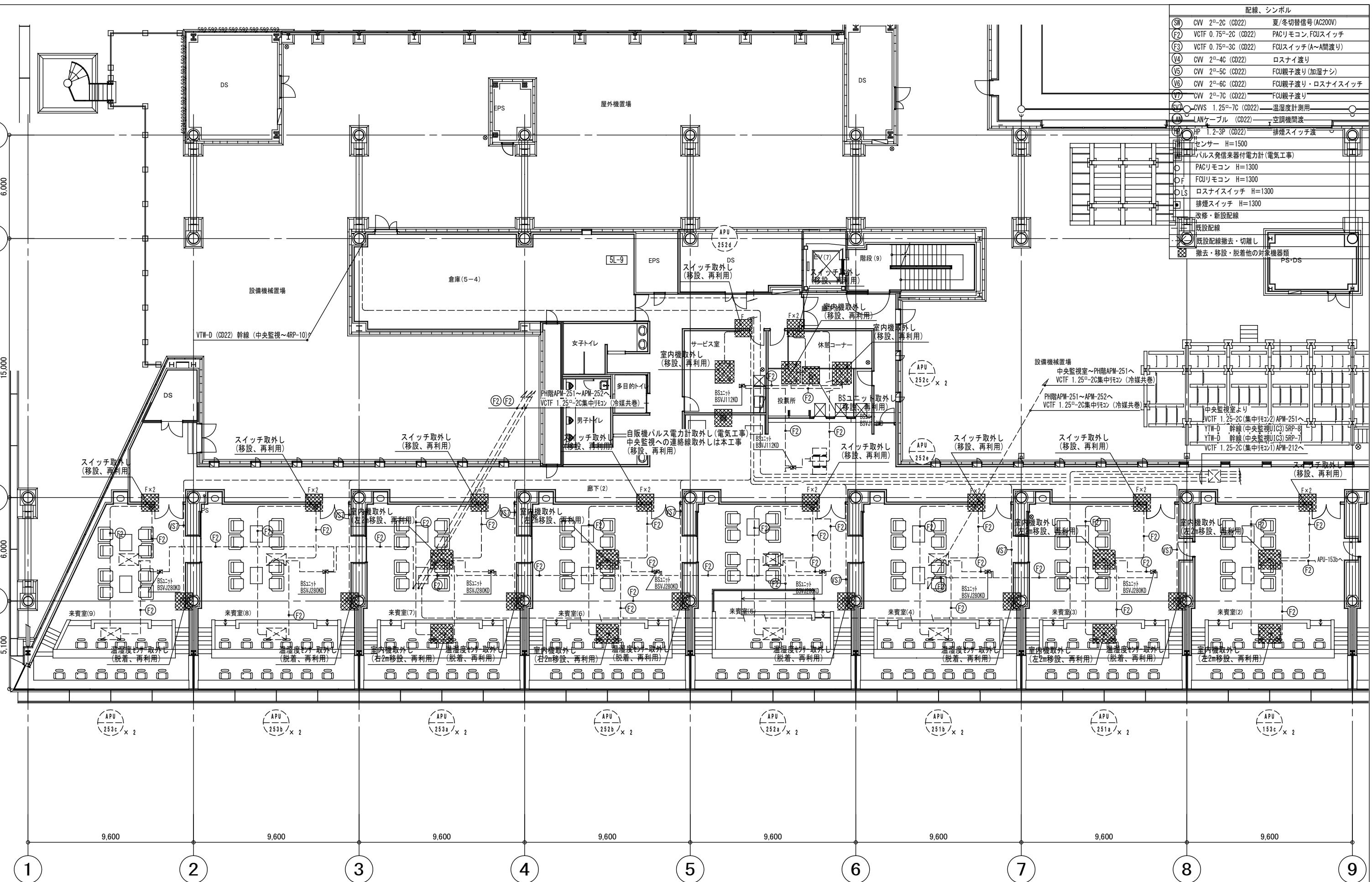
SCALE







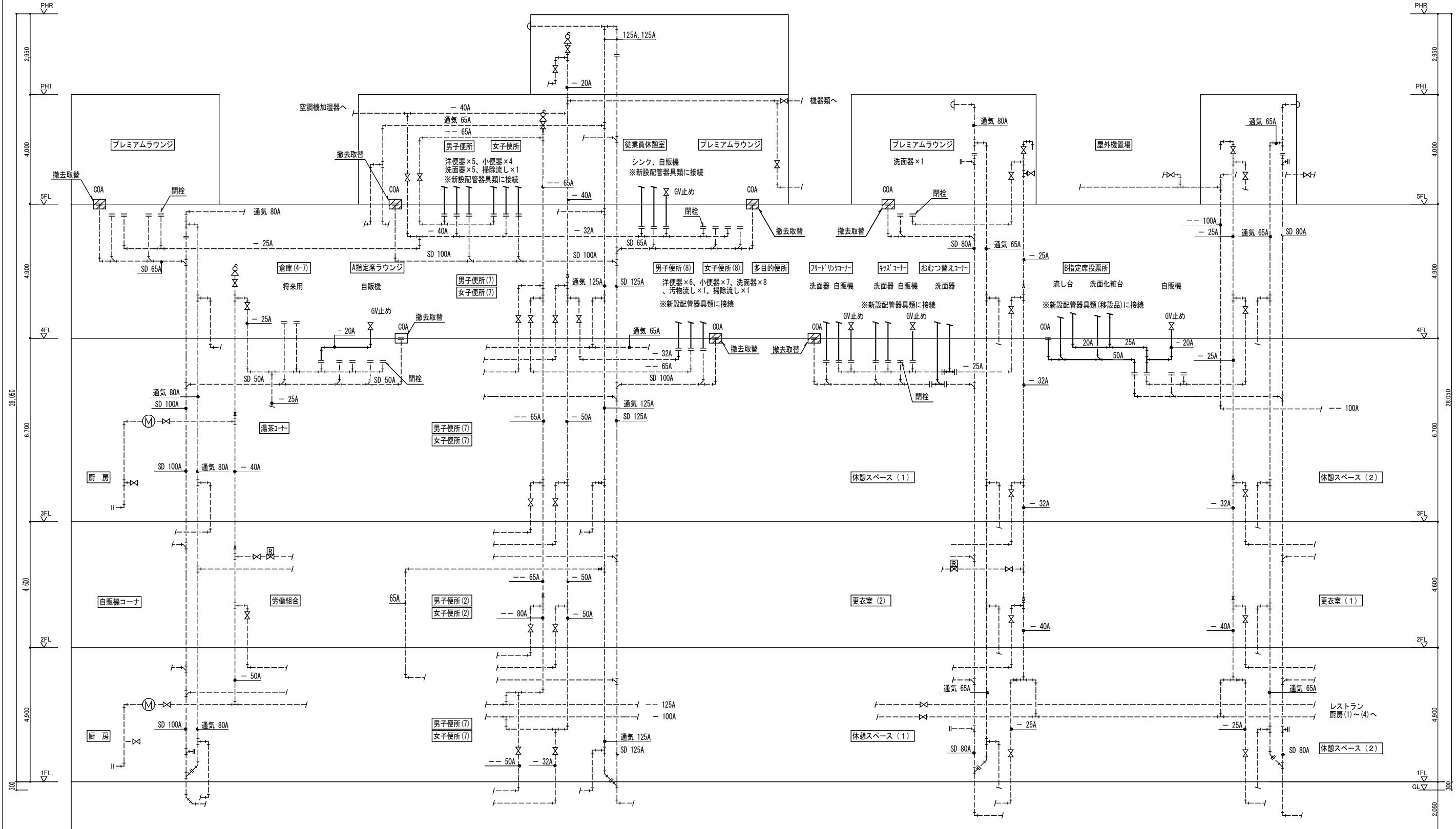




項目	仕様	参考品番	電気容量		色	4階				5階			合計	
			電圧(V)	電力(W)		男子便所(8)	女子便所(8)	多目的トイレ	キッズコート	おむつ替えコート	フリードリンクコート	B指定投票所		
洋風便器	床置床給排水タイプ、自動フラッシュバルブ式他	CFS494NVR	C-P25S, OKC-AT7114SA-C		白	4	2					2	2	10
(洗浄弁錫用水対応)	ウォシュレット蓋無し、センサースイッチ、エコリモコン他	TCF5534Y, TES46MR	CW-PA21L-NEC, OKC-8SM	100	361	白	4	2				2	2	10
棚付二連紙巻器		YH702	CF-AA64S		白	4	2					2	2	10
L型手すり 700×700		T112CL10	KF-920AE70D12J		白	4	2					2	2	10
ベビーチェア(平壁設置タイプ)		YKA15S	AC-BK-F62		白	4	2					2		8
ベビーチェア(コーナー設置タイプ)		YKA16S	AC-BC-F31									2		2
洋風便器	床置床給排水タイプ、自動フラッシュバルブ式他	CFS494NVR	C-P25S, OKC-AT7114SA-C		白							1	1	
(洗浄弁錫用水対応)	ウォシュレット蓋無し、センサースイッチ、エコリモコン他	TCF5534Y, TES46MR	CW-PA21L-NEC, OKC-8SM	100	361	白						1	1	
棚付二連紙巻器		YH702	CF-AA64S		白							1		
L型手すり 800×800		T112CL11	KF-926AE80D25J		白							1	1	
可動式手すり(紙巻器付)		T112HP7	KF-481EH70J		白							1	1	
多目的便器	コンパクト多機能トイレパック	UADBK61R2A1ASD1WA	PTWC-HC101R2A1ASWW		白		1					1		
(洗浄弁錫用水対応)	(壁掛大便器、汚物流し、洗面器、ベビーチェア、フィッティングボード、チャームボックス、水石鹼、背もたれ、紙巻器、手摺他)													
ウォシュレット蓋無し、エコリモコン		TCF5840AUPN	CW-PC12-CK-UR-TU	100	1262			1				1		
汚物流し				100	30									
電気温水器(汚物流し用)				100	600			1				1		
電気温水器(洗面器用)				100	505			1				1		
自動水栓(手洗器、洗面器用)				100	0.6			2				2		
化粧鏡		YM6090A	KF-3610AS					1				1		
小便器	床置床排水自動洗浄タイプ	UFS910	U-A31AP	100	0.5	白	7					4		11
(洗浄弁錫用水対応)	小便用手すり	T112UJ22	KF-701AEJ		白	1						1		2
カウンター式洗面器	スタンダードボウル一体カウンター形(洗面2連、オーバーブロー無し)1600L	MC60C1600HPA13BW	MB-501KDXWS(1600)		白							1	1	2
	スタンダードボウル一体カウンター形(洗面3連、オーバーブロー無し)2500L	MC60C2500JPA13CW	MB-501KDXWS(2500)		白	1						1		
	スタンダードボウル一体カウンター形(洗面3連、オーバーブロー無し)2600L	MC60C2600JPA13CW	MB-501KDXWS(2600)		白		1					1		
自動水栓		TLE26SS1A	AM-320CV1	100	5		3	3				2	2	10
排水金具		M356	LF-105PAL-H			3	3					2	2	10
フロントパネル扉式 1600L		MFT3C1594DDNB12W	MTP1-K50C75		白							1	1	2
フロントパネル扉式 2500L		MFT3C2494FGNB12W	MTP1-K50C75		白	1						1		1
フロントパネル扉式 2600L		MFT3C2594FGNB12W	MTP1-K50C75		白		1					1		
水石鹼入れ		TLK05202J	KF-24EM			3	3					2	2	10
カウンター式洗面器	アンダーカウンター式(カウンター)530×330 床給排水タイプ	L505	L-2250		白							1		
自動水栓		TLE27SS1A	AM-320TCV1	100	5							1		1
調乳用温水器(シンク一体型)	流し台 900×619×815H、立水栓、浄水器付	CH22-3(Comb1製)						1				1		
	調理用温水器			100	1.5			1				1		
壁掛洗面器(車イス用)	壁掛洗面器	L103DMP	L-365APRS		白							1	1	
	自動水栓	TLE28SS1A	AM-300CV1	100	5							1	1	
	壁排水金具	TLDP2206J	LF-97PA									1	1	
	水石けん入れ	T126AR	KF-24F									1	1	
	P型手摺	T112CP23×2	KF-312AE70J		白							1	1	
	鏡_盗難防止形(特注)	YM4560AE	KF-W457H1000AE									1	1	
掃除用流し	バッカ付 寸法560×456×635	SK22A	S-202A		白	1						1		2
	床排水金具(Sトラップ)	T37SGEP	SF-205AF-P			1						1		2
	横水栓	T23AE020C	LF-7EZ-19			1						1		2
洗面化粧台(化粧鏡不要)	寸法600×490×800H、2枚扉	LDPL060BAGEN2	FTV1N-605SY		白			1				1		
	エコシングルシャワー水栓							1				1		
ハンドドライヤー	高速両面タイプ	TYC420W	KS-570AH	100	1015	白	1	1	1			1	1	6
フィッティングボード	400×87(使用時560)×560H 仕様上限100kg	YKA41R	AC-CB-01									1	1	
ペビーシート	780×135(使用時560)×1145H(使用時950)	YKA25S	AC-OK-21F		白		1					1		2
流し台	吊戸棚、水切り(建築工事)											(1)		
【休憩スペース設置品】	流し台 寸法1800×600×800H、壁掛電気温水器EW-30N、付属混合水栓類共			200	4							(1)		(1)
洗面化粧台	寸法600×500×780H、横水栓											(1)		(1)
【休憩スペース設置品】												(1)		(1)
流し台	吊戸棚、水切り(建築工事)											(1)		(1)
【旧サービス室設置品】	流し台寸法1600×600×800H、床置電気温水器ES-35DW3L、付属混合水栓類共			200	3							(1)		(1)

※ 既設品は()で示す

MEMO	REVISION	TITLE	SUBJECTS			NO.
			DRAWN	DESIGNED	CHECKED	
		津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事				P-001

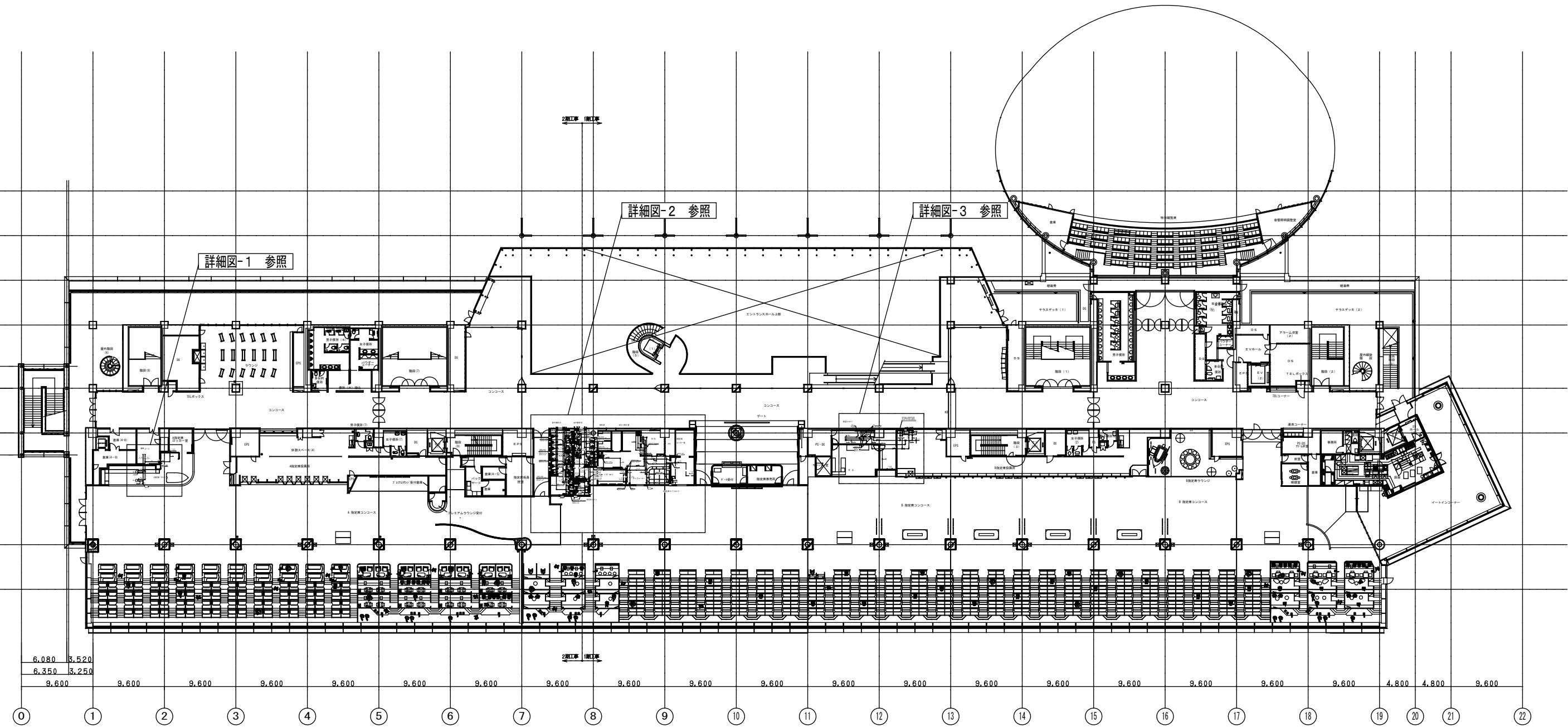


凡例

— 新設配管を示す  既設COA撤去取替を示す

---- 既設配管を示す

—|— 既設配管の分岐・接続を示す



MEMO

REVISION

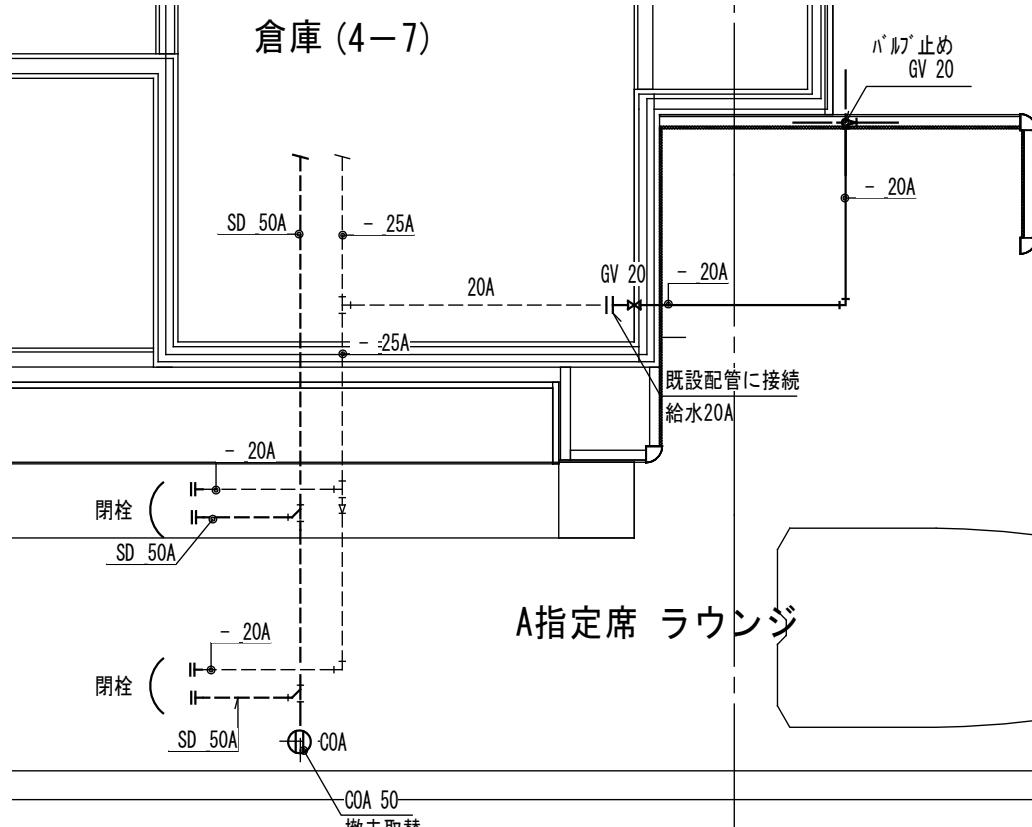
TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

SUBJECTS 衛生平面図(4階) 01

DATE 1/400 (A2)

NO. P-003



詳細図-1

4階フリードリンクコーナー
(2-C通り付近)

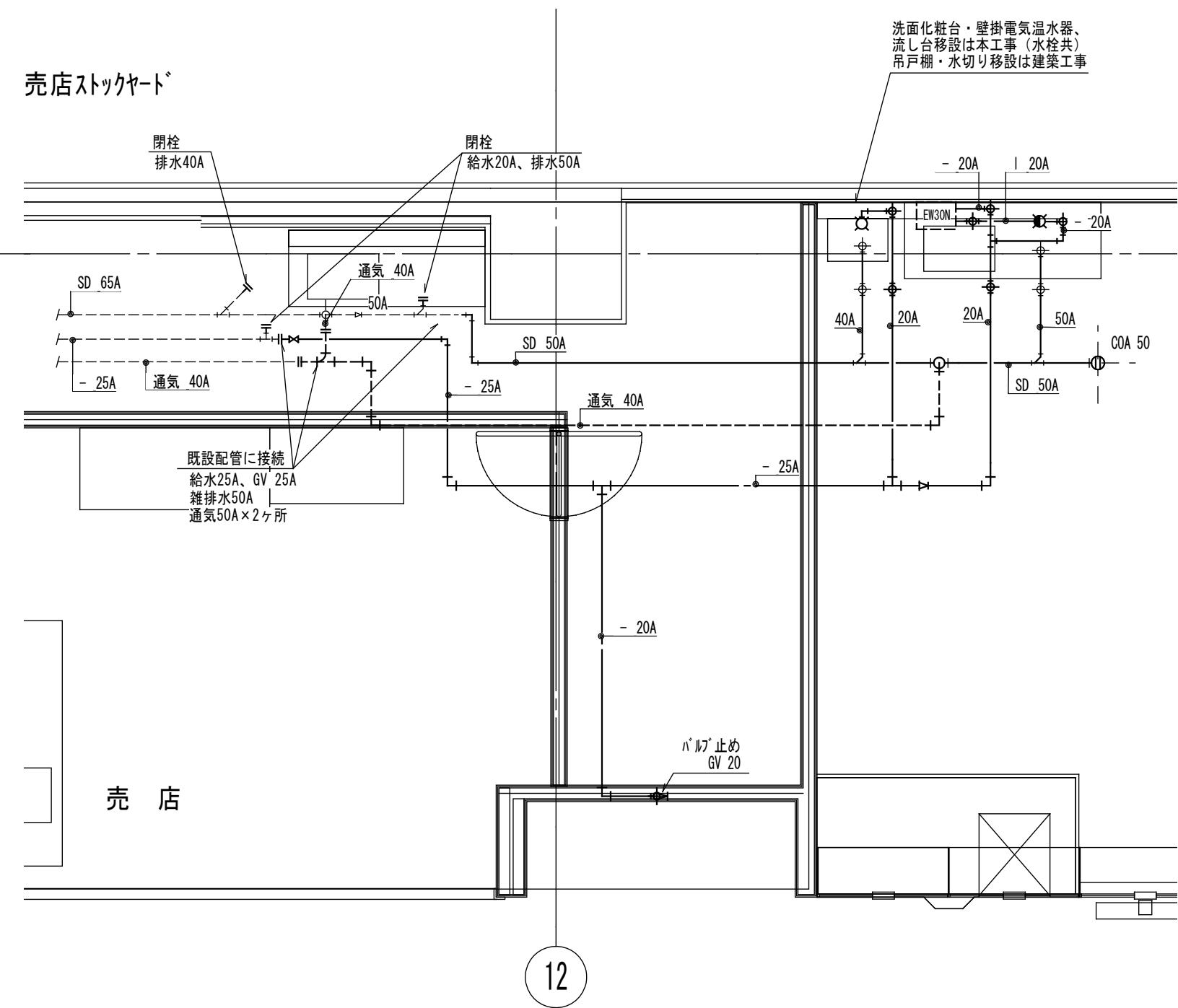
凡例

—— : 実線は新設を示す。
- - - - : 破線は現状のままを示す。
---#--- : 既設配管接続を示す。

配管材料
給水 : 硬質塩ビライニング鋼管 JWWA K 116VB
給水 : 水道用ポリイチル粉体ライニング鋼管 JWWA K 132PA
給湯 : 一般用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448
排水・通気 : 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042
: 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741
: 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管

注記)

※3階天井内配管よりの立上り配管は床コア抜きする



詳細図-3

商店・ストック (12-C通り付近)

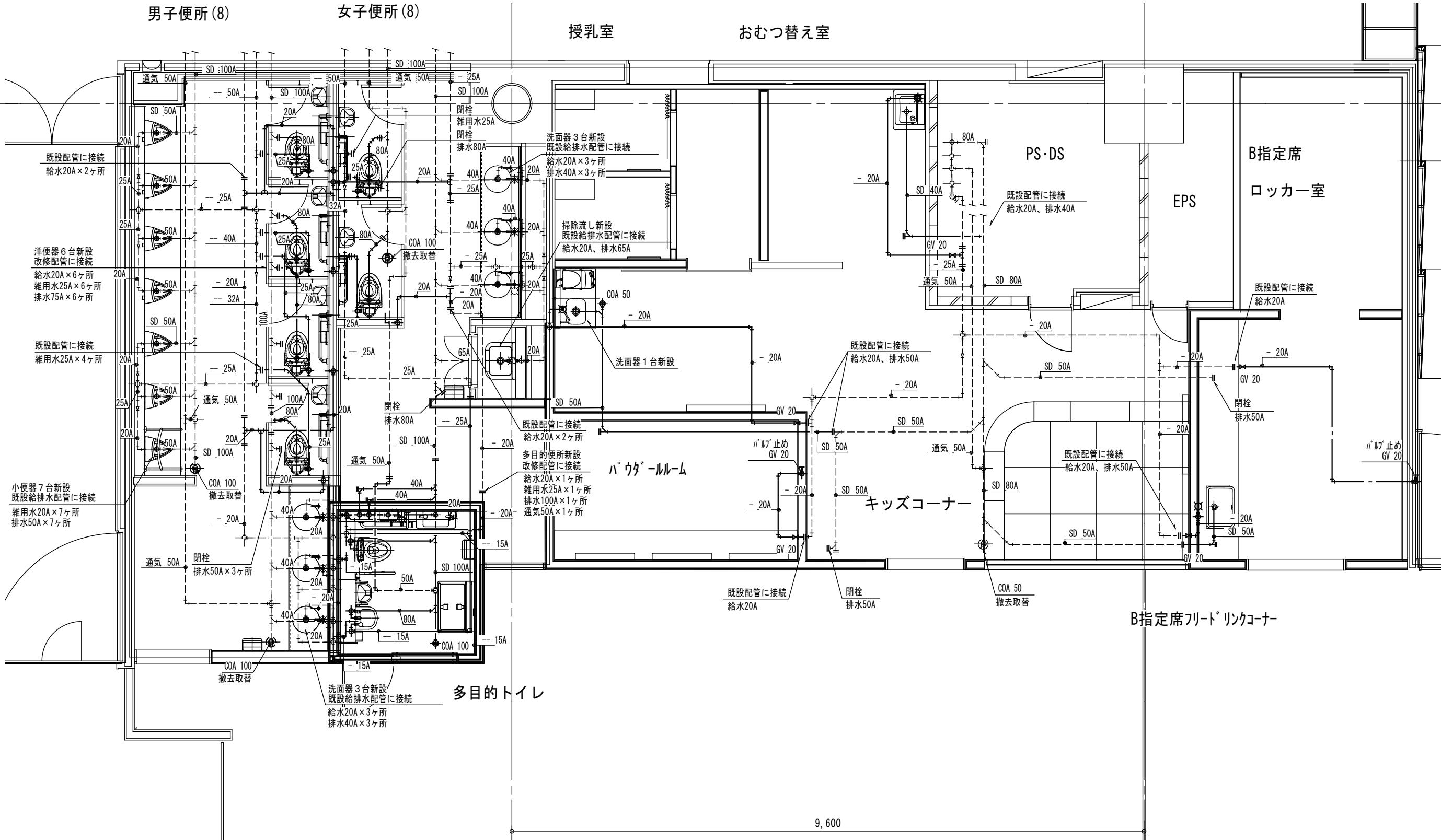
男子便所(8)

女子便所(8)

授乳室

おむつ替え室

C



凡例

—— : 実線は新設を示す。
 - - - - : 破線は現状のままを示す。
 - - - : 既設配管接続を示す。

配管材料
 給水 : 硬質塩ビライニング鋼管 JWKA K 116VB
 給水 : 水道用ポリエチレン管 JWKA K 132PA
 給湯 : 一般用ステンレス鋼管 JIS G 3448
 排水・通気 : 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042
 : 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741
 : 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管

※3階天井内配管よりの立上り配管は床コア抜きする

8

詳細図-2

男子・女子便所(8)
 フリードリンクコーナー(1)
 (8-9間 C通り付近)

9

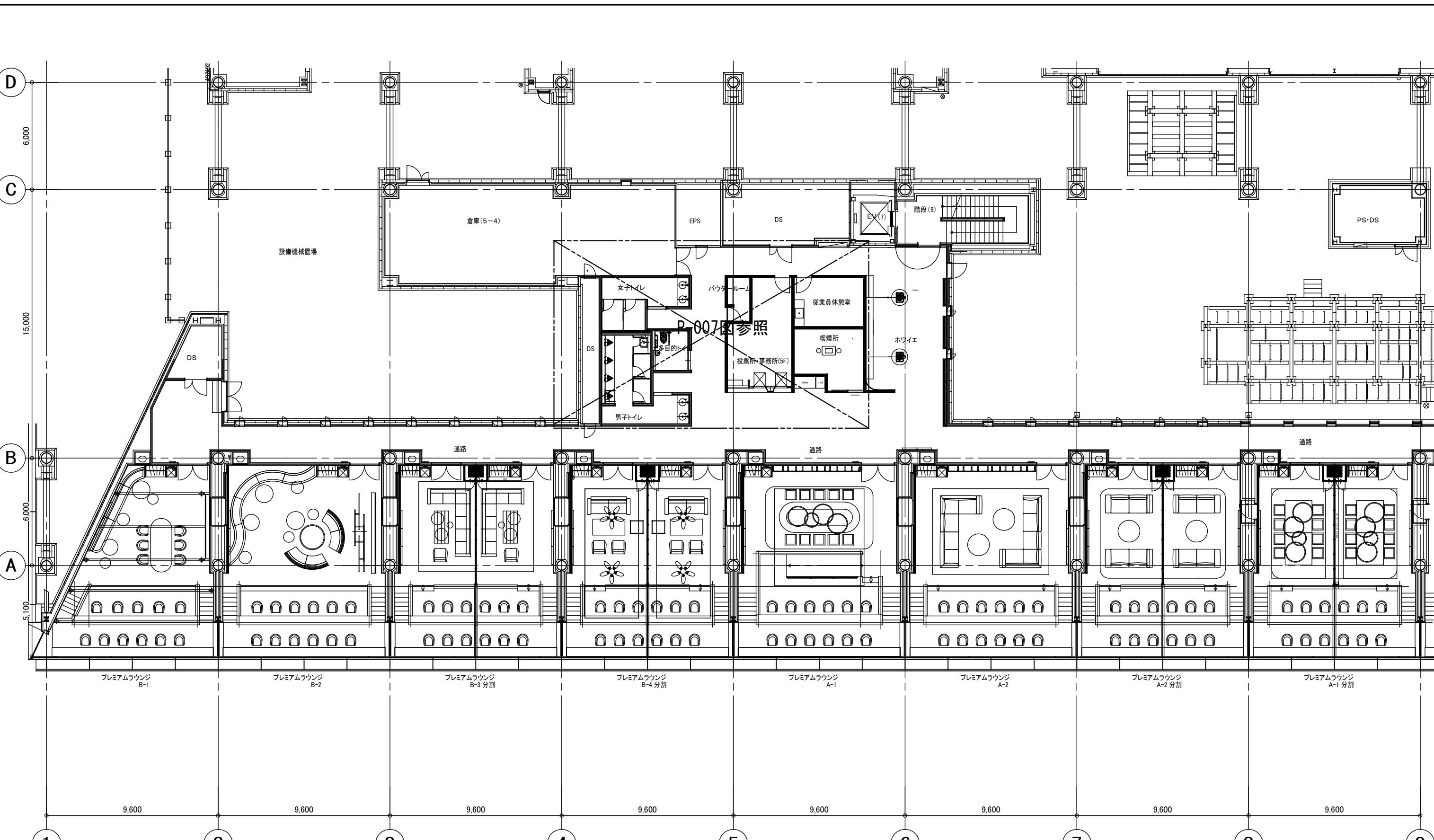
MEMO

REVISION

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

SUBJECTS 衛生平面図(4階) 03
 DRAWN - DESIGNED - CHECKED - DATE _____
 SCALE 1:60 (A3)

NO. P-005

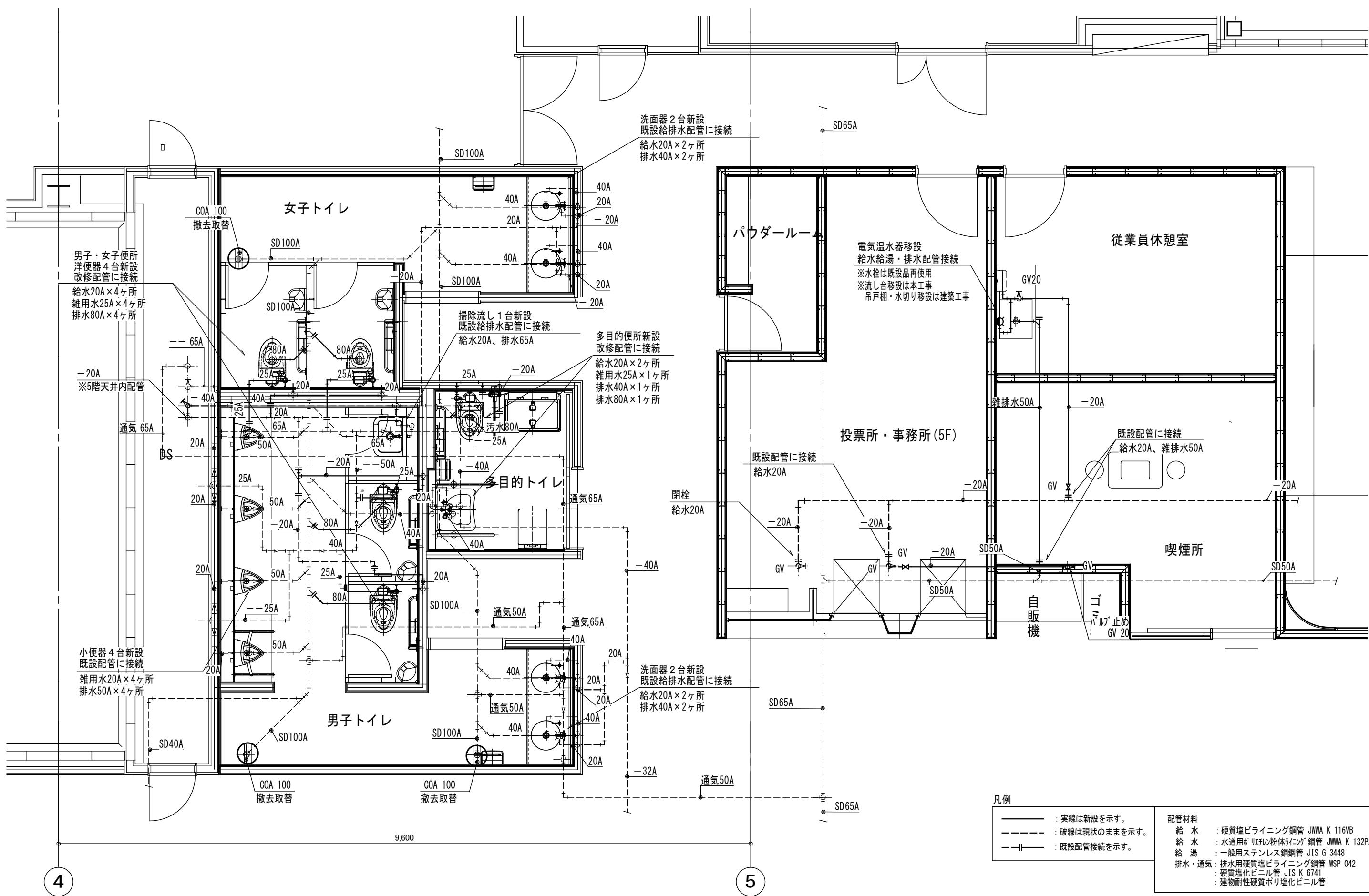


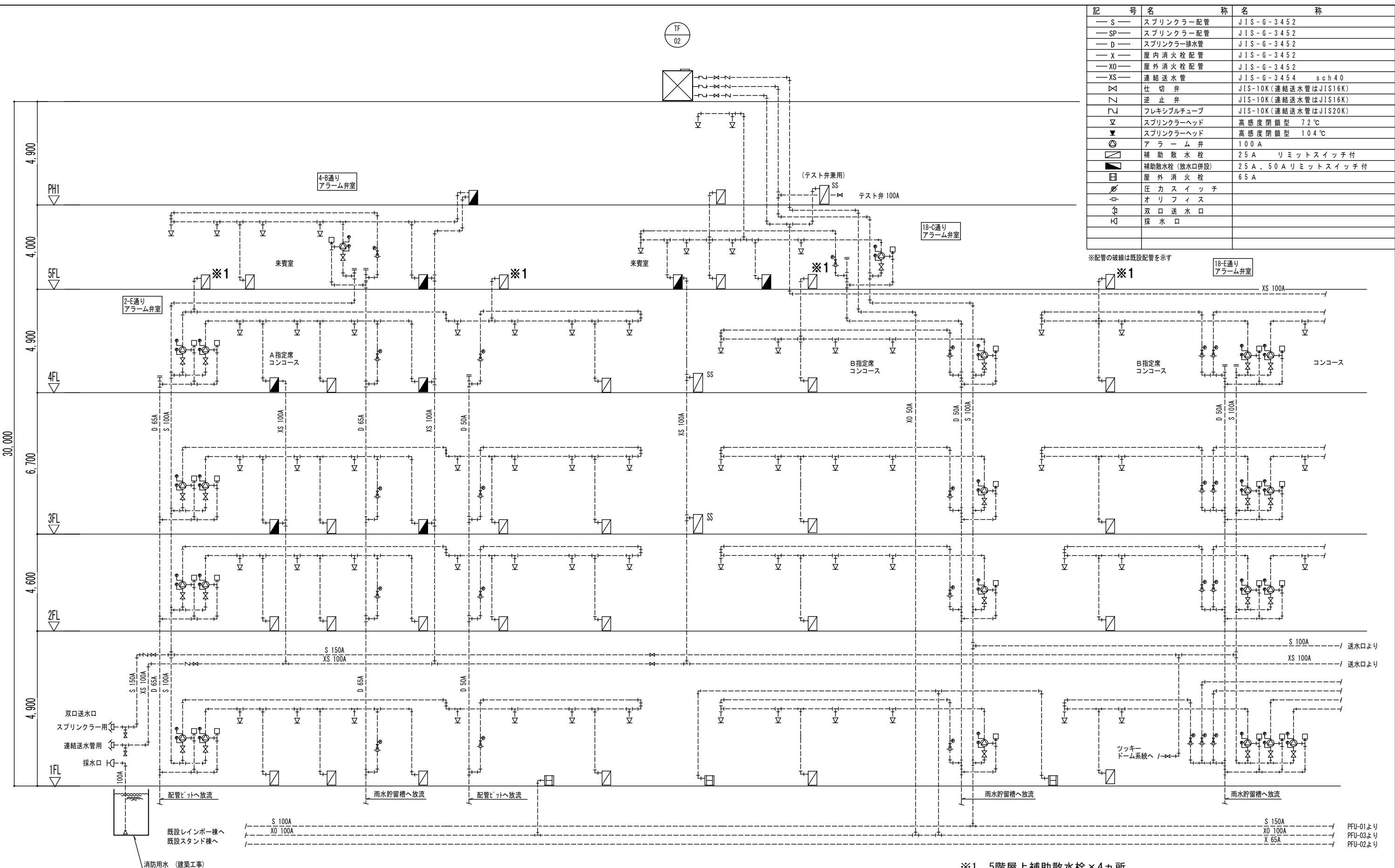
凡例

- 実線は新設を示す。
- - - 破線は現状のままを示す。
- - - - 既設配管接続を示す。

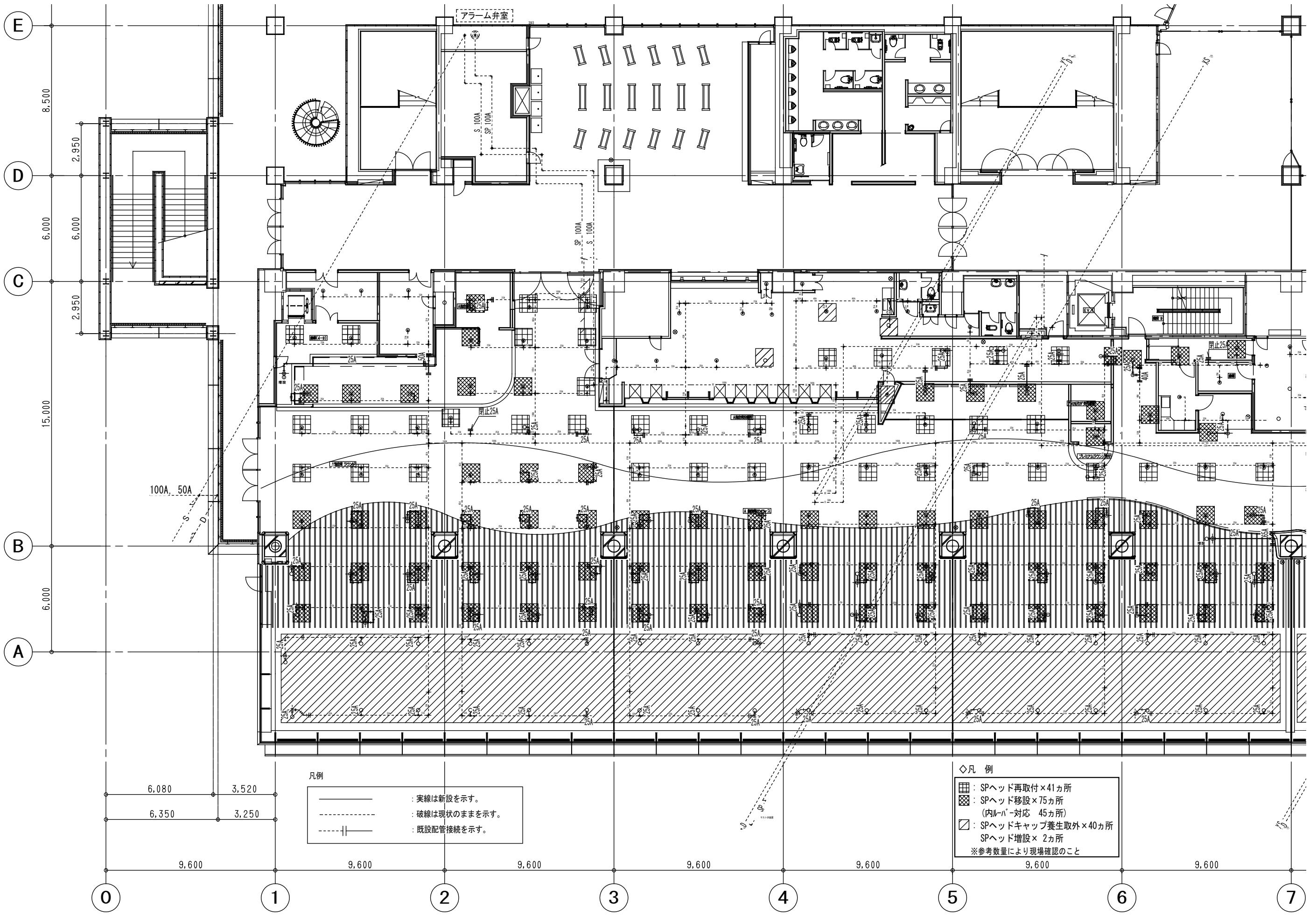
配管材料
 給水 : 硬質塩ビライニング鋼管 JWWA K 116VB
 給水 : 水道用シリカ粉体ライニング鋼管 JWWA K 132PA
 給湯 : 一般用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448
 排水・通気 : 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042
 排水 : 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741
 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管

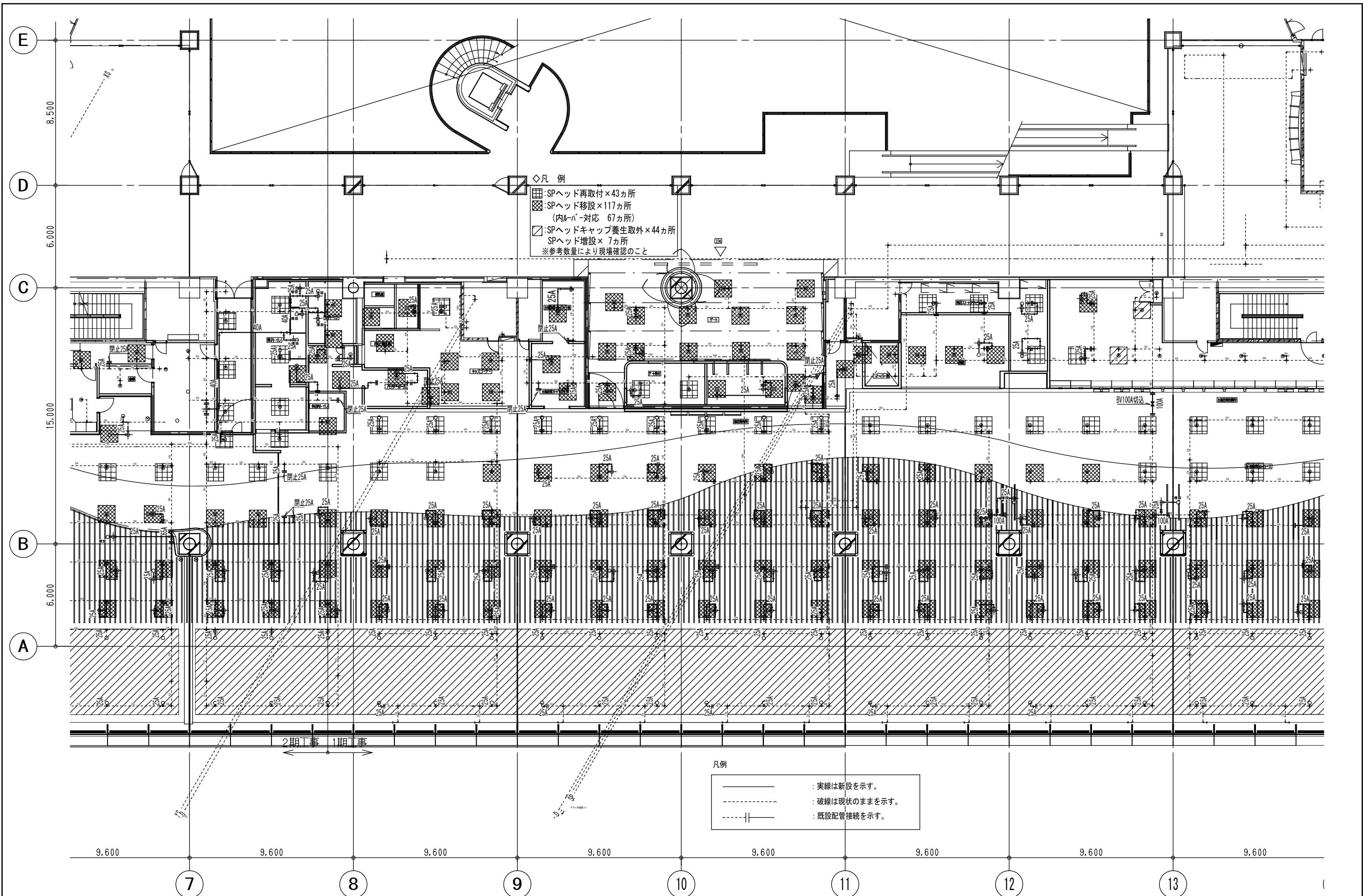
MEMO	REVISION	TITLE	SUBJECTS	NO.
		津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事	衛生平面図(5階) 01	P-006





※1 5階屋上補助散水栓×4カ所
4階スプリンクラー配管改修時、管内水抜きを行う為に未警戒となる。
代替処置としてABC粉末消火器10型を2台/カ所を5階屋上に設置する。
(各消火器用SUS製格納箱共)





MEMO

REVISION

Tanseisha

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

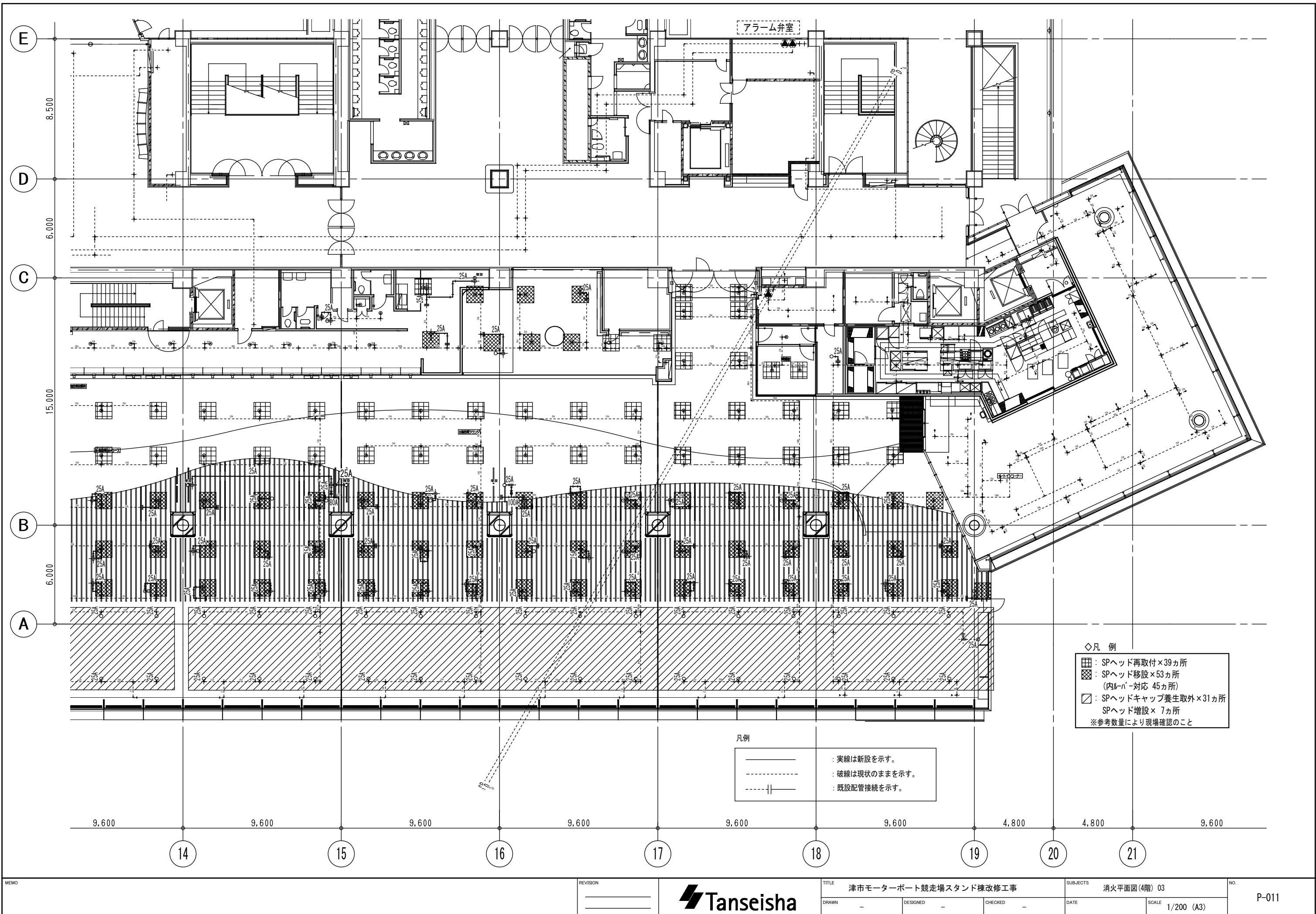
SUBJECTS 消火平面図(4階) 02

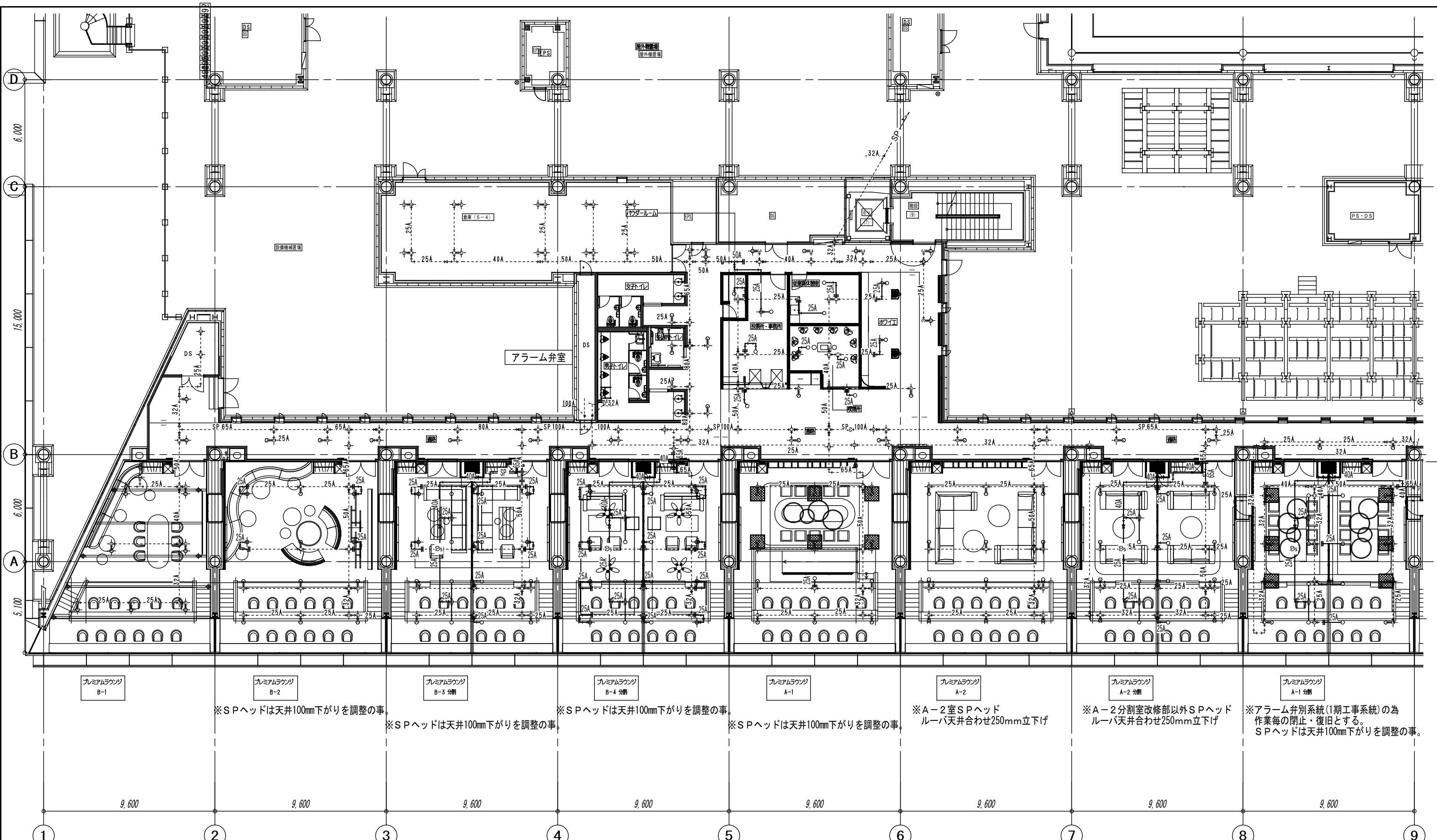
DATE

SCALE

1/200 (A3)

NO. P-010





参考数量(現場状況を確認のこと)

SPヘッド増設×17カ所

SPヘッド再取付×54カ所

SPヘッド移設×79カ所

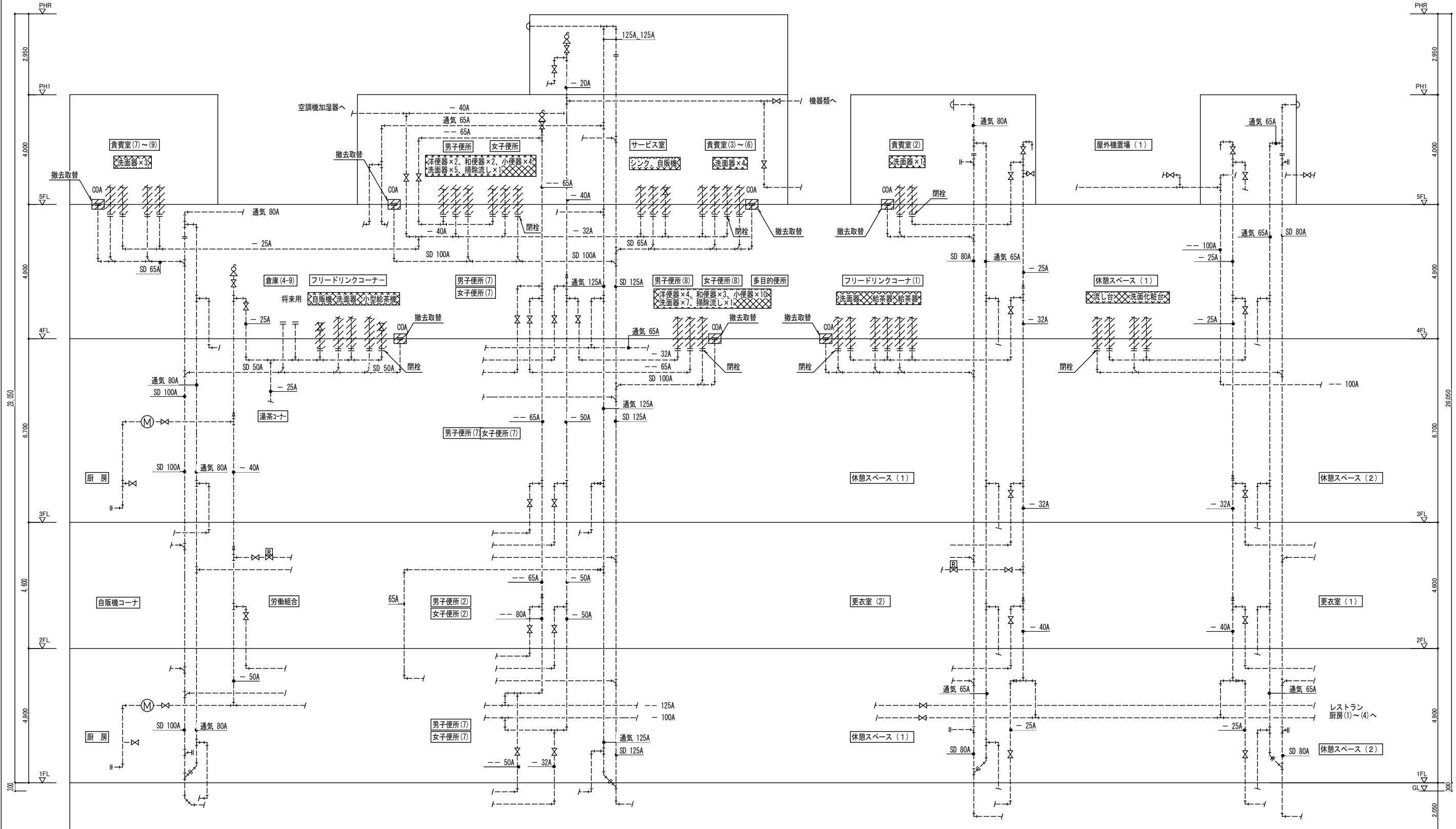
実線は新設を示す。
破線は現状のままを示す。
既設配管接続を示す。
移設予定(位置打合)ヘッドを示す。

※作業未指示部、ヘッド撤去プラグ養生、天井完成後ヘッド再取付。

項目	仕様	参考品番	電気容量		4階				5階				合計	
			電圧(V)	電力(W)	男子便所(8)	女子便所(8)	多目的便所	フリードリンクコーナー(A指定席側)	フリードリンクコーナー(B指定席側)	B指定投票所休憩スペース(1)	男子便所(1)	女子便所(1)	多目的便所	
		TOTO製												
洋風便器	床置床給排水タイプ、フラッシュバルブ式他	C21			2	1					1	1		5
(洗净弁雑用水対応)	ウォシュレット、リモコン他	TCF6542	100	321	2	1					1	1		5
	棚付二連紙巻器	YH60MR			2	1					1	1		5
	L型手すり				2	1					1	1		5
	ベビーチェア(コーナー設置タイプ)										1			1
洋風便器	床置床給排水タイプ、自動フラッシュバルブ式、押しボタン付光電センサー他	C48AS, TEF61RL					1					1		2
(洗净弁雑用水対応)	脱臭暖房便座	TCF221	100	69			1					1		2
	棚付二連紙巻器	YH60MR					1					1		2
	L型手すり						1					1		2
	可動式手すり						1					1		2
和風便器	床上給水タイプ(4階は掃除口付)、フラッシュバルブ式、耐火カバー他				1	2					1	1		5
(洗净弁雑用水対応)	棚付二連紙巻器	YH60MR			1	2					1	1		5
	I型手すり				1	2					1	1		5
小便器	壁掛床排水自動洗浄タイプ	UFS620CZ	100	1.5	10						4			14
(洗净弁雑用水対応)	小便用手すり				2									2
カウンター式洗面器	はめ込み楕円形(カウンター撤去は建築工事)	L521 T6			3	3	1	1		2	2		8	20
	はめ込み角形(カウンター撤去は建築工事)						1							1
	自動水栓	TEL30ARX	100	2	3	3	2	1		2	2		8	21
	排水金具	T7SLRR			3	3	2	1		2	2		8	21
	水石けん入れ	TS127A			3	3	2	1		2	2		8	21
壁掛洗面器(車イス用)	壁掛洗面器	L103T5					1					1		2
	自動水栓	TEL30ARX	100	5			1					1		2
	壁排水金具	TLDP2206J					1					1		2
	水石けん入れ	T126AR					1					1		2
	P型手摺×2						1					1		2
	化粧鏡 404×912	TS119AEV29					1					1		2
掃除用流し		SK22A				1					1			2
	床排水金具(Sトラップ)	T37SE				1					1			2
	横水栓	T23AE20				1					1			2
ハンドドライヤー		JT-116C4-W	100	760	1	1					1	1		4
流し台(取外し、再利用)	吊戸棚・水切り(建築工事)										(1)			(1)
	流し台1.8×0.6×0.6mH、壁掛電気温水器EW-30N、付属混合水栓類共		200	4							(1)			(1)
洗面化粧台(取外し、再利用)	600×500×780H、横水栓										(1)			(1)
流し台(取外し、再利用)	吊戸棚・水切り(建築工事)										(1)			(1)
	流し台1.6×0.6×0.6mH、床置電気温水器ES-35DW3L、付属混合水栓類共		200	3							(1)			(1)

※ 既設品は()で示す

MEMO	REVISION	TITLE	SUBJECTS	NO.
		津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事	衛生器具表 撤去	P-013

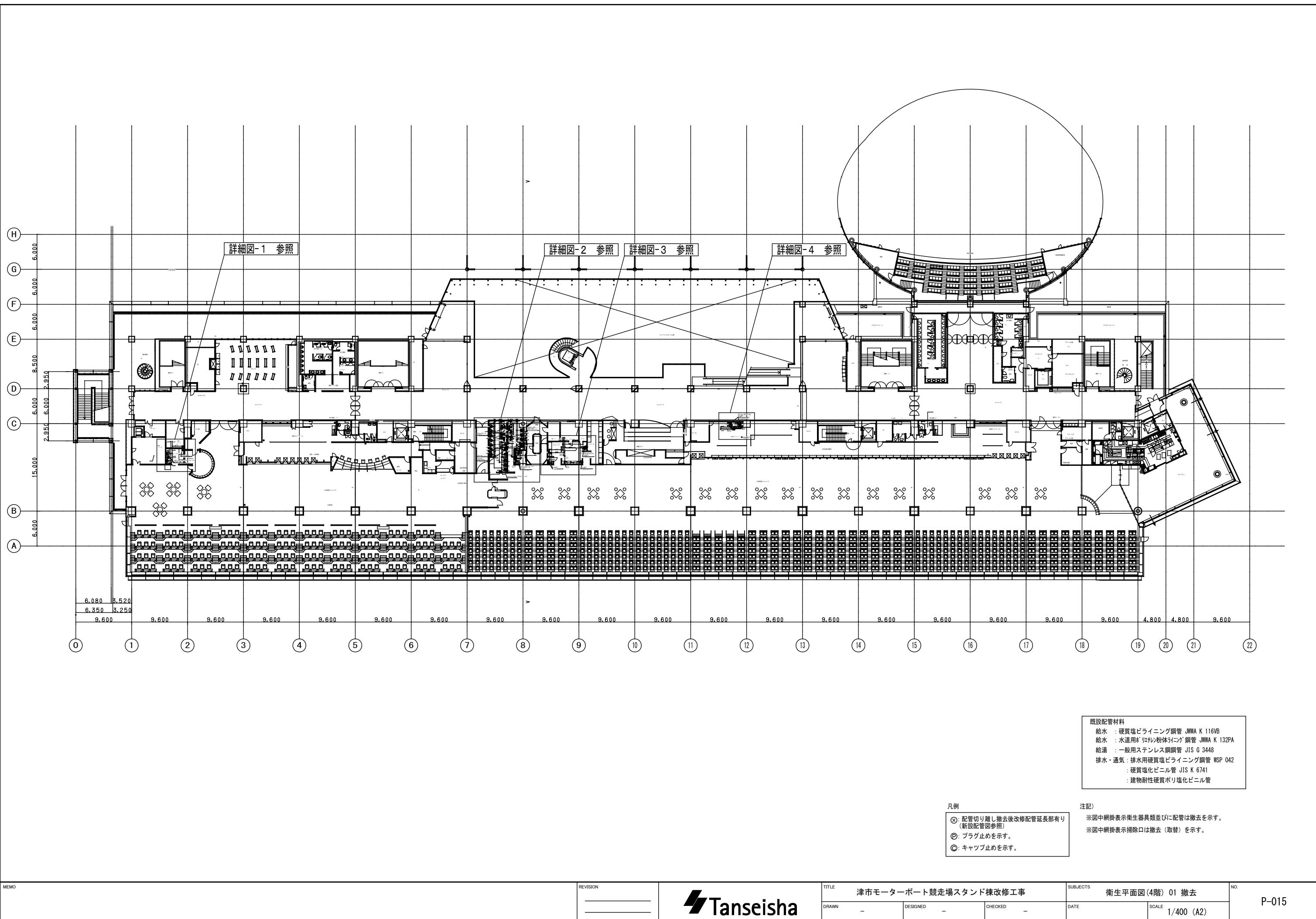


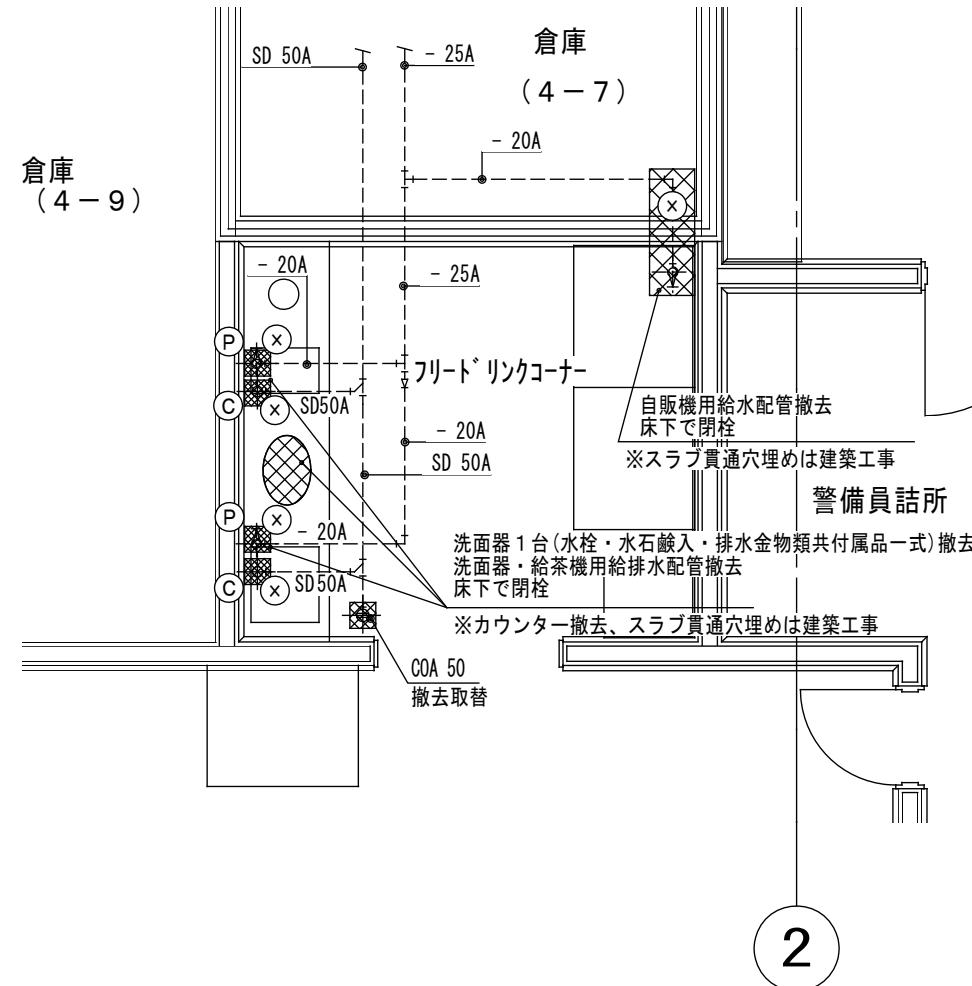
凡例

斜線部は撤去を示す

斜線部は撤去取替を示す（既設COA取替）

|- 撤去配管の閉栓を示す





詳細図-1

フリー・リンクコーナー
(2-C通り付近)

注記)

※図中網掛表示衛生器具類並びに配管は撤去を示す。

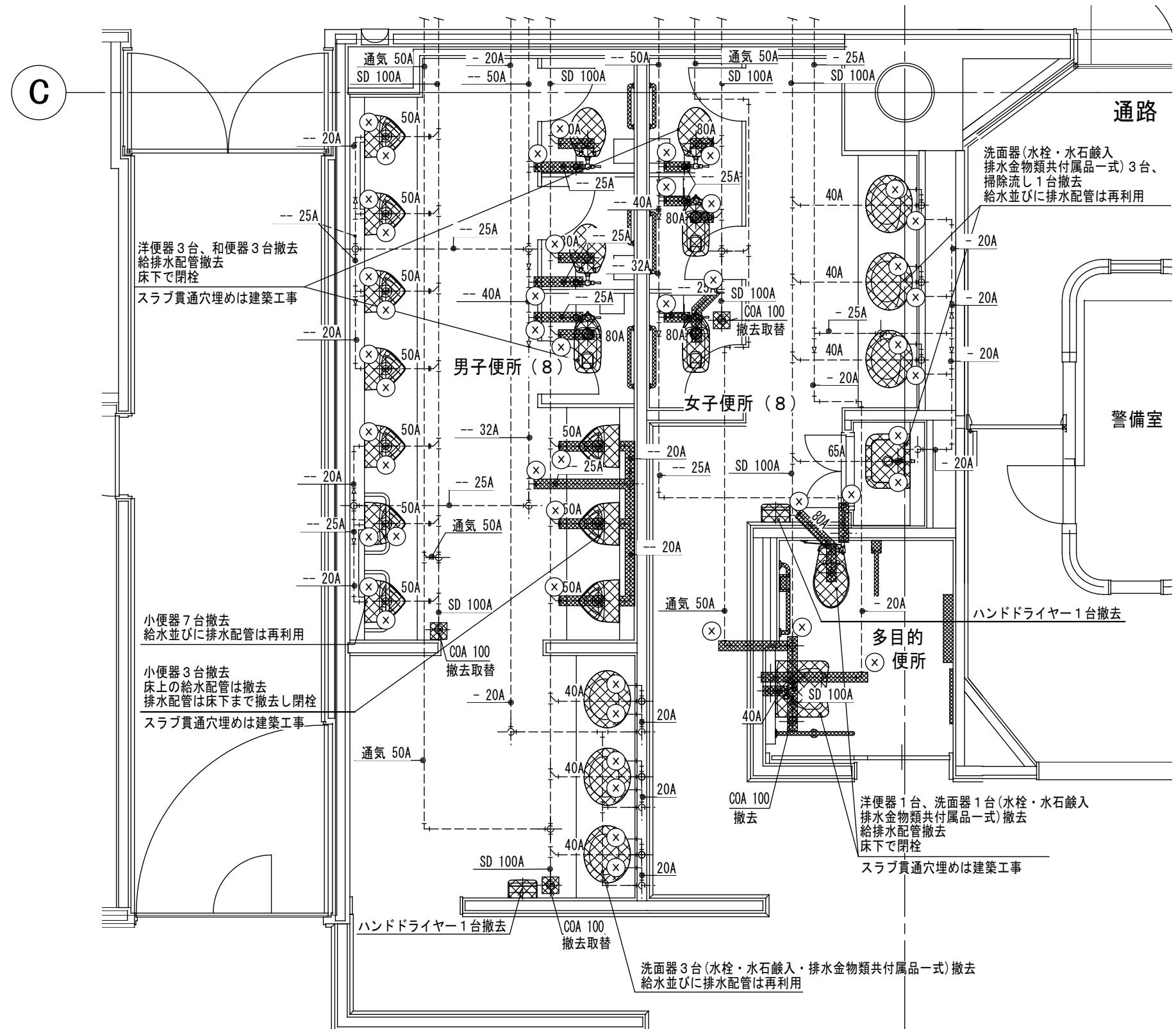
※図中網掛表示掃除口は撤去(取替)を示す。

凡例

- ⑧: 配管切り離し撤去後改修配管延長部有り
(新設配管図参照)
- ⑨: プラグ止めを示す。
- ⑩: キャップ止めを示す。

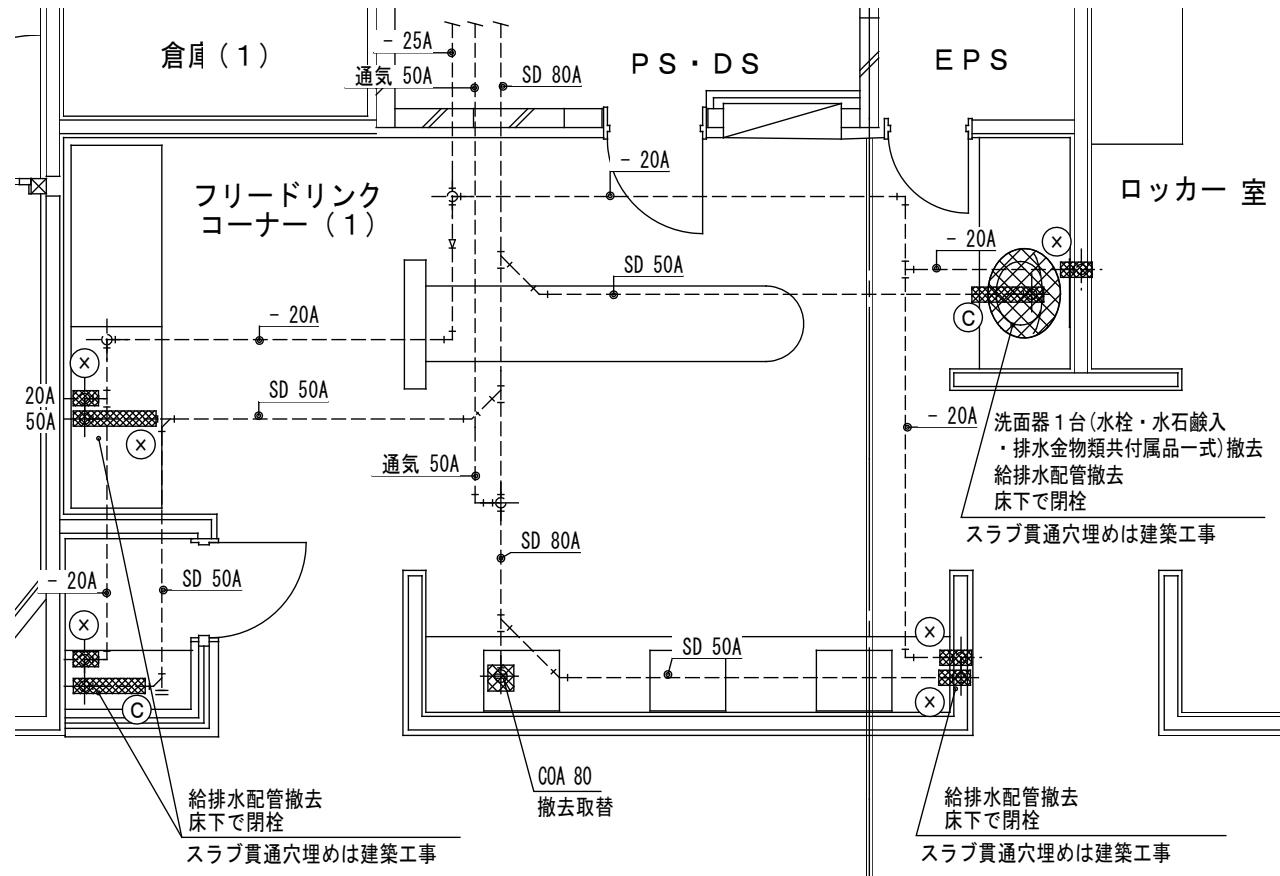
既設配管材料

- 給水 : 硬質塩ビライニング鋼管 JWWA K 116VB
- 給水 : 水道用ポリイチル粉体ライニング鋼管 JWWA K 132PA
- 給湯 : 一般用ステンレス鋼钢管 JIS G 3448
- 排水・通気 : 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042
: 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741
: 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管



詳細図-2

男子・女子便所 (8)
(8-C通り付近)



9

詳細図-3

フリードリンクコーナー (1)
(9-C通り付近)

注記)

※図中網掛表示衛生器具類並びに配管は撤去を示す。

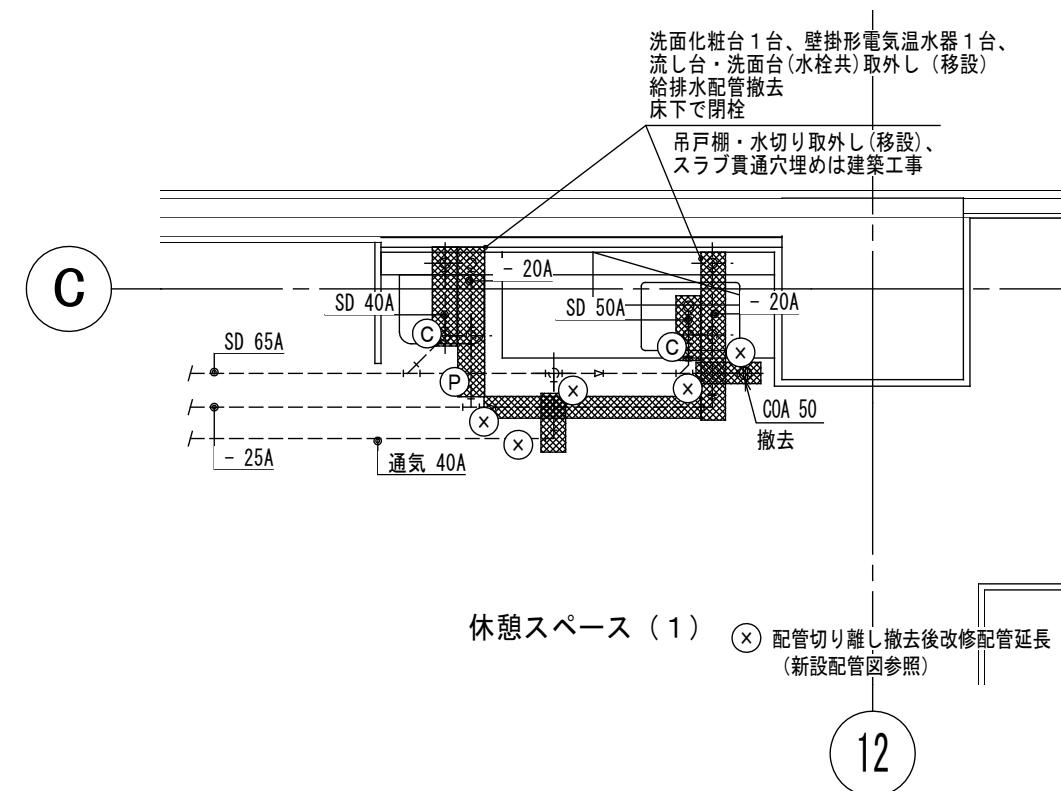
※図中網掛表示掃除口は撤去(取替)を示す。

凡例

④: 配管切り離し撤去後改修配管延長部有り
(新設配管図参照)

⑤: プラグ止めを示す。

⑥: キャップ止めを示す。



12

詳細図-4

休憩スペース (1)
(12-C通り付近)

既設配管材料

給水: 硬質塩ビライニング鋼管 JWWA K 116VB

給水: 水道用ポリチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132PA

給湯: 一般用ステンレス鋼钢管 JIS G 3448

排水・通気: 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042

: 硬質塩ビ管 JIS K 6741

: 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管

MEMO

REVISION

Tanseisha

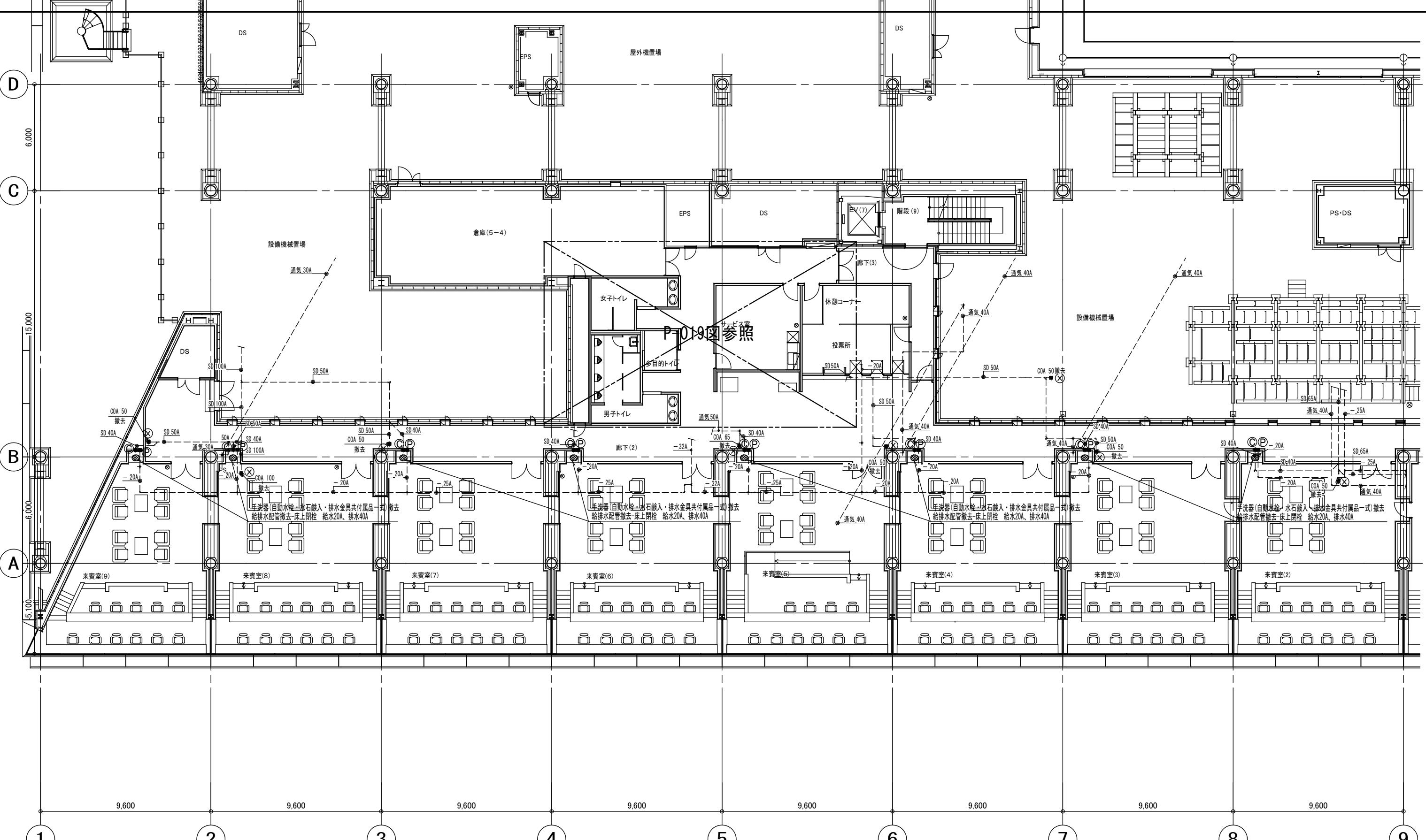
TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN - DESIGNED - CHECKED -

SUBJECTS 衛生平面図(4階) 03 撤去

DATE SCALE 1:50 (A3)

P-017



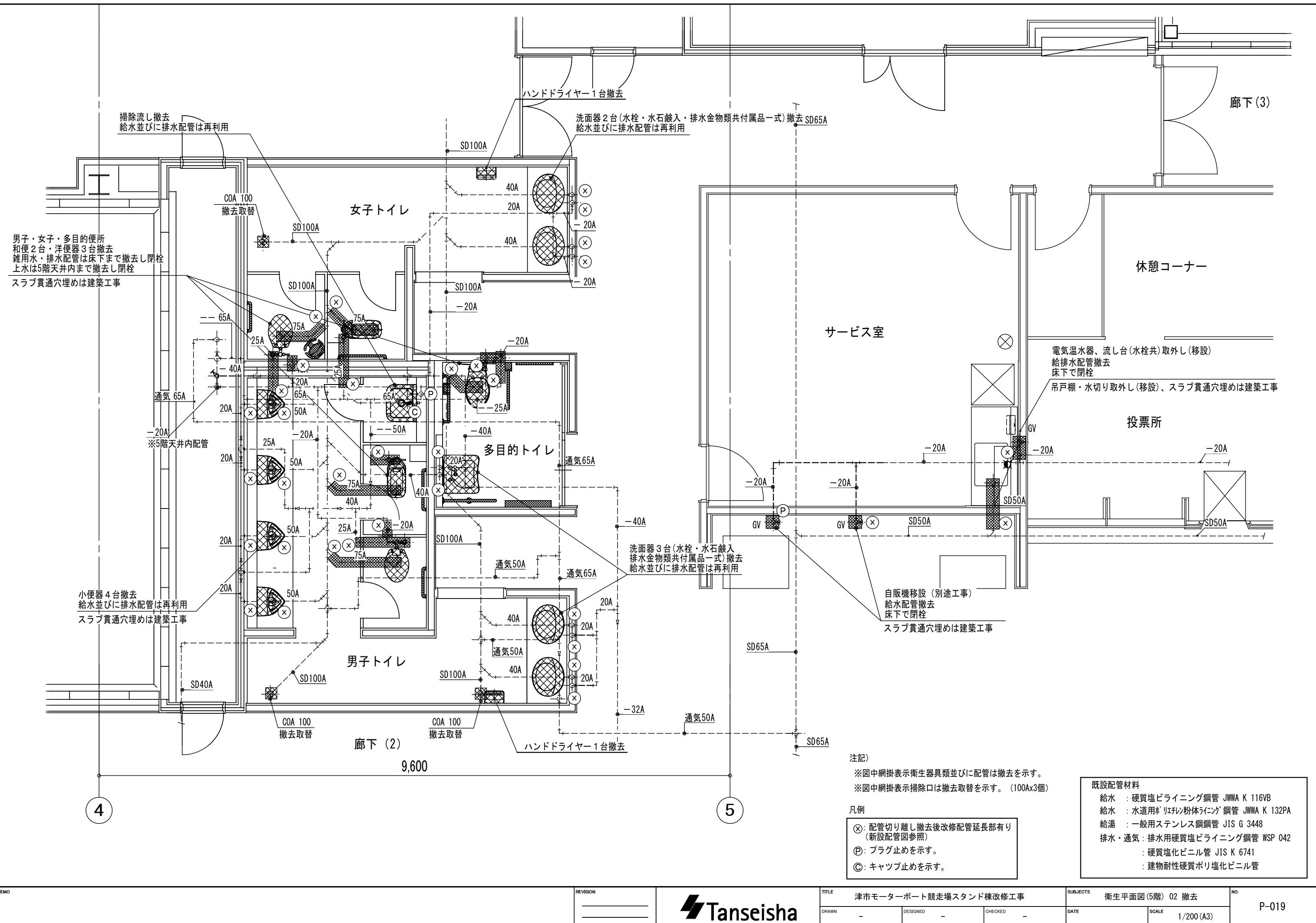
既設配管材料

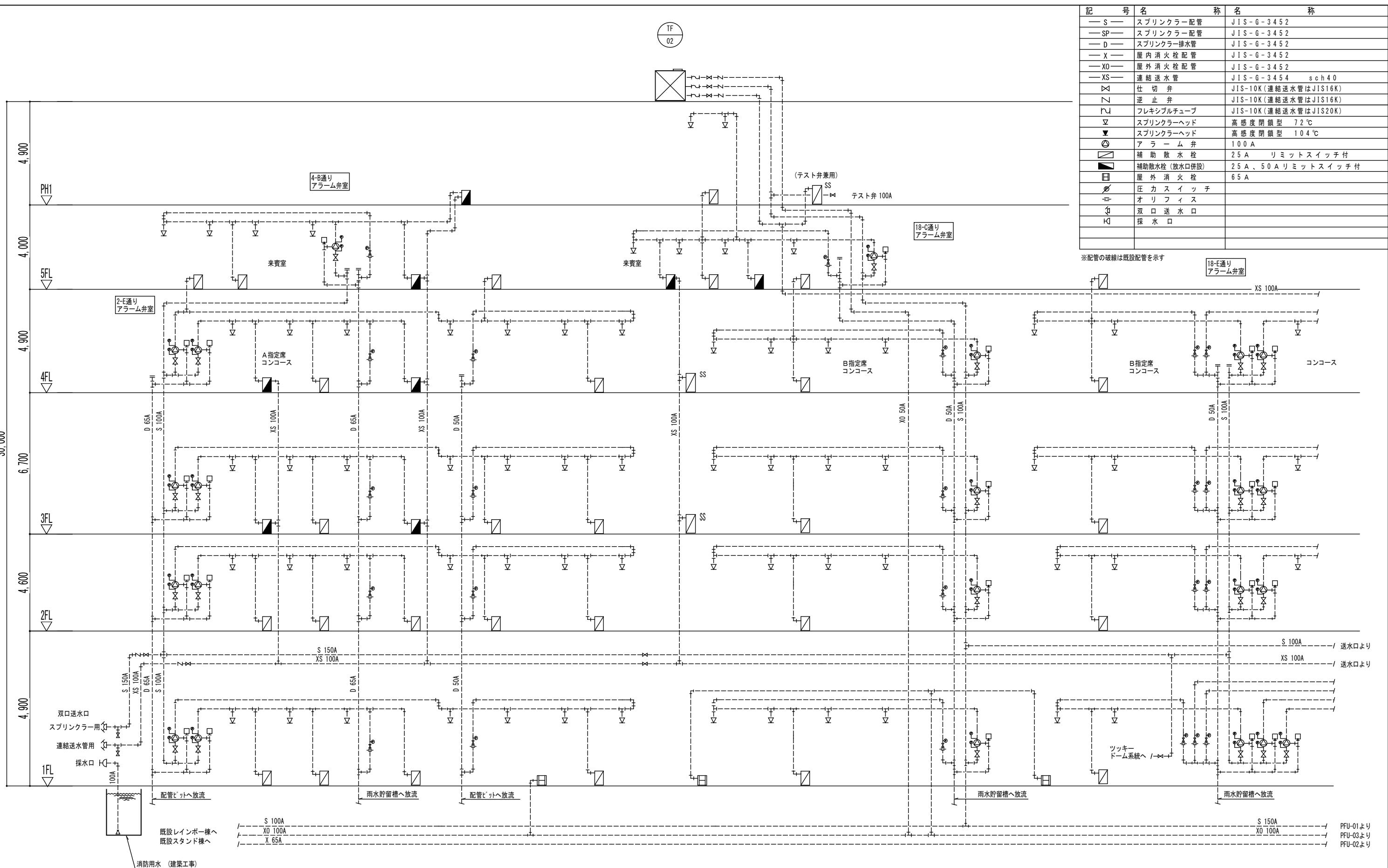
給水 : 硬質塩ビライニング鋼管 JWKA K 116VB
 給水 : 水道用リボン粉末ライニング鋼管 JWKA K 132PA
 給湯 : 一般用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448
 排水・通気 : 排水用硬質塩ビライニング鋼管 WSP 042
 : 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741
 : 建物耐性硬質ポリ塩化ビニル管

凡例

- (X) : 撤去(切断位置)を示す。
- (P) : プラグ止めを示す。
- (C) : キャップ止めを示す。

注記)
 ※図中網掛表示衛生器具類並びに配管は撤去を示す。
 ※図中網掛表示掃除口は撤去取替を示す





MEMO

REVISION

TITLE 津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事

DRAWN

DESIGNED

CHECKED

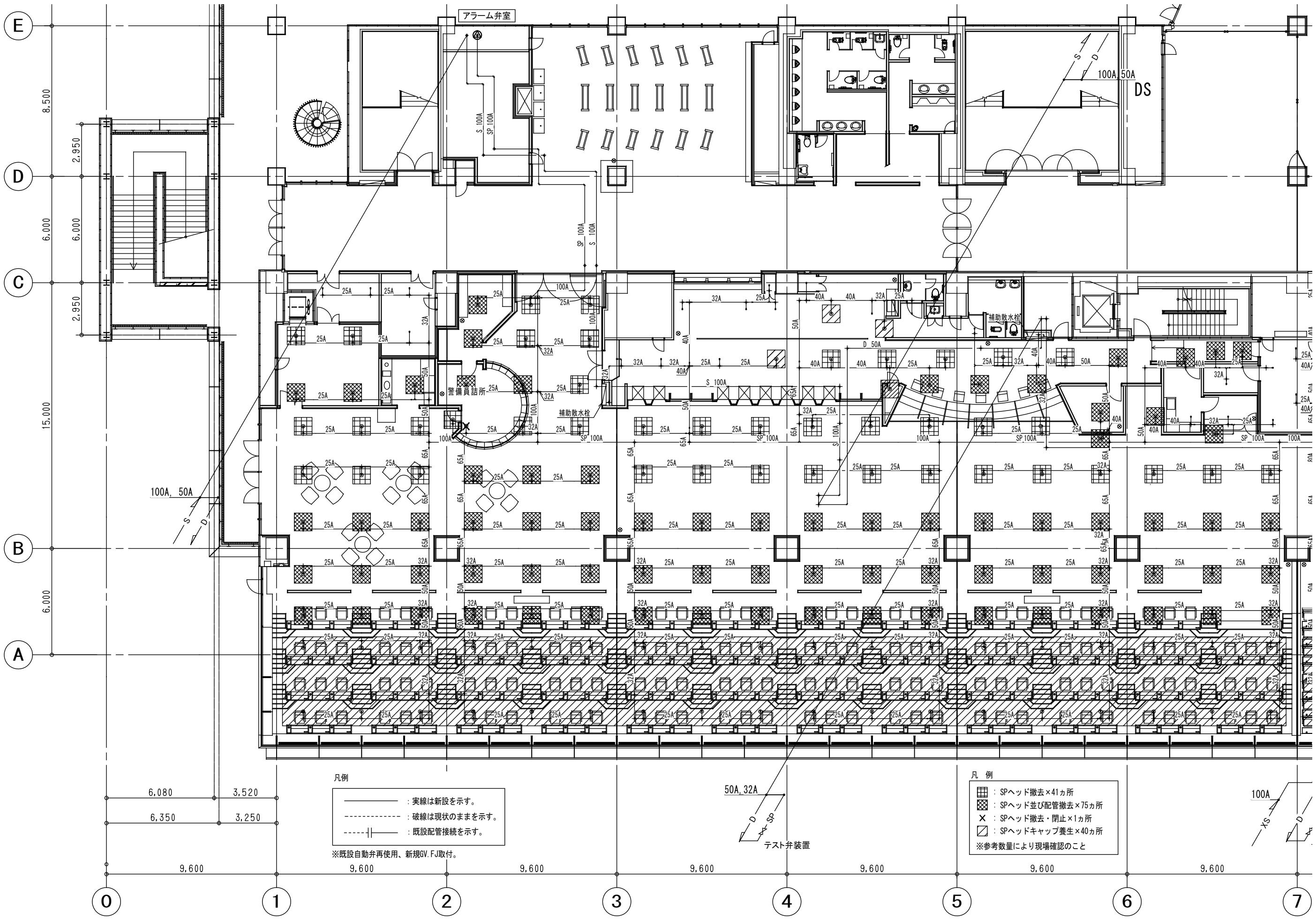
DATE

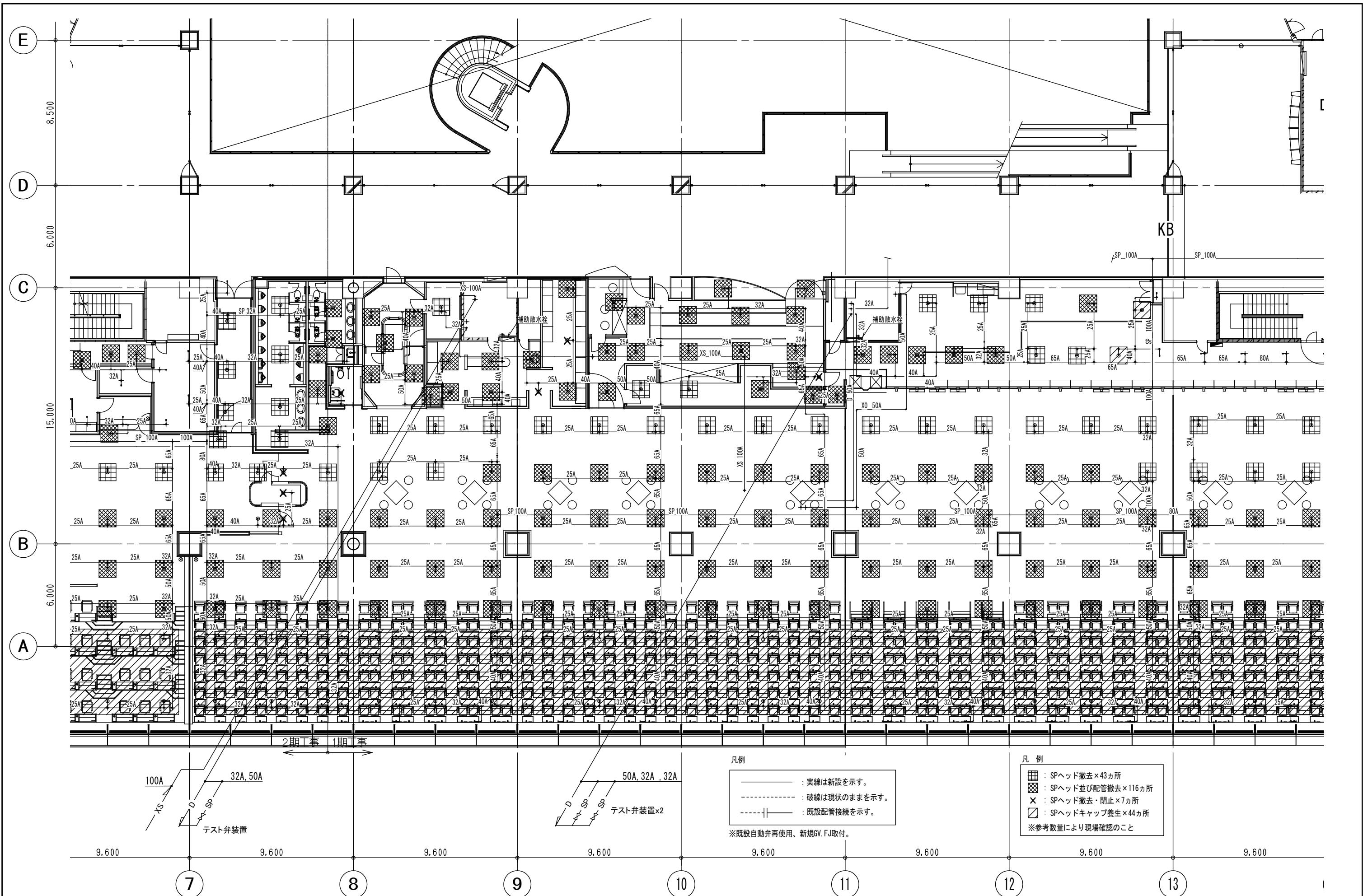
SCALE

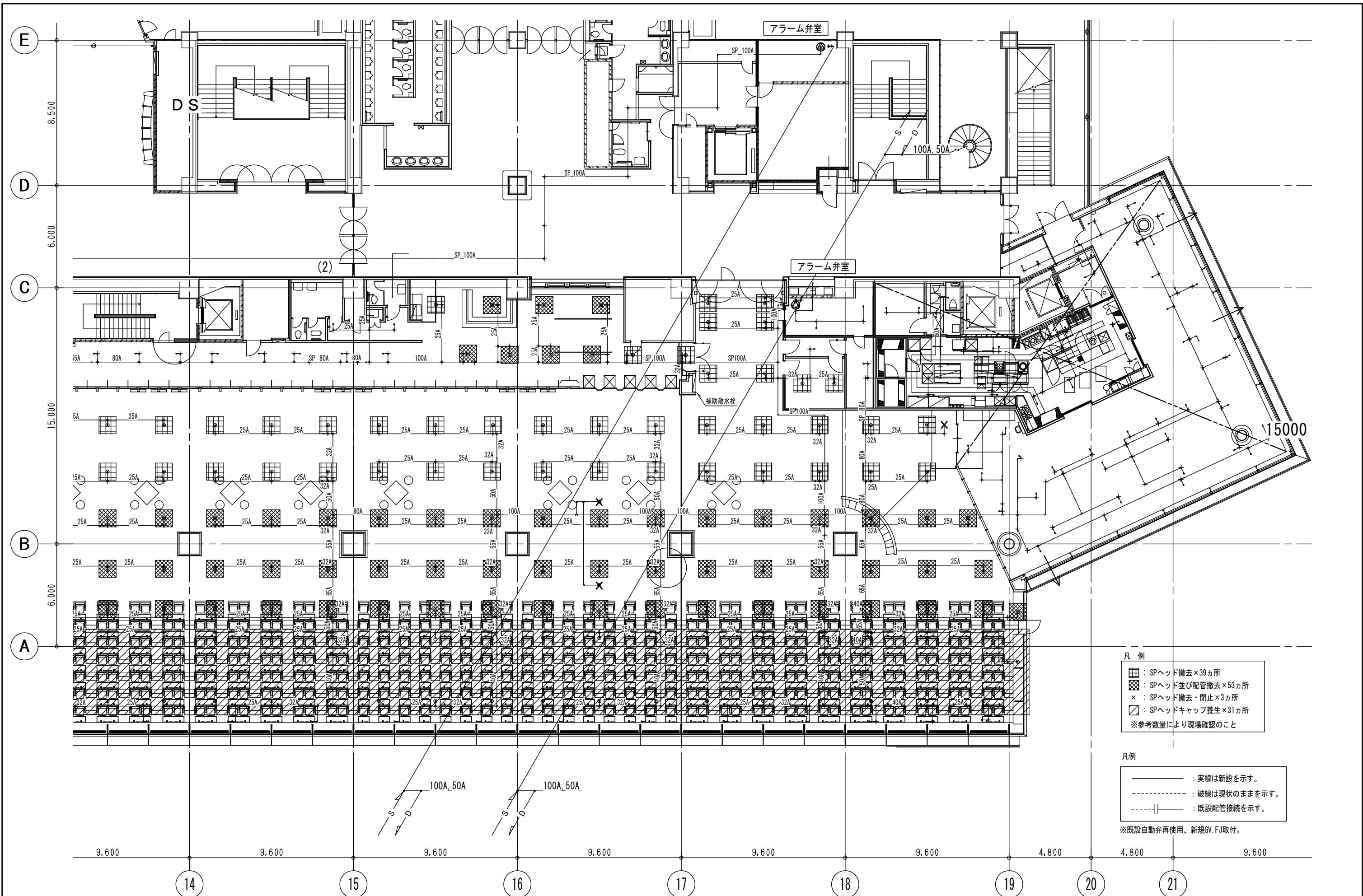
SUBJECTS 消火系統図撤去

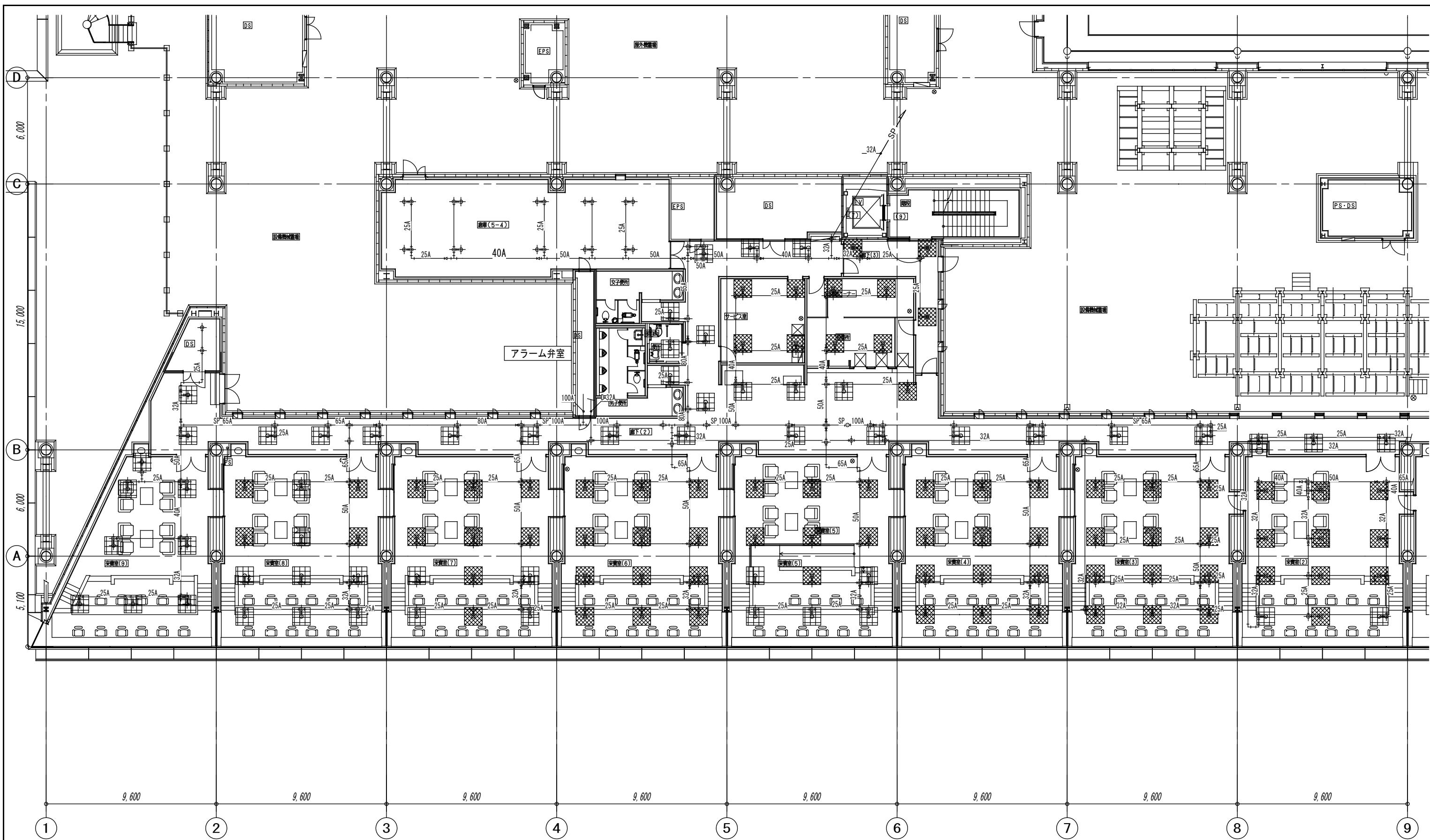
NO. P-020

PFU-01より
PFU-03より
PFU-02より





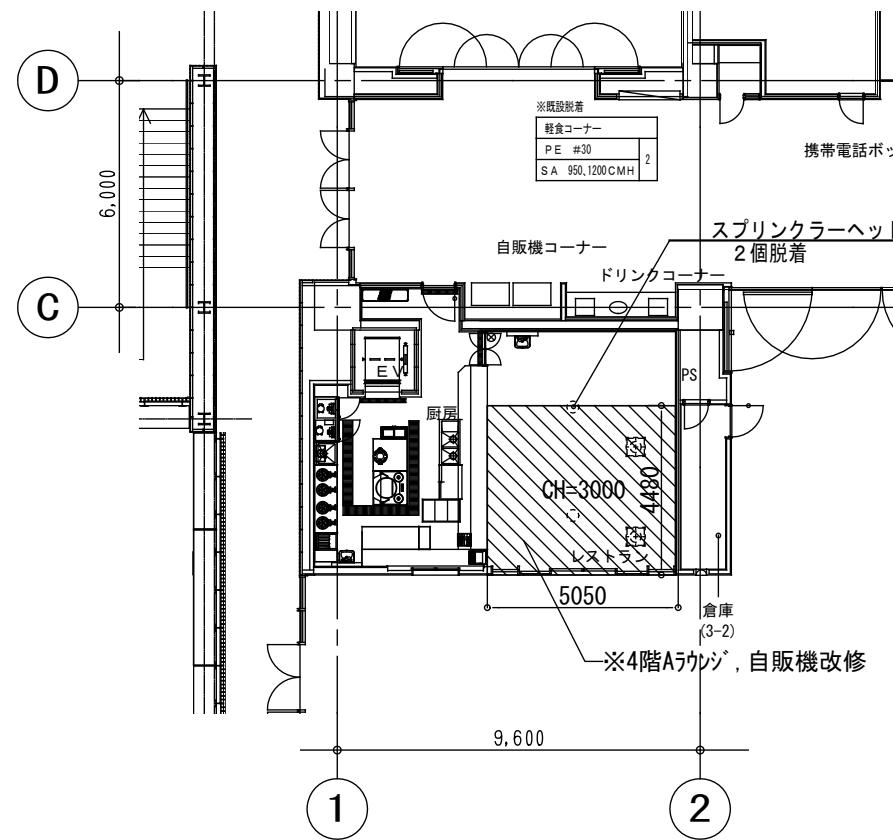




◇凡例

■: SPヘッド撤去・移設×77カ所
■: SPヘッド撤去×56カ所

MEMO	REVISION	TITLE	SUBJECTS	NO.
		Tanseisha	津市モーターボート競走場スタンド棟改修工事 DRAWN - DESIGNED - CHECKED - DATE 1/200 (A3)	P-024



凡例

 : 斜線部は天井解体範囲を示す

※既設制気口類は清掃・再取付の事

